

【日記の日付…昭和9年1月1日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

〔予記〕

東京宝塚劇場開場式

午后一時正午入場 断

【本文】

朝八時起床斉戒シテ先ツ天壤ノ無窮ヲ祈リ併
テセ祖考ノ靈前ニ頓ク新年ノ賀儀例年ノ如ク執
リ行フ正彦夫婦宅之助ノ来ラザル為メ寂シサヲ感ス
胡奈温泉避寒中ノ茅町ニ方ニ新年ノ祝電ヲ発シ十時
半鳥居坂社長邸ニ赴キ年頭ノ祝辞ヲ述ブ毎年ノ吉
例トシテ往きかよふ人の笑顔によまれけり云々ノ
東宮御誕生ノ腰折ニ左ノ二首

とにかくに年を重ねてな ■■■ 地のめ出たき

春にあいにけるかな

古希翁

いやな事は外へさらりといぬのとし良い事

はかり内へカメカメ

二十四年於神戸在勤ノ比旧作

を認め十二時歸宅壽美全道明治神宮ニ参詣シ二時

半吉祥寺ノ別邸ニ入ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月2日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

【本文】

春宮日和ニヤ天気続キナリ寒例ノ氣大ニ加ハル九時
起床

おく霜の雪かとまかふ朝ほらけ風も静かに

日はうらゝなり

午后原田茅太郎夫人及近藤眞一ノ両氏年賀ニ見エ眞

一氏ハ弥三郎及慶之助ノ両兄ハ全伴ス兄ハ十三弟ハ十

一才ナリ卓ヲ囲ンテ晚餐ヲ共ニシ饌ニ上ルモノ尽ク食

尽シテ大満足ナリ八時半打連レテ辞去

月代白シ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月3日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

【本文】

朝八時起床オク霜白シ
午后三時立原健彦年賀ニ来ル全人旧臘神戸ヨリ歸
京兄弟ノ近況ヲ祥ニスルヲ得タリ
朝十時四十五分小林茂峯向ケ出立新二百圓ヲ渡ス
引違ヘテ勝俣牧太郎留守守リトシテ強羅ヨリ来
ル

明日午前峯向出發ノ豫定ニ付壽美女中ヲ引纏メテ歸
宅干時六時ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月4日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

小倉常吉氏告別式午后
二時―三時芝増上寺

【本文】

午前十時四十分壽美全道女中とし書生宮島ヲ
ツレ東京驛發途中大船ニテ弁当ヲ求ム后一時十三分熱
海着待合セ居タル佐藤ノ自動車ニ乗リ順路網代伊
東川名、赤沢熱河稻取ヲ歷テ河津濱ニ出テ右折
三時十五分峯着別荘ニ入ル（自動車賃拾貳円祝儀壱
圓）小林茂ハ昨夕着先着ノ荷解ヲ為ス番人家屋
ヲ食堂炊事場ニ当テ漸ク夕食ヲ了ヘタリ
今朝九時前浅草上原簞笥店ヨリ積来リタル荷物
運搬ノ吉祥寺ノ自動車ハ后八時頃漸ク到着全乗
ノ上原店員二名ハなんやニ運轉手及助手ハ小林ノ宿ニ
宿泊セシム小林利助氏モ后壱時頃先着シ居レリ
日本間ノ壁ハ未タ中塗ヲ了ラズ半乾キナルモ強テ全処ニ
ニテ就寐シタリ風呂場ハ使用差支ナキ程度ニ竣功シ居
ルヲ以テ入浴ス快云フ可カラズ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月5日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

天気晴良ナレトモ寒サ強ク薄氷張ル壽美小林上原ノ
店員ハ家具ノ整頓ニ忙シ、吉祥寺ノ自動車ハ今早朝
上原ノ店員ハ小林利助ト后四時歸京運轉手上原ノ
店員ニ各五円ノ祝儀ヲ与ヘ熱海迄ノ自動車賃ヲ支
弁ス

玉峯館主人来訪仍テ昨日桶川氏ヲ以テ依頼シタル道
路敷解決ノ趣意ヲ敷衍シ結局式間以上ニ亘ル敷地ノ半
額ノ値段ハ当方負擔ス可シト申置ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月6日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

気温高く寒サヲ感セズ午前中小林茂及手傳兩人ヲ指
圖シテ樹木ノ移植ヲナス午后ヨリ少シク西風アリ

玉峯館主人來訪黒田氏ニ交渉ノ結果ハ至極尤ノ御意見

ニ付弟正木ニハ如何ニモ納得致サス可ク縄張（必要ノ部分ノ）

シ置カレタシトノ挨拶ナリトノコトナリ仍テ桶川氏ト三人立会
之レガ縄張ヲナス

黒田正木ノ両家ニ土産物ヲ贈ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月7日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

寒サ凌キ易シ小林手傳六人ト共二千貫斗ノ庭石ノ運
搬ヲナス

上原ノ店員今朝態々大島下田ヲ歴テ＊手＊簞笥ノ手直ニ
来リ夕刻辞去旅費祝儀宛拾円ヲ給與ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月8日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

朝雨曇

〔予記〕

八日会午后五時山口
杉村陽太郎氏来賓
幹事内藤久寛及自
分

【本文】

朝大工、左官等ノ職人ニ夫々祝儀ヲ與フ松本ニ五円他ノ
二人ニ五円洋館大工ニ各式円宛三人左官九人ニ各壹円ヲ給シ
外ニ百円ヲ道路敷買入宛ニ桶川氏ニ手渡し置ク
なんやノ拂五円外ニ女中ニ祝儀壹円
十時半一行小林茂ヲ残シテ佐藤ノ車ニテ出立、后一時十
三分熱海発三時廿四分東京驛着歸宅壽美ハ直ニ
染井ニ墓参ス父ノ正祥月命日ナレバナリ
五時半洋服ハ黒ノ背廣ニ着替ヘ山口ニ於ケル八日会ニ臨ム余
及内藤久寛ノ両氏幹事ナリ会員ハ藤山、池田両氏ノ外ハ
出席賓客杉村陽太郎氏能ク語ル十一時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月9日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝十時工業倶楽ノ膳常任理事来訪総会ノ期日其他
ニ關シ打合セヲナス十一時出社々長室會議ニ臨ム
后一時半高島屋美術部長赤見氏古稀還暦ノ祝トシ
テ茅町男御夫婦ニ贈呈ス可キ料紙文庫併ニ硯箱（吉
田醇一郎氏作）及現代浮世絵屏風二曲一双（山川秀峰氏作）
ヲ持参ス塗物ハ代金貳千円面料ハ貳千五百円兼テ注文ノ分
ナリ

后三時茅町男ヲ家庭事務処ニ訪問新年ノ賀詞ヲ述ベ

途次荒木陸相ノ病氣ヲ見舞ヒ（肺炎后一時七度一分ニ

下熱＊■■■■＊分離シタルガ如シト云フ）鳥＊居＊坂邸ニ赴キ社長ヨリ

皇太子

殿下御誕生ノ御祝トシテ陛下ニ献上ス可キ長船光忠長銘

（備前国長船光忠トアリ長銘ハ此外ニ見当ラヌト小山田中将云

フ）ノ太刀ヲ視ル小山田中将ヨリ太刀ノ説明ヲ聞ク五時歸宅

壽美ハ夜分襖紙其他聞合セノ為龜山宗月氏ヲ訪フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月10日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

【本文】

午前十一時出社

午前一時茨城五十銀行頭取堤定次郎氏（旧安田銀行員）

来訪三男 氏光學工業就職依頼ノ為メナリ哉斯

波会長ニ申傳フ可キヲ以テ近々全氏ニ面会サル可シト申

置ク

松村亀太郎氏来訪

社長ヨリ小山田氏ヲ招キ毎周一回位刀剣ノ研究ヲ為スコト

ニ付懇談アリ先ツ夜分兩人ニテ話ヲ聞クコトニシタシトノコト喜

シテ参会ス可シト挨拶ス

四時退出三田小山町五番地ニ藤田四郎氏ヲ吊ス氏ハ九日午

前一時卒然心臓麻痺ニテ熱海ノ別邸ニテ死亡セルナリ余

ガ全家ニ臨ミタルトキハ「マスク」ヲトル際ナリキ嗣子小五郎氏ニ

対シテ悔ヲ述ブ木村清四郎氏夫婦席ニ在リ四時半退

出壽美引違ヒ全邸ニ臨ミ納棺ノ終ルヲ待テ歸宅セ

リ夜分雨降ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月11日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

京濱實業家

新年宴会午後四時半

断

婦人新年会合高輪邸

午后一時半

【本文】

午前十一時出社々長室会議ノ席ニテ三橋倉庫常務ヨリ
米穀買上法実施ノ結果買上申出ノ石高豫想外ニ多ク
農林省ハ之レガ貯蔵ノ倉庫ニ窮シ三橋氏が全国倉庫
協会長トシテノ注意勸告ヲ無視シ米穀局長ガ陰ニ三井
ノ有賀長文氏ニスガリタル件ニ付三菱トシテ取ル可キ手段ニ付
了解ヲ求ムル処アリ協会ノ立場ヨリ論争ス可シト注告シ置ク
本日午前十時茅町男爵御夫婦ニ贈呈ス可キ料紙文庫及
硯箱并ニ二曲屏風一隻ヲ平田氏ニ護送セシメ全邸ニ納メ
午後一時半親敷全邸ニ赴キ寺沢執事ニ面会（男爵出社中）
贈呈ノ趣意ヲ演ベ歸社

小池厚之助氏新年挨拶ノ為来社

田中光頭老ヨリ東京法科卒業

採用依頼ノ書

穿

面アリ仍テ詮鑿ヲ遂ケタル処全人ハ大學非推舉ノ者ニ付旧
臘已ニ断リタリトノコトナリキ四時退出歸宅

壽美ハ后一時半高輪邸ニ於ケル社長夫人ノ新年招宴ニ臨ミ
歸途内山田及鮎川ニ立寄り六時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月12日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

家庭事務処新年

午餐会

后式時郵船重役会

全三時ヨリ四時藤田四郎

告別式青山斎場

【本文】

午前十一時廿分出社

正午家庭事務処ニ於ケル新年午餐会ニ臨ム集ル者茅町

男爵江口、桐島、武市、伊丹田原境、隆弥恒弥ノ両公達

和田羽野、赤星、秀島等式十四名内古稀以上九名平均年

齡六十一歳余ナリ

后式時郵船会社ノ重役会ニ臨ミ社債六千万圓ノ内三

千万圓償還残リ三千万圓六分ノ分ヲ四分五厘据置

式年後十ヶ年毎季百五拾円ツヽ償還ノ条件パー手

数料百円ニ付壹円五拾銭ニテ借替ノ件ヲ決定ス臨時

総会ハ月末廿九日トス

三時退出直ニ青山斎場ニ赴キ藤田四郎氏ノ告別式ニ会

葬シ歸途葵町大倉邸ニ立寄り喜七郎男母堂

徳刀自十日朝死亡ノ悔ヲ述ベ久振リニテ糸馬氏ト面会ス

夜分小林茂峯ヨリ歸ル引續キ典夫来ル東亜ノ配当金

貳百六拾五圓ト預リ置キタル全人ノ實印ヲ渡ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月13日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

工業倶楽部清興会

午后六時

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム三菱製鐵会社引受日本製鐵会社株式千七百万圓分配ノ件ヲ評議ス本社五百万円造船三百五拾万円、鉦業貳百五拾万円、商事百万円、製鐵五百万円ト仮定ス

午后貳時五十銀行頭取堤定次郎氏三男厚光學工業就職志願ノ件斯波全会長ニ移牒シ置ク

田中光頭老ヨリ依頼ノ 商事就職志願ノ件

書面ヲ以テ断ル

午后四時退出中野区沼袋ノ山本直良邸ニ赴キ九十四才ノ高齢ヲ以テ逝去シタル徳子母堂ノ吊意ヲ表ス五時半歸宅

奎

壽美ハ内山田及児玉幸介邸ヲ訪ヒ余ニ少シク後レテ歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月14日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

大倉喜七郎氏母堂葬

式老増上寺 音羽

護国寺后一時ヨリ弔時

日仏会館常務理事

木島孝藏氏告別式

青山斎場午前九時―

十時

別府丑太郎氏告別式

築地本願寺后老時

ヨリ弔時

代理焼香

【本文】

朝十時網屋主人番頭野田全伴康光大小、（七五〇円）左
弘安刀光温極付（八百円）同田貫上野介刀（四五〇円）
播摩守輝廣短刀（五〇〇円）ヲ持参ス同田貫ノ刀ヲ預リ
置ク上野介名ハ国廣天文年間ノ人肥後菊地末延壽
派ニテ加藤肥後守ノ抱刀工ナリ本刀ニハ蛇ノ目ノ紋下ニ溝
正帯之ト金象嵌アリ
午后老時半音羽護国寺ニ於ケル大倉男爵母堂ノ告
別式ニ臨ミ歸リテ壽美ト共ニ巢鴨ニ母人ヲ省ス折悪
敷復不在ナリ土産物ヲ置キテ歸ル歸途染井ノ先考
ノ墓ヲ展ス

アサリ

留守中母人ヨリ蛤蜊ノ剝身ヲ贈ラレタリ多分品川ヨリ
ノ歸途ナランカ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月15日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

山本直良氏母堂窆子
刀自告別式午後貳時
ヨリ三時青山斎場

【本文】

午前十一時廿分出社々長欠勤
午前一時倉成文太氏来社
全時石塚英藏氏来訪東北大學經濟學部在學ノ
全氏二男就職ノ件ナリ商事其他ノ銓衡ハ已ニ終了
シ期ニ遅シタリト挨拶シタル処全人ハ交通ノ事研究シタ
リトノコト故郵船ノ方聞合セ呉レトノコトニ付大谷、渡辺ノ副
社長常務ニ電話シタルモ山本家ノ葬儀ニ臨場不在ナリ
トノコトニ付追テ問合セ何分ノ返事スルコトトス
后貳時退出山本直良氏母堂青山斎場ニ於ケル告別式
ニ会葬シ歸途代々木山谷ノ山内侯爵邸ニ赴キ旧臘
歳暮品頂戴ノ挨拶ヲ述べ歸宅ス
木島孝藏氏宅ヘハ久埜昇氏ヲ代理トシテ遣ハシ吊意
ヲ表シ香典貳拾圓ヲ贈ル
若松佐藤慶太郎氏妻君ノ訃ニ接シ電報ヲ以テ吊辞ヲ
述ベ全時供物ノコトヲ若松支店ニ依頼ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月16日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇霽

〔予記〕

東洋協会后五時

津島寿一氏講演

断

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス

本日造船会社ノ総会ニ於テ取締役武藤松次本社参

與ニ轉シ全徳大寺則麿神戸造船所長ヲ辞シ伊藤

達三、長寄造船処長元良信太郎ノ両氏本店常務ニ彦

島造船処長原耕三取締役ニ玉井喬介長崎造船処長

松井小三郎神戸造船処長ニ任命セラレタリ

本社秘書役場員五名自分警衛ノ者拾人ヲ十八、廿一、廿二

ノ三日ニ分チ宝塚新劇場ニ案内ス

来十九日神楽坂警察署武道始ニ付地所課長樋口

實氏ヲ煩ハシ全会援助ノ為金貳百円ヲ寄附シ署長

島

飯田一氏ニ手交セシム

余ノ退職ノ希望ニ対シ暫ク見合シ呉ル、様特ニ社長

ヨリ懇談アリ四時退出

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月17日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

癩豫防協会潮理
事長案内
麻布桜田町南浦園
后五時 断

【本文】

午前十一時出社
塚越上二郎氏深川地処倉庫用地トシテ使用ノ件
ニ付来訪三橋倉庫常務ニ紹介ス
倉成文太氏光村旧工場敷地移轉費買入費ノ件
ニ付来訪

植田建治氏辻 一工學士全伴挨拶等来訪
正午鳥居坂邸ニ赴キ造船幹部招待午餐会ニ列席
全式時半歸社、
石塚英蔵氏ニ渡辺郵船常務ニ一昨日御来訪ノ趣意
申傳ヘ置タルニ付全氏ニ面会ス可ク電話ニテ申送ル
后四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月18日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

雪曇

〔予記〕

清風会花月后四時

請

全産聯合会常任委員会

午前十時

大松閣新築落成

案内 十一時半ヨリ五時迄

断

慈惠会理事会

正午 断

鳥居坂邸刀劔研究

会 后八時 請

【本文】

前夜ヨリ少許雪降ル

初雪や霜かと斗降りにけり

午前十一時出社々長室會議ニ臨ム

牛后倉成文太氏来訪

午后室田義文氏東伏見宮高橋別当ノ為メ来廿日

全宮邸ノ賜餐ニ是非出席スル様依頼ノ為メ来

訪家内ハ御断申上ケタルモ自分ハ出席ノ御請シタル旨

ヲ告ク

四時退出共楽俱樂部ニ立寄り五時半歸宅

七時半鳥居坂邸ニ赴キ社長ト共ニ宮内省刀劔御用

係小山田海軍中将ノ講釈ヲ聞ク氏ハ先ツ刀劔歴史ノ

大要ヲ話無銘ノ包平ノ太刀及在銘名物日置安吉ノ

短刀ニ就テ説明セラルテ余ハ携フル処ノ古備前正

恒在銘ノ物ノ鑑定ヲ乞フ立派ナルモノニテ銘モ確ナリトノ

コトナリ外ニ同田貫上野介ノ刀ヲ示ス清正佩刀ノ象嵌ナリ刃

紋高尚ナラザルモ實用刀ナリトノコトナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月19日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雪雨

〔予記〕

商工会議所新年宴会

正午 出席

断、

日本鉱業会新年宴会及講演会后五時

断、

神楽坂警察署

武道始式后一時

断

【本文】

午前十一時廿分出社

午后松村亀太郎、山内豊政氏来訪

全四時退出池ノ端ノ会合ニ赴キ九時歸宅

朝少シク雪アリ曇トナリ夕刻ヨル雨トナル郵便飛行

ノ大阪ヨリ大刀洗ニ向フタルモノ本日雪ノ為メ高砂ニ不

時着陸ト夕刊ニアリ關西地方ハ大雪ノ如シ

本日三好重道氏ヨリ動悸并ニ盲腸炎ノ手宛ニ付

良法ヲ聞ク

心臓動悸嵩ブルトキ

人參ヲ播リテ其汁ヲ飲

盲腸炎ノ起リタルトキ

牛蒡ヲスリテ其汁ヲ飲ム

何レモ妙藥ナリト云フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月20日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東伏見＊故依仁親王＊大妃周子殿下

正午夫婦午餐会

ニ御招、

壽美ハ御断

日本国際協会談話会

后式時 断、

宮御邸ニテ

中島商相ヨリ日本製

鐵取締役ノ外理化

学研究処本年度拾万円

助成ト全処ニ有社債七

十五万円肩代ノ件話アリ

【本文】

雪後ノ好天氣庭ニハ雪霜ノ如ク残レリ

十一時半宅ヲ出テ正午 東伏見宮邸（渋谷常盤松）

ニ催サレタル午餐ニ列ス余ハ席ヲ 妃殿下ノ左ニ

賜ハリ（右ハ中島商相）余ノ左ハ古河男爵夫人門野重

九郎氏 鮫島御用掛（故花房太郎子爵妹）ノ順召サレタル者

右ノ外中島商相夫人、池田成彬夫人串島田万藏氏、根津

嘉一郎、古河男爵本野久子雀見左太雄夫人等外ニ

高橋別當加藤事務官アリ

食後別室ニテ 殿下ヨリ愛国婦人会ニ付援助ノ御依

頼アリ次テ中島商相清浦顧問ニ代リ代読的ニ其

趣意ヲ演述ス一同之レヲ了シテ退出

午后式時半出社余ノ出社ヲ聞キ社長モ亦出社商事会社会
長訓示ヲ根本的ニ社長自ラ改訂シタルモノヲ示サル辞句

堂々タリ大ニ賛意ヲ表ス終テ日本製鐵会社取締
役推薦ノ件ニ付松田製鐵常務ヲ招キ協議ス五時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月21日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝来風アリタルモ止ミタルガ式時頃再度吹き出シ夕暮
ニ至リテ止ミタリ

一時頃壽美ト全車吉祥寺ニ赴キ峯別荘ニ移植

ス可キ庭木ノ買入ニ付小林茂ニ指図スル処アリ夕七時

歸宅茂ニ植木買入資金トシテ百圓ヲ渡ス

三菱商事就職希望者東大法科北原清司氏留守

中星野錫氏ノ紹介状ヲ携へ来訪

在仙台田岡良一長男久雄（二才）守刀トシテ銀造月

山貞一作長サ六寸五分ノ短刀ヲ贈與シ（書留小包）

其旨良一二案内ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月22日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

老将会古稀歡迎案内

請

牛込区兵事奨励会

帰郷兵歡迎会牛込

公会堂后一時

断、

【本文】

午前十一時三菱銀行ニ赴キ重役会ニ列シ終テ午餐
ヲ共ニシ午后一時退出直ニ東伏見宮御殿ニ賜餐ノ
御禮ニ参上歸途東京驛莊司ニテ理髮式時半出
社

社長ト協議愛国婦人会ノ寄附ハ他ノ振合ニ拠ル事トシ
続テ日本製鐵三菱代表重役ニ付テ審議ヲコラシ
結句松田貞次郎及濱田彪ノ両氏ヲ推舉スル事
トス

鉱業会社村上山下ノ両平取締役ヲ年棒トスル事トシ

池田常務ヲ年棒壹万貳千圓ニ昇給ス

午后五時新喜楽ニ赴キ林権助男、藤山雷太、服部

金太郎（欠）大橋新太郎ノ四氏ニヨリ催サレタル老将会ノ矢

野及余兩人ノ古稀歡迎会ニ臨ム会スル者小田切、生田、三宅川

児玉、藤原ヲ合セ主客拾人ナリ九時半歸宅

共樂落札圭斉芦雁（十八円）等益翡翠（一〇円）宗哲炉椽

（一三、八〇錢）勇介作臘色火鉢壹対（二五円）

ヲ受取ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月23日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

工業倶楽部理事会

正午、

万葉聴講会午後五時

華族会館

東京クラブ晚餐会后

七時半、

リンドレー英大使夫婦

出渕駐米大使夫婦

送迎会

断、

午后貳時半善隣

協会井上璞氏ト会

見ノ約束

【本文】

起床スレバ左ノ電報アリ

眞彦今朝四時死ス直橘

今村眞彦ハ遂ニ倒レタルナリ享年四十二老父并ニ妻君
ノ心情思ヒヤラル

十一時出社々長室会議ニ臨ミ十二時工業倶楽部ニ赴キ理
事会ニ列シ昨年度ノ決算并ニ重要ノ事項ヲ議決シ
総会ノ日取リヲ廿九日ト定ム一時四十分歸社

后貳時半善隣協会ノ井上璞中将来社三好、永原

船田列席全協会ノ事業ニ關スル説明ヲ聴取ス

四時半退出金町ニ到シ今村眞彦ノ宅ヲ吊シ父直橘
弟兼雄并ニ細君ニ悔ヲ述ブ楠瀬福子刀自モ在リ宮
葬ノ事ハ江戸川工業所員運ビ居レリ供華及供物ヲ依

頼ス告別式ハ廿五日一時ヨリ弔時ト云フ五時五十五分辞去
夜分大連丘襄二氏喜ノ字ノ祝トシテ篆楷字典（自著）ヲ贈ラレ
タルニ対シ挨拶ヲ述べ全時ニ祝トシテ電氣蒲団郵送ノ案内ヲ
ナス

【欄外】

路上処見 児を負ふて自轉車ニ乗る男親、妻なき宿の寂し
かるらむ

【日記の日付…昭和9年1月24日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

田原豊氏今朝丸ビル
附近ニテ自動車ノ為メ
気俄シ日比谷病院ニ
入院歸途之レヲ見
舞フ

【本文】

昨夜半ヨリ今暁ニカケ寒サ強シ
午前十一時半出社
午后一時三上参次氏来訪應仁天皇ノ時来朝日本ニ
支那ノ文化ヲ齎シタル和仁ノ墓碑河内ノ国ニアリ日
鮮融和ノ一助トシテ其德ヲ称へ神社ニ奉祀セントノ議
アリ小笠原長幹伯不日来リテ援助ヲ乞フ可シトノコト
ナリ
網屋ノ野田ニ同田貫上野介ノ刀代金四百円ヲ支払フ
社長理事列席ニテ高橋技師ヨリ人絹ノ講釈ヲ
聞ク
松村亀太郎氏来訪
理事室ニテ社長ト共ニ善隣協会寄附三ヶ年賦三拾万円
ヲ決定愛国婦人会寄附ハ三井ト打合ス事トス
歸途丸ビルニ立寄り油絵（露人筆）水彩絵（お玉筆）ノ額縁
ヲ注文シ全処ノ賣立ニ立寄ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月25日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日満実業協会

東京会館正午

断、

夜分刀剣研究会

鳥居坂邸 八時

【本文】

午前十一時廿分出社々長室会議ヲ開ク社長遅レテ来ル
全産聯合會ヨリ申来リタル団体保険加入ノ件ニ付テハ
永野理事ヲ主班トシ鋳業、造船ノ委員ヲ以テ研究セ
シムルコトトス

永原氏取調ノ結果ハ鋳業造船ノ会長ハ已ニ夫々承知

致シ居従業者ヲ加入セシムルノ当否ハ追テ研究スル事トスル

モ一社■二百株ヨリ三百株迄トナレバ株主タリ置方得

策ナル可シトノ通知ヲ得タリ

四時退出陸軍大臣官邸ニ到リ新任林銑十郎大将ニ祝

意旧大臣荒木大将ニ栄任ノ挨拶トヲ述べ尚荒木大将ニハ

病氣加養ヲ祈ル旨申添ヘテ歸宅

夜八時鳥居坂邸ニ臻リ小山田中将ヨリ大和物識別

ノ法粧目、ソリ自然圓（腰反ナシ）鎬高ク巾廣、焼詰掃掛ケ（昌子）

地鐵粧目又ハ粧目カ、リタルモノ特ニ保昌ハ著シ則長、貞宗及手搔包真

并ニ仙台国包（新刀）ノ刀ニ付説明アリ余ノ携フル処ノ尻掛則長（金象

嵌銘）ニ付ハ一ヶ処被レトミアルモ其他ハ申分ナク特ニ当摩国行ハ保存行届キ完

全ナル銘刀ト称呉レタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月26日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

高輪邸

サンパロー医科大學生

観光團東山農事歓

迎会

断

商工会館顧問及商

議員会

中央亭后五時

断

【本文】

午前十一時四十分出社久振りニテ松岡均平男ニ面会ス

午后食事后製紙ノ志貴常務引見

光村工場ノ倉成文太氏来訪

善隣協会ノ井上璞中將ニ電話ニテ二十三日来訪御話ノ

件協力出来可キ見込ナル旨ヲ話シ詳細ハ月末又ハ来月

始メニ御面語可致旨申送ル

三時半退出歸宅

井上侯爵未亡人末子刀自姪繁子夫人同伴来訪午后

式時半来リ五時頃退出病後初メテノ来訪ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月27日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

大東文化學院

日本儒教宣揚会

発会式東京会館

午后三時ヨリ

断、

【本文】

午前十一時十分出社々長室会議ニ列ス

午后近重眞澄氏紹介前川郁夫三共商会阿片納入ニ關

シ陳情ノ件ヲ三宅川商事会長ニ話シ置ク

后四時退出共楽俱樂部ニ立寄り歸宅

夜分壽美芝ノ家具屋松浦ヲ招キ峯洋館家具ニ

付協議ス

井上育英会評議員再選ヲ承認ス

仙台田岡良一ヨリ長男久雄ニ贈リタル守刀ノ挨拶来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月28日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日本高等拓植学校長

上塚司氏案内サンパウロ―

學生視察団歓迎会

午後一時ヨリ学校ニテ

断

【本文】

終日外出セズ

大日本憂国青年同盟会長、日滿經濟調査局主事

會計士ト称スル三宮維信（渋谷区美竹町拾参番地）ナル

者ヨリ昨年来度々面会ノ要求アリ近来健康ヲ害シ

懇意ノ仁又ハ其紹介者以外ハ面会ヲ断ル社用ナレ

ハ会社ノ牛田、久埜両氏ノ問ヲ訪ハレタシト返事ス

今朝峯向ケ吉祥寺ヨリ植木（梅、木穀ノ類）ヲ荷物

自動車一台送ル家材式度櫛木道具一度今回ノ分ニテ

四度目ナリ

夜分松浦家具店主人来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月29日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

郵船会社臨時総会

工業倶楽部総会并

ニ新年宴会（東宮御

誕生奉祝） 四時

六時

請

壽美峯ニ赴ク

【本文】

本名ろく

壽美とし女ト小林茂ヲツレ午前十時五十五分發

ノ汽車ニテ熱海向午后四時峯到着ノ旨全所

別邸ヨリ電話アリ

午前十一時廿分出社壽美定期ノ継続書換ヲ了ス

午后式時郵船会社臨時総会ニ臨ミ社債六千万圓償

還三千万圓募債ノ件ヲ附議承認ヲ得タリ利子四

分五厘手数料老円五十錢式年据置十ヶ年賦毎季百五拾

万圓償還ノ条件

后二時歸社四時工業倶楽部ノ総会ニ赴ク原案可決

六時ヨリ日本經濟聯盟トノ協同 東宮殿下御誕生奉

祝新年宴会ニ臨ム会員ノ出席約式百五十名来賓三土

鐵相小山法相永井拓相ノ外次官參與官局長警視総

監等約五十余名ハ司会者トシテ前后式回ニ亘リテ奉祝

ノ辞并ニ来賓ト会員ニ対スル挨拶ヲナシ三土鐵相ノ答

辞ニテ終ル九時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月30日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇夜晴

〔予記〕

変更

工業倶楽部総会

茶葉組合中央会議所会頭

中村圓一郎氏案内丸ノ内会館

后五時 断

日伯中央協会サンパロー

医科大学生二十四名視

察団（団長ソーザ、カン

ボス博士歓迎会

東京会館后六時

断

【本文】

朝十時小林利助氏来邸峯別荘壁紙ノ見本ヲ渡シ

全時ニ家具ニカカル高島屋并ニ石川商店ノ見積リ

ヲ預リ置ク

午前十一時出社途次九段偕行社酒保部ニ立寄り

兼テ製作注文ノ靖廣（宮口）ノ短刀ヲ受取り代金

七拾九円八拾錢ヲ支払フ

十一時社長室会議ヲ開ク社長全三十分出社彦弥太君

ノ件ニ付茅町男ニ面会ノ為メ家庭事務処ニ立寄りタレバナ

リ」午後一時鉱業会社重役会ニ出席

光村工場ノ倉成文太氏来社

午後三時渋谷区常盤松一八ノ故古市公威男ノ邸ニ赴

キ男爵ノ薨去ヲ吊シ棺前ニ焼香ス歸途池ノ端ノ

寄合ニ参会九時半歸去

今朝神戸ノ正彦ヨリ自筆ニテ病症ノ経過ヲ報告シ
来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月31日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝箱根別荘ノ新番人鈴木磯次*五*郎来ル箱根登山鐵道会社ヨリ温泉供給ノ件ニ付テノ書面ニ添ヘ*昨年*八月以降ノ温泉代其他ノ経費宛二百圓外ニ貳拾圓ヲ*本月*月給及引越手宛トシテ渡シ向後ノ月給ハ月三拾圓ト申渡シタリ帳簿ニハ七拾五円余ノ残金ト五月ヨリ七月迄三月間ノ温泉料拾八圓手許ニアリ

夫

全拾時福原鉄雄鉦業会社銓衡ノ為出京挨拶ニ来ル馬關ノ蒲鉾ヲ持参ス

十一時半出社々長トタール工場主任者ノ件ニ付鉦業会社会長ノ意見ニ付話アリ松田ノコトハ当分其俣ニスル様社長ニ注意ス

午后製鐵ノ松田常務ヲ招キ日本製鐵会社ニ引続ク可キ

職員職工ノ解雇手宛ヲ決定ス

明日払込ノ旭硝子新株百五拾株ニ対スル第三回払込金四千五百円ノ小切手ヲ正木秘書役場員ニ渡ス

半

午后四時外退出歸宅

【欄外】

共楽落札蒔絵大盃台付（八五円）外八点ヲ受取ル

【日記の日付…昭和9年2月1日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東義人嗣子秀夫ト

太刀川平治二女悦子ト

結婚披露學士会館

午後五時媒酌斯波

孝四郎夫婦

夫婦断、

通信病院設立協

議会工業倶楽部

正午 出席

古市公威男告別式

青山斎場二時―三時

【本文】

朝九時半地震アリ小林利助氏峯ノ家具并ニ窓

飾ノ見積書及見本ヲ持参ス全氏午後再應全処

電話設置場所變更願ニ調印ヲ乞フ為メ来社

午前十一時出社々長室会議ニ列ス

正午工業倶楽部ニ於ケル東京通信病院設立後援会

組織ノ為参会規約ヲ議定シテ食事ニ移ル郷男ヲ＊実行＊委

員長トシ余及有賀、各務、大橋、矢野、門野（重九郎）加藤敬

三郎ノ外新聞側ヨリ式名ノ委員指名アリ余ハ三ヶ年間ニ

五

毎年拾万宛参拾＊五＊万圓東京大阪両病院宛ニ寄附ヲ言明

シ置ク南通相、牧大橋ノ両次官モ出席セリ

午后貳時青山斎場ニ於ケル故古市公威男ノ告別式ニ会葬

シ歸途善隣協会ニ井上璞中将ヲ訪ネ各拾万圓三年間

ニ参拾万圓援助ノ事ヲ言明ス以上二件船田氏ニ話置ク

夜八時鳥居坂ニ到リ小山田中将ヨリ京派ノ内菊御作

三条、栗田口、綾小路派ノ説明ヲ聴取シ吉光ノ短刀、久国、則国*今村ハ光長ト鑑定

*

定利ノ実物ニ付教授ヲ受ク余ハ定利ノ太刀ヲ持参ス銘刀ナレ共
鐔元ニ疲レアリト云ヘリ昌子ハ完全ナリト云フ

【欄外】

「欄外 右」

峯ノ壽美ヨリ手紙来ル

【日記の日付…昭和9年2月2日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇少雨

〔予記〕

工業倶楽部新年
宴余 操上ゲ

清水組案内

東京会館午后五時半
断

【本文】

雨模様ノ為メニヤ気温少敷高マレリ十一時出社
昨日払込ヲ了シタル旭硝子百五拾株ニ対スル受取証ハ銀行
ニ送付シ保管証券ニ記入ヲ依頼ス
一金参百円也ノ寄附金ヲ故團男傳記編纂会ニ支払フ
午后参時半退出丸ビルニ立寄り額縁製作ノ成リタルラグー
ザお玉の葡萄ノ水彩画ヲ受取り歸宅拾五円支払
今朝 ヨリ一開張六角形卓、大炉櫓置平板新造分ト
四方卓修膳分ヲ持参ス

設計

后五時松浦家具見積圖及窓飾見本ヲ持参ス
夜分壽美ヨリ電話来ル桶川氏明朝十時来訪ノ筈夜半
雨変シテ雪トナル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月3日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雪曇

〔予記〕

高橋利雄氏歸朝
歡迎会東京会館午后
六時 断

【本文】

本日ハ節分大寒ノ明ケナリ積雪三寸本年ノ大雪
ナリ全国到ル処雪除雪ノ為メ鐵道省ハ悲鳴ヲ上ケ
タリ吹雪ノ為メ今曉京濱電車 衝突大破死傷アリ
午前十時半桶川氏來訪峯ノ模様ヲ聞キ中門ノ屏
ノ形状ヲ定メ横井ノ堀進ニ付キ話シ置ク尚壽美ヨリノ
手紙ニヨレバ手許金ノ内參百余円池田ヨリ植木代ノ内ニ
式百円外ニ百余圓、*汽車*運賃、トラック三台運賃ニ支払ヒタ
リトノ事ニ補充トシテ金三百円手紙ニ封入桶川氏ニ托ス
全氏ハ本日午后吉祥寺ニ赴キ水屋ヲ視ル筈
十一時半出社々長室會議ニ列ス
午后三時半永原氏ト造船公開ノ手順ニ付協議ス先ツ航空
会社ノ残半数ノ株ヲ本社ニ収メ之レヲ一対式ノ割合ニテ造船
会社ニ合併ス（其以前ニ造船ヲ三千万円ニ減資）仍テ五千万円
トナリ之レガ半額以内ヲ公開スルノ順序トス全時ニ倉庫及
電気会社ノ総株モ本社ニ収ムルコトニ付考慮スルコトトス四時半
退出歸宅此日后一時頃書生古川ノコトニ付電機ノ間氏ヲ引見ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月4日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十時起床壽美峯ヨリ電話アリ主トシテ植
木ノ事ニ關ス茂ヲ一應歸祥セシメ吉祥寺ヨリ植木ヲ
輸送セシムルコトトス横井ノ水量次第ニ増加スト報知ア
リ

午後一時ヨリ吉祥寺ニ赴ク途上ノ積雪尚未消別
莊ノ雪ハ五寸以上ニ及ビタルモノト見エ床ノ間ノ軸ノ掛ケ更
ヲナシ五時歸宅

長則為八兄弟午前来リ晚餐ヲ了ヘ辞去

先代光曜院五十年忌法要ノ志トシテ茅町邸ヨリ

銘茶二罐ト藤村ノ生菓子一箱ヲ贈ラル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月5日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十一時半出社
午後一時加藤武雄氏引見
全式時 松村亀太郎氏光村工場昨年十二月ノ損益
表并本年一月ノ全豫算ヲ持参ス
午後四時退出上野ノ会合ニ臨ミ九時半歸宅壽美
ト小林茂ノ件ニ付電話ニテ話ス

【欄外】

〔欄外 右上〕

300

【日記の日付…昭和9年2月6日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

昨夜十時半鎌田栄吉氏死去（ホーカシキ炎）

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム社長咽喉ヲ痛メテ

欠勤

午後四時退出歸宅

此朝家計費トシテ井上ニ金五拾円ヲ渡ス

峯ノ家具製作方ヲ松浦家具製作所ノ主人ニ注文ス

全人近々峯ニ赴ク筈

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月7日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

茅町先代五十年祭典

午后三時

北海タイムス東京支局新築

落成披露東京会館

午后五時

社長阿部 良夫

相談役 東武

断

国防義会座談会

鐵道協會后六時半

断

【本文】

午前十一時半出社々々長欠勤

日本製鐵会社ニ引継キタル前処長金子恭輔及營業

事務市川藤吉ノ両氏挨拶ニ来ル

光村工場ノ倉成文太氏来訪

鎌田栄吉氏宅及土崎船木久治氏宅ニ各香典式拾圓

ヲ贈ル

午后三時茅町邸ニ赴キ先代弥太郎氏五十年ノ法要ニ

臨ム余ハ三菱会社従業員ノ代表トシテ招カレタルナリ親戚

ノ外故人ノ下ニアリタルモノ恒川新助（八十二？病氣不参）山本達

雄男（不招）根岸鍊次郎各務幸一郎ノ数氏存在スル已社

長夫婦モ病氣ヲオシテ参会セラル四時半退出鎌田氏宅ニ悔ニ

赴カント欲セシモ日暮ニ迫リタルヲ以テ見合セ歸宅

后五時半小林利助氏見ユ標本ニ付窓飾リヲ定メ全シク

松浦ニ注文スルコトス

全七時小林茂峯ヨリ歸リ全地ノ詳報ヲ聞ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月8日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

八日會

来賓林銑十郎陸相

幹事、郷、池田

出席

鎌田栄吉氏告別式

青山斎場午后

【本文】

午前十一時出社々長室會議ニ臨ム終テ社長串田自
分列席造船公開其他ニ關シ永原加藤武雄両氏
ヨリ各別ニ呈出シタル意見書ニ關シ説明ヲ聴取ス
午后一時竹中工務店ノ小林利助氏全道銀坐裏

ニ赴キ峯別荘用絨毯大小六枚ヲ購フ

（代金貳百四拾余円）一旦歸社

午後貳時半青山斎場ニ於ケル鎌田栄吉氏ノ告別式
ニ臨ミ歸途調髪

全五時五十分山口ニ於ケル八日會ニ臨席ス中島商相
筆禍足利尊氏ノ為今夕辞表ヲ呈出シ混雜ノ為欠席
林陸相モ亦全出席ノ為メ出席ヲ見合セ外ニ池田福
井藤山ノ三氏病氣欠席来賓ナキヲ以テ九時半退出
歸宅

留守中典夫土佐ヨリ歸リ来訪

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月9日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

鮮満協会試食会

レインボーグリル后五時半

断

星野錫氏胸像贈呈

式江戸橋実業聯合館

后一時半

断

【本文】

朝十一時永原理事ヲ招致シ造船公開ノ件ニ付
順序其他ヲ研究打合ス処アリ

午后四時半退出歸宅正彦伊豆轉地ノ件ニ付壽

美ヨリ電話アリ依テ電話ニテ正彦ヲ呼出シ轉

地ノ場合ハ一時熱海ニ滞留峯行キノコトハ全地ヨリ沙

汰スル迄待合ス事ニ打合セ其旨ヲ峯ノ壽美迄

電話セシム

午后六時木挽町山口ニ於ケル造船会社新会長斯波新

常務伊東元良本店新參與武藤社内披露ノ宴ニ臨

ミ七時半全処ヲ辞シ鳥居坂邸ニ赴キ小山田繁蔵中

将ヨリ来国行一派ノ特徴ヲ聴キ二字国俊来国俊

全国光、来国次（今村氏ハ堀川物ト鑑定ス）ノ実物ニ就キ

教ヲ受ク余ハ来国光在銘短刀及来国眞象嵌銘

ノ二口ヲ持参ス皆合格ス十一時歸宅

家計費ノ内へ金百円ヲ渡ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月10日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝九時日満中央協會中沖壽氏ヨリ面会申込アリ旅行
スル旨ヲ以テ断ル十時全氏来訪出發直前ナルヲ以テ面
会ヲ断リ出發小林茂随伴ス
十時五十五分中央驛發熱海ニ向フ武市利美氏夫婦子息
式人嫁孫ノ一行熱海ニ赴クニ会ス新橋丸子おか弥ノ
兩人モ亦車中ニアリ今暁熱海園ニ宿泊スルト云フ一時八分
熱海着出迎ヘノ佐藤ノ自動車ニテ峯ニ向フ式時十分伊
東着三時熱川通過全四十五分峯着壽美ニ出迎ヘ
ラレ玄關ヨリ始メテ新邸ニ入ル大ナル山桃、楓、椿式本近
郊ヨリ搬入セセラレ玄關前ニ横ハレリ新シキ家ニテ清
澄ナル温泉ニ浴シ老夫婦團欒食事ヲ共ニシ留守中
ノ事ヲ語り合フ清快云フ可カラザルモノアリ
出發ノ際家計費トシテ金貳百円ヲ井上チカ女ニ渡し置ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月11日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

本日ハ紀元節ニテ昨年始メテ伊豆ヲ周遊シ峯ニ来
泊シタル一周年ニ当ル昨年ハ旅宿本年ハ我家ニ泊ル感
慨無量ナル者アリ

一年の後に我家に住まんとは去年の旅には思はざ
りけり

茂ノ父喜太郎モ折宜ク来リ居リ七人一日掛リニテ漸ク
山桃ト楓ノ大樹ヲ植付ケタリ為メニ玄關前ノ引締リ事
云フ迄モナシ

夜分正彦一行熱海ホテルニ来着ノ通知アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月12日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

【本文】

朝ヨリ椿ノ小ナル分ヲ玄關前ニ幹大ク枝ノ一方ニ扁シタル
分ヲ小瀧ノ左上段ニ植付タリ枝振能ク居リ合ヒタリ
午后三時過ヨリ職人ハ玄關前ノ地ナラシ掃除ニ暮レ
タリ

食堂ニ支那掛額四連ヲ掲ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月13日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

通信後援会

日本工業倶楽部

正午 断

【本文】

今朝雨模様ナリシモ午后ヨリ日光ヲ見ル」大工ハ中門ノ地割ヲナス」組合工事中ノ道路ノ土約五十坪ヲ申受持込ヲ運搬費立坪三円ニテ受負ハセタルモ石クレ多ク真土少キヲ以テ取消シタリ

朝八時鈴木台処道具ヲ運搬シ来ル職人三名取付ノ為来峯なんやニ宿泊セシム夜十二時吉祥寺ノ自動車右ノ一部ヲ運搬シ来ル運轉手ヲ松龍館ニ泊ラシム植木職ノ連中ハ朝ヨリタヘニカケ向山ヨリ山桃一本ヲ運搬シ来ル之レヲ玄關前ニ植エ牧太郎ハ居残リテ大瀧小瀧ノ間ニ山茶花及霧島、五月ノ植付ヲナス

午后玉峯館ノ主人来訪

生田定之氏妻君死去ノ公告ヲ見吊電ヲ発シ香料金貳拾圓ヲ贈ル様留守許ニ差圖ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月14日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

三土鐵相案内

帝国ホテル后六時

断

観光局、委員会

午后十一時

全評議員会 断

后四時

【本文】

午后稻取警察署長警部補某峯勤務川村巡查

全道挨拶ニ来リ邸園ノ拝見ヲ許サレタシトノコトナリ壽美之レ
ヲ案内ス兩人意外ノ待遇ヲ感謝シテ辞去ス

植木職ノ連中ハ喜太郎始メ悉皆約束ノ立木掘起シニ出
向キタリ

夜分熱海ノ千代子ヨリ電話正彦顔面腫物ノ為来峯ノ
件ニ付壽美ト打合セヲナス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月15日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

【本文】

朝弁天町留守宅ヨリ多門二郎中将及山本徳三郎
ノ両氏死去ノ報アリ多門中将ハ胃潰瘍ニテ倒レタルモ
ノ全氏凱旋後会食ノ約ヲ果サズシテ病氣トナリ今日
死亡ノ際モ会葬難致場合ニアルヲ遺憾トス供物ノ
撰択ハ之レヲ秘書役ニ委ネ全時ニ会葬ヲ依頼ス
山本氏ハ曾テ神戸造船所ノ病院長タリシ仁香奠弔
拾円ヲ贈リ書生ヲ会葬セシムル様指図ス
小林喜太郎午餐後箱根ニ歸ル前、今両回ノ旅費
并ニ手宛トシテ金四拾圓ヲ遣ハス
玄關前ニ椎ノ木ノ植付ヲ為ス
壽美ヨリ小林茂ニ植木代并ニ職人賃銀払ノ為メ
金貳百圓ヲ手交ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月16日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日伯中央協会
賀陽宮全妃両殿下
外遊御送別会
華族会館正午
会費七円 断

【本文】

余寒大井ニ薄ラギタリ午前溪水＊引＊用タンクノ取極ヲナス
午后三時半頃小林利助氏東京ヨリ来ル
全四時半頃正彦夫婦宅之助女中律女熱海ヨリ来リ
一家遽カニ賑敷ナレリ正彦ハ兄ニ包帯ヲナシ居レリ
宅之助至テ元氣千代子モ最早病后ノ者ニアラズ
椎櫨三本ヲ邸ノ西北塀ニ沿フテ植付タリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月17日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

モチノキ
杣

【本文】

昨夜ヨリ一家久振リノ団欒ナリ宅坊中々愛嬌アリ
小林利助氏午后歸京
茂ハ殆ント終日玄關前下木ノ植込ニ従事シ面目ヲ一
新ス
夕刻鵜ノ木式本櫥三本ヲ持込ム

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月18日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前正彦顔面腫物ノ診察ヲ受クル為メ見高ノ
医師ノ許ニ行ク可ク打合セ置キタル処運轉手佐藤ノ勘
違ヒヨリ河津濱ノ医師ヲ招致シ来リ千代子宅坊ト共ニ
全医師ヲ全乗セシメ其許ニ赴キ診察ヲ受クルノ滑稽
ヲ演シタリ
茂ハ他ノ職人ト共ニ昨日持込ノ樹木ノ移植ヲ了ヘタリ
午后三時玉峯館ニ挨拶ニ赴キ主人稲葉時太郎氏ニ
面談道路ノ件ノ終結ヲ頼ミ置ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月19日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

氣候温和トナル茂、信、牧其他ノ職人ハ玄關先ト池向
フノ下植ニ従事面目ヲ改メタリ

正彦ハ河津濱ノ医師ノ許ニ往復ス

とし女ハ疲労ノ為メ一日寐込ミタリ

白耳義皇帝アルフホンゾ山登リノ際断崖ヨリ墜落シ

崩御ノ報ニ接ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月20日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

〔予記〕

万葉聴講会、

華族会館五時

土佐二十日会

丸ノ内常盤午后五時

断

【本文】

昨夜冷氣強ク池ニ厚氷張ル今朝天氣清朗温和ナリ
宅之助朝来機嫌悪敷見高ノ医師 氏ヲ招キ診
断ヲ受ケタルモ何モ異状ナシトノコトニテ食事後元氣トナ
レリ

本日歸京ノ積リナリシモ都合ニヨリ明日ニ延期ス
正彦ニ金五百圓ヲ與ヘ普請ノ都合上月内ハ当別荘ニ止マ
リ来月一日ヨリ今井莊ノ旅館ニ移轉ス可シト申聞ク
兵庫縣山本植木屋ヘノ拂残リ約四百五拾圓ト月内
職人并ニ牧太郎給料宛ニ金六百五拾圓ヲ夜分小林ニ
渡ス

壽美晚餐後例ノ胸痛ニ悩ミタルモ大事ニ至ラズシテ
止ミタリ

当処ノ土居支店ニ本月三日ヨリ廿日迄ノ諸買物通帳高
七拾壹圓四拾三錢ヲ支拂フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月21日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

〔若干記号のような記載あり〕

【本文】

午前中ハ植木ノ指圖ヲ為ス

正彦夫婦宅之助ハ月内ハ当別荘ニ止マリ来月初メヨ
リ今井濱ノ旅館ニ引越サシムルコトトシ旅費トシテ五百
圓ヲ給與スとしハ月内ハ正彦等ノ為メ別荘ニ居残リ
ノコトトス

兵庫山本ヨリ取寄セノ植木代残金并二月内人夫支払用
トシテ小林茂ニ六百五拾円番人牧太郎二月給并二家
計支払宛ニ貳百円外ニ直ニ五円、大工松本外二人ニ拾円植
木人夫ニ拾円、水道屋ニ五円ヲ贈與ス壽美ヨリとし

ニ家事賄費トシ金百円直ニ別ニ五円ヲ与ヘタリ

午后七時二十分正彦等二分レヲ告ゲ壽美全道佐藤ノ
自動車ニテ発程四時廿五分熱海発ノ汽車ニテ歸東
六時十分中央驛着全半自邸ニ入ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月22日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

老将会返禮

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列シ了リテ社長ヨリ留守
中ノ事件ヲ聴取シ就中井出事件解決ニ付採リタル
方法ニ付説明アリ全氏ノ手許ヨリ飯田供托ノ書類ヲ
取戻シタリトノコトナリ
午后一時故吉井友兄ノ告別式ニ牛込仲町ノ私邸ニ会葬シ
歸途生田定之氏宅ニ留守中令闍死去ノ悔ニ立寄り歸
宅吉井氏ノ許ニハ今朝供饌貳拾圓
午后四時服装ヲ改メ新喜楽ニ赴キ老将会連中ヨリ自
分并ニ矢野恒太氏ノ両氏今年古稀ノ高齡ニ達スルニ付旧
臘送別新年歡迎ヲ受ケタル答禮ノ将棋会ニ臨ム会
スル者主人兩人ノ外ニ大橋、藤山、小田切、藤原、兒玉、加藤
土方ノ九名ニテ林権助、生田、
、服部ノ四人ハ病氣又ハ事
故ノ為メ欠席食后棋戦尚數回宅ニ歸レハ十時ヲ過グ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月23日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

昨夜ヨリ寒氣強シ本日ハ大内山ニ於ケル皇儲殿下御
誕生御餐宴ノ第一日皇族大臣外国使臣等約百名
ヲ召サル明廿四日ハ公爵勲一等以上約四百名廿六日ハ
男爵、勲三等以上約四千五百人ニ茶菓子ヲ賜ヒ廿七日ハ
從五位以上ノ者約七千人ニ全様ノ筈ナリ
十時五十分出社午后永原理事ヨリ造船公開ニ關スル別
案ニ付説明ヲ聴取ス
午前十一時坂本正治氏ヨリ出井事件取扱ニ付遺憾
ノ意ヲ漏サル
午后貳時十五分郵船会社ニ赴キ取締役会ニ臨ム
全四時退出池ノ端ノ会合ニ列席十時歸宅壽美復胸
痛ノ悩アリ
大道良太氏死亡ノ通知ヲ受ケ香奠貳拾円ヲ贈ル

【欄外】

〔欄外 右上〕

500

【日記の日付…昭和9年2月24日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

正彦躰格検査ノ件
ニ付佐藤要人博士ニ
相談 稲田博士ニ全
氏ヨリ依頼スルコトトス

壽美、久原清子、原田
茅太郎夫婦中村芳治
ヲ伴ヒ水難救済会ノ
為歌舞伎座見物
ス

【本文】

朝九時半大橋新太郎氏来訪膳桂之助氏辞職
ノ件ニ付打合ス処アリ
十時四十分出社造船公開ノ順序ニ付串田、斯波、永
原船田ヲ招集社長ト共ニ協議ヲコラシ尚廿八日
午前十時半ヨリ続行スル事トス
午后一時日満中央協会常務理事中沖壽氏外二
人来訪会館建築寄附金ノ事ニ付懇願スル処アリ
全式時松村亀太郎氏来訪
全式時半渡辺鍊藏氏東京商工会議所退職ノ挨拶
ニ来ル副会頭中野金次郎氏ト衝突ノ結果ナリ
全時竹中工務店小林利助氏福永支配人ト共ニ来訪
峯洋館ヒーター飾上置蠟石ト取換ノ為見本ヲ持参
扨班ノモノニ決定ス
四時退出歸宅
朝来咽喉ニ少シク痛ミヲ感ス佐藤社医ニ診察ヲ享クサン
タルコトナシ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月25日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

明日参内ノ為注意シテ引籠レリ
壽美午后三時過キヨリ吉祥寺ニ往復ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月26日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇天

〔予記〕

皇太子殿下御誕生
賀筵御召
后一時ヨリ四時迄ニ参入、

三井物産南条金雄氏
案内新喜楽
午后六時 請

乃木講総取締井上
幾太郎大将案内
偕行社后五時半
断

【本文】

午前十一時半出社
午后一時倉成文太氏来訪
全時十分皇儲殿下御誕生ノ御祝トシテ参内豊明殿
ニ於テ茶菓ヲ賜ハル本日召サレタルモノハ從一位勲一等
以下從四位勲三等高等官一二等貴衆兩院副議長
各宗管長無慮四千名朱塗ニ御紋章入りノ紀念杯ヲ
拝領シテ退出シタリ
両三日前ヨリ咽喉ヲ傷メ居ルヲ以テ歸宅後新喜楽ニ
於ケル三井物産南条氏ノ招宴ヲ断リ加養
壽美高島屋ニ赴キ七時半歸宅松浦家具店主人
来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月27日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東京商工会議所主催
渡辺鍊蔵君送別会
東京会館午后五時半
断、

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム
午后一時土居貞弥氏来訪
全半大河内正敏子来訪理化学研究所社債式
拾五万圓引受ノ事ニ付再應依頼アリ詮議ス可シト答
ヘ置ク
高島日本経済聯盟協会理事報徳会ヨリマルクス批
判書出版経過報告ノ件ニ付打合セノ為メ来訪
橋本圭三郎氏蠶糸興業払込徴収ノ件ニ付挨拶哀
願ノ為来訪
島村秀雄ノ懇願ニヨリ金参百圓ヲ送付ス
永原理事ト三菱造船公開ノ手順ニ付打合ス
四時半退出歸宅
夜分大阪大平城郎ニ（東成区生野田島町百三十五番地）
ニ典夫名義電話加入権（二口）譲渡ノ件ニ付返事ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年2月28日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

造船公開ニ關スル会議
午前十時半ヨリ

千島北洋開發期成
招待会案内

帝国ホテル午後四時
断

工業俱樂部専務
理事会 正午、

夜分奥村政雄引
続キ鮎川義介來訪

【本文】

午前十時半出社前回ニ引続キ造船公開ノ順序ニ付
社長、串田、三好、永原、船田、斯波、加藤（成男）ト共ニ協議
ス余ハ工業俱樂部ノ専務理事会ニ臨席スル為中
座ス後社長ヨリ纏リタル報告ヲ享ク

一造船航空兩社合併後ノ資本金ハ五千五百万圓
トスルコト、

一二期ニ兩社ノ特別配当ヲナシ造船ノ未払込式千万圓
ヲ徴收スルコト、

一ノ一、プレミアムノ趣意ヲ以テ用意スルモ当否ハ株式
賣出シノ場合再考スルコト、

余ハ造船ヲ四千五百万円ニ減資ノ一プレミアム賣出ノ説
ナリシモ衆議ハ如斯決セリ

正午工業俱樂部ニ郷、大橋、有賀ノ専務理事ヲ会
合シ膳常任理事團体保險専務ニ就任ノ為辭職
申出ヲ認許スルコトトス

【欄外】

后四時半ヨリ青山斎場ニ於ケル山本長方氏ノ告別式ニハ久埜秘書ヲ代理セシム
午前一時半退出鉱業会社ノ重役会ニ臨席、四時退出丸ビルニ立寄り歸宅

【日記の日付…昭和9年3月1日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇天

〔予記〕

日本産業新株払込

期日 壱株七円五拾銭

満州国公使丁士源招

待

皇帝即位式祝筵

東京

丸ノ内会館午后七時

請

小林茂及とし女峯

ヨリ歸宅

【本文】

午前十一時出社々長室會議ニ列ス

前兼二浦製鐵所々長萩野友助氏引見

午后一時廿分林桂中将快僧西岡大元奉天郊外ニ

寺院建立ニ付後援依頼ノ為メ來訪近ク詮議ス可シト

返事ス

午后貳時麻布龍土町ニ於ケル橋本正彰氏ノ告別式ニ

臨ミテ歸宅ス全氏ノ營葬ニハ花環ヲ贈リ山本長方

氏ニハ一昨日香資貳拾円ヲ贈ル

昨丸ビルニテ落札シタル三組今利井（三拾円）清水焼金

十人前

爛手菊形中皿（拾一円五十銭）全染付角形向付拾人前（二円

五十銭）外ニ刀袋（拾円五銭）ヲ受取ル

午前七時東京会館ニ於ケル満州国公使ノ催ニカゝル

皇帝即位ノ祝筵ニ臨ム來会者無慮七百人開会

ニ先チ日満音頭及満州音頭ノ余興アリ了公使ノ挨拶ニ

対シ廣田外相首相代理トシテ祝辞ヲ述ブ歸途明月皎々

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月2日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

午后東洋製鐵推撰
日鐵重役ニ關シ松岡
均平男ノ意向ヲ糺ス

【本文】

朝九時四十分桐島像一氏犬養氏銅像ノ件ニテ来
訪該問題ハ木村ヲ困ラス已ト全氏ヨリ返事セシム
神戸ノ田村若夫婦来訪壽美ヲ面会セシメ出社
午后藤田海軍次官紹介長谷川少将外一名青年海
員團鮮丸ニテ今夏南洋巡航ニ付経費七万圓ノ内
四万圓ヲ三井三菱折半援助依頼アリ船田氏ニ移シテ詮
議セシムルコトトス
午后三時服部金太郎氏ノ死ヲ私邸（麻布三光坂）ニ吊
ス湯浅宮相、望月圭介氏先在望月氏ト共ニ金太郎氏ノ
顔ニ最后ノ告别ヲナス四時退出池ノ端ニ赴キ晚餐ノ饗
ヲ享ケ六時半中坐歸宅背廣ニ改メ七時五十分鳥居
坂岩崎邸ニ赴キ刀劔ノ研究会ニ臨ム小山田中将ヨリ關
物兼氏、兼吉、兼元兼基ニ付説明ヲ聞ク余ハ信国ノ
合口ト兼氏ノ脇差ヲ持参ス何レモ在銘初代ニアラザルカ左
シテ年代ノ下リタルモノニアラス就中兼氏ハツカレナク良キ物
ナリトノ賛辞アリ十一時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月3日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雪曇

【本文】

夜半ヨリ雪少シク積ム午后余リ消エ十一時出社々長室
会議ニ臨ム終テ社長ト林桂中将依頼ノ奉天建設寺院
寄附ノ件ヲ協議シ三好常務ヲシテ大倉喜七郎氏ノ
意向ヲ聞カシムルコトトス

午后浪華製紙地処阪神電鐵敷地横断ノ件ニ付志貴
製紙常務引見

全四時退出渋沢栄一氏未亡人ノ死ヲ西巢鴨ノ邸ニ吊問
五時歸宅

昨夜渡瀬三郎氏（＊福原＊長子夫）宅失火全焼ニ付壽美見
舞ニ赴キ兼テ井上末子刀自ノ病氣ヲ見舞フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月4日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

渋谷刀自告別式

上野寛永寺一時ヨリ
式時

服部金太郎氏告別式
青山斎場式時半ヨリ
三時半

何レモ久埜氏二代
拝依頼双方ニ花輪
ヲ贈ル

【本文】

午后一時壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴キ小林茂ニ峯
別邸築庭用費用宛ニ金四百圓ヲ渡ス六時

退邸途次調髪七時半歸宅
夜分大平城郎ヨリノ来信ニ返事ス全人近クブラジル
移住ノ志アル旨申居レリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月5日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

中島門野両氏慰労

晩餐会

新喜楽后六時

出席

故團氏三回忌供養

茶会案内工業俱

楽部三時半ヨリ

五時半

午前十時銀行総会

【本文】

午前十時出社三菱銀行総会ニ臨ム八分ノ配当案
ヲ可決ス

西岡大元（僧元陸軍少尉）發起奉天北陵附近ニ満
州靈廟建立資金ノ内ニ三菱トシテ金三万圓醵

出可致旨林桂中将（本日教育総監部本部長ニ轉任）
ノ許ニ通報ス

松岡均平男日鐵会長ニ付松本商相、及中島前商
相ノ意向ヲ来リ傳フ何レモ目下郷男推舉ノ意志ナ
シ

高島坑長勝俣英氏技術部長ニ轉任挨拶ニ見ユ

午後四時退出團氏三回忌ノ法要茶会ニ工業俱樂部
ニ臨ミ五時前退場共楽俱樂部ニ立寄り六時

新喜楽ニ於ケル中島前商相及門野重九郎氏慰

労ノ宴ニ臨ム門野氏風邪ノ為欠席伯霍ノ講談

及踊ノ余興アリ九時退散

【欄外】

「欄外 右側」

后式時神田正雄氏來訪渡支中ノ報告ヲ聞ク

【日記の日付…昭和9年3月6日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

両三日来寒威強シ十一時出社々長室會議ニ臨ム
后式時中川小十郎氏来訪全人総長タル立命館
（法、経）ノ為金壺万圓寄附依頼アリ全館ハ廿五年
前全氏ガ私財廿五万圓ヲ出捐シテ設立シタルモノ卒業
生ハ五千人ヲ算シ中ニハ檢事正タルモノモアリ在學生三千
五百名目下ノ資産ハ百万―百五十万圓ニテ五拾万圓
ノ負債アリ從來單ニ三井（安川雄之助氏ヲ合シ）住友ヨリ
各壺万圓原田積善会ヨリ三万圓ノ寄附ヲ仰キタルノ
ミト云フ三好常務ニ移シ詮議セシム
午后四時退出歸宅
夕五時網屋主人手代野田ト共ニ来訪携フル処ノ光忠、
行光ノ大小、初代和泉守国貞大小、有法師ノ合口等ノ
内ヨリ包清ノ刀（在銘八百円）正雄ノ合口（百五十円）ノ二
口ヲ預ル
加藤静夫氏ノ葬儀ニハ名代ヲ会葬セシメ香奠拾五円ヲ
贈ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月7日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

隣家ノ前鐵相原脩次郎氏昨夜九時腦溢血ニ入院
中慶應病院ニテ斃ル今朝十時半全氏邸ヲ吊問
シテ出社ス全氏ハ苦學シテ私立大學ヲ卒業台灣ノ巡查
ヨリ身ヲ起シテ遂ニ大臣ニ到リタル立志傳中ノ仁ナリ享
年六十四民政党ニトリテハ大打撃ナリ
午后光村工場ノ倉成文太氏來社、
ルンペン稲垣某ニ大阪ニ歸ル旅費拾円ヲ久埜氏ヲ通
シテ渡ス
后四時退出日本産業ニ立寄り義介ニ面会郷氏日
本製鐵會長タルニ付松本商相ノ意向ハ差向キ歡迎
セザル可キ旨ヲ告ゲ置ク五時歸宅
壽美ハ井上同伴東宝劇場八重子見物ニ赴キ十一時
頃歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月8日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

*少雨後*晴

〔予記〕

八日会 五時半

幹事土方、藤山

来賓 林陸相

出席

正午東京商工会議処

新館落成式

請

【本文】

今朝食後復例ノ動悸打ツ引籠静養電話ヲ以
テ八日会ノ出席ヲ断ル朝少雨アリ

壽美亡父ノ命日ニ付染井ニ展シ歸途巢鴨ニ母ヲ
省ス頑健ナリ宮崎善雄ノ件依頼アリト聞ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月9日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

伊藤緑良弟良香ト
岩田恒房長女重子
ト結婚披露
帝国ホテル后五時半
両人 断

日本経済及東商主
催、シガコ有力者
ランドルフ大佐招待
茶会午後四時
断

原脩次郎氏告別式
后二時―三時
青山斎場

【本文】

本日為念引籠リ静養
本日午前八時頃武藤山治氏新鎌倉ノ別荘ヨリ
時事新報社ニ出勤ノ途上別荘ヲ去ル二甲斗ノ処ニテ
暴漢福島新吾ノヒストル襲撃ヲ受ケ三ヶ処ニ
重傷ヲ蒙リ全伴ノ書生ハ即死暴漢ハ自殺セリ
氏ハ鎌倉大場病院ニ收容セラル原因ハ單ナル火葬
場ニ關スル私憤ニアルガ如シ会社ニ電話シ名代トシテ
秘書課ノ森豊之助ヲ見舞ニ赴カシム
原脩次郎氏ノ告別式ニハ久埜氏ヲシテ代リ赴カシム
竹中工務店ノ小林利助氏峯工費殘金請求書ヲ
持参ス
共楽落札短刀三口鎗身三本ヲ代取り代金百貳拾
参圓ヲ支払フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月10日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

蠶糸興業株式会社
総会午后式時

【本文】

午前十一時半出社本日ハ陸軍記念日ニテ聖上偕行
社ニ行幸アリ
社長三好、赤星ナドハ老人組ゴルフトーナメントニ赴カ
レタリ

午前一時五十二分発ノ電車武藤能隣氏ヲ随ヘ鎌
倉大場病院ニ武藤山治氏負傷ノ見舞ニ赴キ子
息并ニ女婿中上川三郎治氏ニ面会見舞ノ辞ヲ述ブ
竹中藤右衛門氏モ席ニアリ歸途自動車ニ送ラレ四時
十八分中央驛歸着一應会社ニ入り五時歸宅
夜分典夫ヲ招キ大阪寄留地退去届并国本邸宅賣
却ノ意志発表ノ有無ヲ糺ス全然覚ヘナシト云フ
全時高島屋美術部長赤尾氏ヲ招キ古稀祝物ノ
返礼トシテ關雪揮毫ノ夫婦扇子ノ製作ヲ依頼ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月11日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

后一時東京美術俱樂部ニ赴キ某侯爵家及春陽軒
ノ賣立ヲ見刀劔ノ内ヨリ故土屋可成氏旧藏ノ津田助
直ノ刀ヲ川辺ノ中村ニ注文シ置ク
歸途申々窪＊西久保＊町ノ骨董店ニテ合口一口卜鏢一個（廿六円）
薩摩者ノ店ニテ今利五隻船大皿（拾八円）錦欄手中皿
（拾五円）五彩南京角花瓶（三拾八円）九谷（今利？）染付中
皿六枚（八円）（以上ヲ七拾五円ニ）＊古＊九谷染付免画中皿五枚（名
品古渡ノ如シ）貳拾五円）古渡染付中皿五枚（貳拾五円）薩摩
角形深力向付五枚貳拾五円、古九谷小皿五枚拾五円（以上三
点六拾円合計百六拾圓ニテ購フ
武藤山治氏昨夜九時遂ニ歿ス可惜

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月12日（月）】

【予記 等】

「天気」

曇雪

「予記」

蠶糸興業第二回払込
一株貳拾五円（全額）二百
株分

光悦

正午マルクス批判講
演工業倶楽部

日経主催外務書記官

首藤安人招待茶

会后四時

断

【本文】

今朝新聞ニテ武藤ノ葬儀ハ大阪ニテ営マル可ク十三日
午前遺骸ヲ東京驛ヨリ住吉本邸ニ護送ス可シト
ノ報ヲ見十一時半出社武藤氏ニ最后ノ別ヲ告ク可ク
后一時五十二分ノ電車ニテ武藤能隣氏全伴新鎌倉
ノ別荘ニ赴キ武藤未亡人令嗣金太氏ニ吊辞ヲ述ベ
寢台ニ白布ニ包マレタル氏ノ永遠ノ眠リヲ觀往事ヲ追
懷シテ感慨無量ナル者アリ鐘紡社長津田新吾ニ
席ニアリタル加藤武男氏ニヨリ紹介セラル氏ハ武藤氏ガ常ニ
日露戦争ノ始ニ際シ余ノ為メニ救ハレタリトノ話ヲロニスル旨
鐘紡トシテモ深ク之レヲ德トスルモノナルヲ語レリ池田、加藤両夫
人モ席ニアリ歸途加藤夫婦ト車ヲ全クシ葬儀ノ際供華ノ
コト大阪支店ニ指圖方ヲ依頼ス
此朝三浦半島石油鉦区ノ件ニ付伊藤銀月ナルモノヨリ脅
迫カマシキ配達証明ノ書面ヲ会社ニテ示サル身許取調ヲ
依頼ス」四時半光悦ノ寄合ニ臨席九時歸宅正彦夫

婦宅之助今井濱ヨリ出京

【欄外】

「欄外 右上」

600850

【日記の日付…昭和9年3月13日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

雪雨

〔予記〕

大東文化學院卒
業式午前十時半

断

万葉聴講会、后五時
華族会館、

建武中興六百年記念会
祭典并ニ講演

青山日本青年館

后一時

断

【本文】

午前十一時出社々長室ニテ再度造船、航空両社合併ノ件ニ
付協議シ本日両社ノ重役会ニ声明セシムルコトトス終テ社長ヨ
リ彦弥太君四月一日ヲ期シテ正式就任ノ件ヲ茅町ト打合済
トナリタル旨ヲ聞ク尚社長室会議員ニ三好永原船田ノ
三氏ヲ列席セシム可シトノコトナリ青木氏退任ニ付テハ暫
ク見合サル可シト主張シテ納レラル余ノ辞任ニ付テハ差
当リ外部ヲ代表スル適當ノ仁ナシ難義ハ察スルモ留任
セラレタク此事ハ茅町トモ打合セ済ナリトノコト其代リ任
意出勤シテ差支ナシトノ事ナリ」松村亀太郎氏来社
四時退出歸途
今朝仙台良一ヨリ近ク關西出張ノ途次出京ス可シトノ
書面アリ夕刻明夕夫婦久雄全道着京ノ電報
アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月14日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記 傍線部赤点〕

工業倶楽部理事会

出席 正午、

朝九時正彦母全

道稻田博士ノ許ニ赴

ギ診察ヲ享ク最早

全ク異状ナシトノコトナリ

壽美ノ診断ハ改メテ

土曜日博士ノ宅ニテ受

クルコトトナル

処得申告書ヲ書面

ニテ四谷税務署ニ呈

出ス

中沖壽氏后来訪

【本文】

今朝来引続キ兩度動悸肅醇進出社ヲ見合セント

セシモ工業倶楽部ノ問題ハ膳常任理事團體保險

ノ専務就任ニ伴フ辞任ノ件アルヲ以テ勉メテ十式時十

分工業倶楽部ニ出席、理事会ノ議ヲ纏ム

會議中松本健次郎ト面談若松築港重役会出席ヲ

断リ取締役辞任ニ伴フ後事ヲ依頼ス

式時出社々長ト対談永原理事申出ノ社員配当金ノ

件ニ付其意向ヲ糺ス

一昨日伊藤銀月（秋田縣人伊藤銀治大町桂月ノ友ト聞ク）

ヨリ三浦半島石油鉦区ニ付申懸リノ件ニ付田中光頭老

秘書高井徳次郎氏代小林幸司氏（常陽記念会囑托）

ヨリ本件ニ付田中老ニ全人面目ヲ求メ老之レヲ拒絶シテ高井秘
書ニ善后策ヲ可講申聞ケアリ本件ハ一切自分引受ケ処置

可致ニ付取上ゲサル様望ムトノコトニテ当方ヘノ書面申受ケ度
ト申出アリ依テ其写ヲ送ル

夜七時半仙台田岡良一夫婦久雄同道出京来リ泊ス大利徳馬
ヨリ（神戸ヨリ） 壺周間前手紙ヲ受取りタリト聞ク

【欄外】

「欄外 右側 傍線部赤点」

峯 洋館家具并窓飾製作人松浦静枝ニ内金壺千円 竹中工務店ニ金壺万五千圓支払

【日記の日付…昭和9年3月15日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日仏会館午餐会

后○時半閑院宮殿下

御台臨 断

秋田鑛山専門學校卒

業式午后一時 断

紅葉館老友会

后五時

幹事自分

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ミ終テ会社配当金

ノ件ニ付永原ヨリ聞込ミタリトテ話アリ昨日永原ヨリ

聞ク処ト相違ス依テ全氏ノ意向ヲ糺スコトトス

午后全氏ヲ招キテ之レヲ糺ス社長ハ八年度ノ決算

処分ト九年度中ニ可行成溪學園基金寄附

ヲ混同シタルコトヲ確メタリ依テ永原ト打合セ八年

度ノ配当ハ三分ニ止ムルコトトス

松村亀太郎氏一月分光村工場ノ損益表及全二月

分豫算表ヲ持参ス

日満中央協会ノ中沖壽氏来訪

午后四時退出共楽ニ立寄り五時紅葉館ノ旧友会

ニ臨ム会スル者樺山資英志立鐵次郎、柳谷卯三郎

大久保利武久保勇士方久徴久保勇ノ七氏欠席ハ

樺山愛輔氏一人已（川上直三助宅ニ不幸アリ）女ニハ松壽秀松

親子、小蝶、 、ノ四人雑談跳舞歡ヲ尽シテ十一時半

退散

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月16日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

金子堅太郎伯陞爵

祝 延期

癩豫防協会理

事会内相官邸

午前十一時半 断、

海軍協会評議員会

午前十一時中央亭

断

武藤氏宮葬大阪

東京両処ニテ

【本文】

午前十一時半出社々長ト対談会社八年度配当率ヲ

決定シ全時ニ高橋鍊逸氏ヲ成溪ノ會計監督トナ

スコトトス前日銀行加藤常務ノ周旋ニテ乙部融氏ヲ

矢作水電ノ監査役ニ推舉スルコトトナス

午后一時長沢林太郎氏靖国会ニ連關從來贈位

者傳記編纂ニ付万葉会連中ニ伍シテ賛成署

名ヲ依頼ノ為メ来訪之レニ應ズ

后四時退出歸宅壽美ハ千代子宅之助ヲ伴ヒ青木、久

原、井上鮎川ノ四軒ヲ訪問ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月17日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東京音楽學校
皇儲御誕生奉祝
演奏会后一時半
断

茅町邸へハ三時頃七名ノ
倒閣運動者決議
文交付ノ為メ来ル
大平城郎ニ返書ヲ
出ス

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス此席ニテ成溪學園
ノ財團法人中未タ女子部ノ分離シ居ラザル事ヲ發見評
議スル処アリ

午后一時二十分前文部省成人課長松尾

及全■

ノ両氏皇太子殿下御誕生御祝トシテ下賜セ

ラレタル七拾五万圓ヲ基金トシテ財團法人愛育会ヲ

設立シタルニ付該財團ノ監事ノ一員タルコトノ依頼ノ為メ

来社アリ（財團ノ会長清浦子爵理事長ハ關屋貞三

郎氏監事ノ筆頭潮内務次官民間ヨリ外ニ池田成彬

小倉正恒ノ両氏）余ハ已ニ高齢ニ達シ責任ノ加重ヲ欲セザ

ル旨ヲ以テ之レヲ辞シタルモ強テトノコトニ付熟考ノ上確答スル

コトトス

三時十五分退出上野博物館ニ赴ク建武中興六百年資料

已ニ二十五日ニテ了リタルヲ知り直ニ歸宅

此日后一時斎藤内閣倒閣ノ演説ヲ両国々技館ニ開キ其決議

ヲ交付ス可ク

外五名三時半頃私宅ニ来ル

会社ヨリ出張ノ上田

之レヲ受取ル午后ヨリ巡查弐名神楽坂署ヨリ詰居レリ

【欄外】

「欄外 右側 傍線部赤点」

レントゲン写真ヲトル

朝九時光村利之来ル 壽美稲田博士ニ就キ診察ヲ受ケ帝大病院ニ赴キ

【日記の日付…昭和9年3月18日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午后一時十五分發吉祥寺ニ赴ク后三時過正彦夫婦
宅之助ト共ニ立原健彦夫婦ヲ伴ヒ来リ会ス
園内別ニ變リタル処ナシ六時過正彦夫婦宅之助ト全乗
吉祥寺ヲ出テ歸宅
壽美復少シク胸痛アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月19日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

若松築港重役会

出席

松本社長ニ欠席断
リ置

【本文】

朝十一時半家庭事務処ニ立寄り茅町男ニ面会八
年度三菱会社ノ決算配当率（三分内二分現金）ニ付男ノ
了解ヲ得タリ

十二時十五分出社々長ト対談愛育会監事ハ承引ノ
外ナカル可シトノコトニ一致ス其旨三好常務ニ通シ置ク
伊藤銀月ヨリ高井徳次郎氏宛ノ書面ヲ通読写
ヲトラシメ久埜氏ヨリ高井氏ニ返却セシム

社長ハ成溪女子部解決ノ為メ全學園ノ理事会ヲ開ク
四時半退出歸宅

運轉手小堀庫次四男關節炎ニ悩ム入院手当トシ
テ百圓ヲ贈與ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月20日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東電総会、臨時

【本文】

今朝九時発ノ燕号ニテ正彦千代子宅之助歸神ス
女中井上及書生古川ヲシテ見送ラシム
正彦出發ノ際田岡良一京都ヨリ歸リ来ル
十時四十分出社十一時半ヨリ社長室會議ニ臨ム
午后貳時竹中工務店ノ桶川氏来社峯別業電話
呼鈴増設ノ出願書ヲ托ス
熱海ヨリ久振リニ歸京シタル武田秀雄氏ト対談ス
三時半退出上野ノ会合ニ臨席八時歸宅良一夫婦
久雄夜九時上野發ニテ歸仙ノ途ニ就カントスルニ出
会之レヲ玄關ニ見送ル
共楽落札天齊美人＊棖＊（八円）春草秋景（三拾五円）ノ両
幅ヲ受入ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月21日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

烈風雨

〔予記〕

立教大學卒業式
后二時半 断

講道館落成式

箱館大火

【本文】

今曉ヨリ烈風砂塵ヲ卷ク午后ヨリ雨加ハリタルモ
風尚止マス夜ニ入りテ漸クオサマル為ニ春季皇靈
祭ノ大祭日モメチャ／＼トナレリ余ハ終日引籠リテ
ボロ幅ノ整理ヲナシタリ
此烈風ハ遠ク九州ヨリ北海道ノ端迄同時ニ宏ガ
リ函館市ハ今朝烈風中失火弑万余軒ヲ焼
尽シテタ刻尚延焼中ノ飛報アリ
書生蜂屋金次郎父 二伴ハレテ来ル壽美面会取
極ム
桶川氏歸峯ノ便ニ托シ小林茂ニ金弑百円勝俣
牧太郎ニ金百圓ヲ送ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月22日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

大日本国防義会国
防坐談会、帝国鐵道
協会 后六時半 断、

【本文】

函館ノ火災ハ昨夕刻ニ到リテ漸ク止ミタルモ延焼
式万七、八千戸羅災者拾万ヲ超ヘ焼死シタルモノ千人
ヲ下ラズ死屍累々酸鼻ニ堪ヘス＊トノコトナリ＊寒氣ニ喘キ 飢
餓ニ泣クノ状觀ルガ如シ早急ニ救護ノ法ヲ要スル
モノナリ

十一時出社々長室會議ニ臨ム

午后朝鮮兼二浦面長石橋正光氏全所製鐵所引

渡ノ際ノ厚意ヲ感謝シ挨拶ノ為出京松田前常務

ニ帯同セラレ來訪

柳谷卯三郎氏來訪樹徳院殿廿七回ノ法要ニ付供物

相談ノ為メナリ

谷流水、國沢新兵衛今幡西衛ノ三氏山内別格官幣

社基金増額ニ付寄附金増額依頼ノ為來訪此際

今幡氏ニ京師ニ連設シタル坂本、中岡両氏銅像費ノ内へ

金百圓ヲ手渡シス

【欄外】

〔欄外 左側〕

牛込神樂坂警察署内交通自動信号機建設後援会ニ金百円ヲ寄附即納
ス壽美取扱フ

【日記の日付…昭和9年3月23日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

老将会 后四時

幹事小田切万壽之助

断

産聯常任委員会

午前十時

断

郵船重役会后二時

出席返事

【本文】

午前十一時半出社々々長ト共ニ斯波造船会長ヨリ合併
後ノ本社組織變更ニ係ル意見ヲ聴取シ之レヲ是
認ス続テ社長ヨリ副社長手宛ニ付相談アリ年棒五万
圓トスル事トス

松村亀太郎氏午后来訪光村工場立退料市ヨリ請

取リタリトノ報告アリ

午后貳時郵船会社重役会ニ臨席歸途丸ビル日満文化

美術協会ニ立寄り清朝製三彩兎ノ置物壺対ヲ三

拾七圓ニテ求メ代金支払フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月24日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

社長先代廿七回忌法
要

高輪三時―四時

【本文】

朝十一時出社有賀長文氏待受ケ居レリ東洋製鐵
側ノ重役トシテ＊郷誠之助氏ニ＊日本製鐵会社ノ重役タルコトヲ歡告ノ
為メナリ会見了テ社長室會議ニ臨ム

午后函館大火救済金トシテ金五百圓ヲ府市東

商協同ノ催ニ寄附シ全額ノ小切手ヲ東京商工會議

所会頭宛ニ送ル

松村亀太郎氏來訪光村工場移轉費トシテ市ヨリ

請入レタル金四万千八百圓ヲ正木氏手許ニ返納アリ

南洋眞珠株式会社小川 氏引見南洋土人ノ鎗身

及全氏製作ノ鼈甲紙裁及靴穿ヲ贈ラル

午后三時高輪邸ニ赴キ樹徳院殿故岩崎弥之助男ノ廿

七回忌ノ法要ニ臨ム久振リニテ石川直記瓜生泰ノ両氏ニ面

会ス社外人トシテハ町田忠治土方久徴、柳谷卯三郎木村清

四郎夫婦ノ顔モ見ヘタリ壽美モ全時ニ來リ参拝ス

鐵道省ヨリ向一ヶ年ノ乗車証ヲ贈ラレ旧券ヲ返納ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月25日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

〔予記〕

社長先代廿三回忌

廿四日ニ操上ケ

修養團後援会

森村委員長案内

目黒雅叙園后六

時 断

岡田良平氏葬儀

【本文】

午后一時四十五分出門青山斎場ニ赴キ前文部大臣岡

田良平氏ノ告別式ニ会葬シ了テ玉川ノ墓所ニ赴キ

社長先代ノ墓ニ焼香ス社長夫婦松方正作岩崎輝弥

全豊弥未亡人等内輪少数ノ人々已ナリキ庭園ヲ散策

ソーヅ

シテ社長ヨリ添水ノ講釈ヲ聞ク

をく

いたづき＊をたま＊の木立＊霊＊に響く音の訝へに

ソーヅ

廟 をたまや

添水の名をは今知りにけり

木立漏るそをつの音や梅香る

水ぬるむ溪間に添水仕懸けけり

茶菓ノ饗ヲ享ケ歸宅

留守中石川直記氏態々訪問セラル挨拶状ヲ出ス

夜分典夫ヲ招キ大利徳馬ヨリ良一へ送金（再應十四日付）依

頼シ来リタル旨ノ良一手紙ヲ渡シ徳馬ノ尚神戸辺ニ徘徊

致シ居ルニ付弁護士ニ申送り適宜ノ方法ヲ執ル様注意ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月26日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

三井物産南条金雄氏
返禮会

蜂龍午后五時半
賛同返事

日本學術振興会
評議員会 廿四日
后五時半 断
華族会館 請

三菱銀行重役会
午前十一時
東京海上重役会
后二時半

東洋協会講演 正五時 断

【本文】

朝八時半三井ノ有賀氏ヨリ電話アリ郷氏訪問ハ一時
見合ハスコトス
朝十時半家庭事務処ニテ茅町男爵ニ面会副社
長俸給取極メノ件ヲ通シテ三菱銀行ノ重役会ニ
出席ス 社長ヨリ電話アリ午餐ヲ取ラスシテ出社々
長ニ面会社長昨日茅町男ニ面談ノ顛末及商事加藤
氏ノ始末及余ノ進退ニ及ブ両男協議ノ結果ハ迷惑
ナル可キモ暫時留任ヲ望ムトノ事ナリ余ガ*ヲ*貴族院議
員タル*ニ推薦*ノ件モ茅町ニ話シタリトノコトナリ
午后貳時半東京海上ノ重役会ニ臨ミ五時半退出丸
ビルニテ時ヲ消シ五時五十分蜂龍ニ赴キ三井物産
ノ南条金雄氏ヘノ返礼会ニ列席シ九時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月27日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

東洋協会評議員会
大阪ビル后五時
断、委任状ヲ送ル

警察後援会理事会
及評議員会
后 四時
出席

【本文】

朝文部省松尾社会課長ヨリ愛育会監事引受ニ付催
促アリ承諾ノ旨返事ス計算帳簿ヲ計理士ニ点検セ
シムルノ条件ヲ提出スル心得ナリ
拾一時出勤窠＊間＊際ニ例ノ心臓ノ鼓動アリ為メニ引籠
ル事トス
中橋氏ヘノ花輪ヲ秘書役場ニ依頼シ同時ニ警察後
援会ノ出席ヲ断ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月28日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

【本文】

朝十時竹中工務店ノ小林桶川ノ両氏来ル峯給水ノ件ニ
付糺ス処アリ全別邸ノ保険証書ヲ受取り全保険料
并ニ電熱器仕拂宛ニ小林利助氏ニ金貳百圓ヲ渡ス
正午十二時出社々長ヨリ懇篤ノ話アリ
午後一時半網屋ノ野田喜代重ニ大和包清ノ刀（八百圓
拵付）源正雄鮭皮拵合口（百圓）代金九百圓ヲ支払フ
全式時西川虎吉博士引見
兼ニ浦次長桑山貞次郎氏来訪引見

室

国防博覧会事務局岩田富美夫ノ名ヲ以テ丸ビル貸家
ノ件ニ付抗議来ル船田理事ニ渡シテ取調ヘセシム單ナル行違
ニテ已ニ解決セリトノコトナリ

三宅川商事会長引見加藤常務ニ關スル件ナリ
四時半歸宅

此日各自ノ処得届ノ件ニ付永原船田両理事ト協議ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月29日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

大雪

〔予記〕

東京商工会議所主催
国際労働会議使用
者代表浅野良三氏
送別会工業倶楽部
后六時 出席返事

日伯中央協会伯国
大使送別会
東京会館后六時半
断

中橋氏葬儀

【本文】

昨夜暁方ヨリ降り出シタル雪ハ終日小止ミナク降り積
レリ流石ニ彼岸後ノ事トテ降ルニ從テ解ケ積ム事
式、三寸斗ナリ霽渡リテ月出ツルナレバ雪月花ヲ一幅ニ
収メタルモノナリ

十一時出社々長室会議ニ列ス

午後は松準一氏来訪「三宅川商事会長引見

製紙会社会長田原豊氏菱三商会、江戸川工業両社

決算ノ件ニ付引見」三谷鉱業会長引見

午后二時中橋徳五郎氏青山斎場ニ於ケル告別式ニハ代

理トシテ久埜秘書ヲ遣ハシ全時今夕工業倶楽部ニ

於ケル浅野良三氏送別会ノ出席ヲ断ル

四時半退出歸宅雪尚止マズ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月30日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

鉱業会社重役会

午後一時

満州帝国公使丁士源

案内后七時燕尾服

特派大使鄭孝胥熙

洽ノ両氏紹介

請

【本文】

雪後天気清朗午前十一時出社

午後一時鉱業会社ノ重役会ニ列ス

全三時鳥居坂岩崎邸ニ赴キ刀劔研究会ニ臨ミ

備前物ノ内福岡一文字外一文字ノ素統ニ付小山田

中将ヨリ講義ヲ聴ク後鳥羽上皇ハ單二十六―二十四

弁ノ菊ノ紋ヲ切り信房、延房、助*則*宗ナドハ單二一、菊

一ヲ切ルハ助宗ノ末葉ノ如シト新太郎銘国吉、助包

其他二三ノ名刀ヲ歡ル夜会ノ時間差迫ルヲ以テ携フル処

ノ長光（拵共）景光ノ二刀ヲ預ケテ退出歸宅

后七時麻布櫻田町ノ満州公使館ニ到リ丁士源公使ノ

招宴ニ列ス鄭熙両特使ニ紹介セラル集ル者多ク官、軍

ノ高官ニ止マリ民間ノ者十指ニ過キス土方、児玉、結城有賀

山本（条）余及串田位下思フ会衆約百名支那料理廣田外相

ノ答辞アリ十時歸宅」小林茂五時頃峯ヨリ歸京全

処ノ模様ヲ聞ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年3月31日（土）】

【予記 等】

「天気」

曇

「予記」

工業倶楽部清興会

日米通商条約調印八十

周年記念祝賀午餐

会東京会館正午

東京横濱両商工会

議所主催 断

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス

午后貳時田中隆三氏工業倶楽部常任理事後任推舉

（古在所？某）ノ件ニ付来訪

野口栄三郎氏挨拶ノ為メ来社

全四時退出上野ノ寄合ニ臨席九時過歸宅

夜半ヨリ雨降ル

【欄外】

「欄外 右上」

100

【日記の日付…昭和9年4月1日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

午后三時壽美小林利助氏全乗麻布本村町藤田
新築工事中ノ邸宅ニ赴キ亀山宗月子ニ案内セラレ工
事ノ模様ヲ觀ル歸途小林氏ヲ新橋驛ニ送り銀座
裏濱作ニ立寄り夫婦晚餐ヲトル縄納簾ニ腰
掛ナリサレバ調味中々ニ乙ナリ費用七円三十錢祝儀ヲ
要セス満員大繁昌ナリ六時半歸宅
夜分義介来リ壽美ニ面会ス
大平城郎ニ返書ヲ出ス電話架設權ノ件ナリ
百科全書第一卷送付ニ対シ坂本嘉治馬氏ニ挨拶状ヲ出ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月2日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

満州国鄭総理歛

五

迎茶会四団体聯合

二時四十分

午后三時ヨリ四時ノ

一時間 請

同特使永井拓相

案内

東京会館后六時

モーニング（服装）

請

【本文】

午前十一時半出社

午后貳時彦弥太君副社長就任ニ付仝君ノ室ニ臨ミ挨拶ヲ
ナシ将来ニ対シ注意スルト仝時ニ自分隠退ニ付了解ヲ求
メ置」実印ヲ羽野秘書役ニ托ス

貳時半工業倶楽部ニ於ケル五団体聯合ノ満州特使

歡迎ノ茶会ニ臨ム会衆約四百名郷男ノ歡迎ノ辞朗讀ニ

対シ鄭総理答辞ヲ朗読ス特使四時退出銀行クラブ

ニ赴ク余ハ永井拓相ノ招宴ニ臨ム筈ナルモ尚時間アルヲ

以テ丸ビルニ立寄り刀剣類ノ賣立ヲ觀五時四十五分東

京会館ニ臨ム主客約五十名開会ニ先チ満州皇帝即位ノ

活動写真アリ余ノ席ハ主賓ノ右四番鄭総理ノ子息ト

曹公使館付武官（少将）ノ間ニアリ記念銀杯ヲ贈ラル

九時歸宅古川恒夫神戸電機製作処勤務ト定マリ

来八日赴任ト聞キ餞別トシテ金五拾圓ヲ與フ」赤坂長則
ノ姉三人来訪

【欄外】

「欄外 左側」

弘法大師一千百年遠忌法会高野山ニテ四月一日―五月廿一日迄
断

【日記の日付…昭和9年4月3日（火）】

【予記 等】

「天気」

曇雨

「予記」

電気協会開館式及
祝賀式 前十時
断

東方書道会第三周年
記念会大倉会長案内
午前十時 断

小磯国昭嗣子昭一ト
眞貝貫一長女敏子
ト結婚披露
九段偕行社后五時

【本文】

午前十時五十五分熱海行ノ汽車ニテ発程ノ豫定ナリシモ
九時過商事会社ノ件ニ關シ江口定條氏ノ電話ヲ受ケタル
際ヨリ動悸尤進シ出立ヲ見合セ小林茂ヲ先發セシメ
熱海ニ待受ケタル佐藤ノ自動車ト連絡ヲトル事トス
動悸収マリタルヲ以テ壽美とし女全伴○時十五分熱海
行ノ汽車ニ搭乗ス車中大阪小畑源之助氏ノ辻堂ノ別荘ニ
赴クニ会合ス発車後間モナク雨降り来ル熱海驛ニハ
茂、貴志文七ト共ニ待受ケ居レリ佐藤ノ車ニ全乗五
時十分峯ノ別邸ニ入ル

【欄外】

「欄外 右側」

東洋協会満州特使歡迎会東京会館后三時断

【日記の日付…昭和9年4月4日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

時々少雨夕晴

【本文】

午前十一時亀山宗月妻女栄枝及末女ノ三人来訪午
餐ヲ共ニシ邸ノ内外ヲ案内ス宗月子溪谷ノ壯觀ヲ
視テ感賞措カズ五時自動車ヲ供シテ熱海ニ送ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月5日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴后雨

〔予記〕

東京クラブ英大使
送別会后七時半

断

田中完三氏長女従子ニ
小阪拓次郎二男東
彦婿養子披露
帝国ホテル后五時半

一人請 断

警察後援会第四回

感謝状贈呈式

午前十一時 断

【本文】

記事ナシ

鶯を聞きつゝ今日の朝餉かな

【欄外】

〔欄外 右側〕

日本經濟聯盟会理事会 正午 断、

【日記の日付…昭和9年4月6日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

強風時々雨

〔予記〕

モーレット氏歓迎午

餐会全産聯主催

工業倶楽部正午

断

同二時懇談会

断

東商新理事木村増

太郎博士招待会

上野精養軒

后五時半 断

【本文】

記事ナシ

朝な／＼音信たりし鶯の来啼ぬ今朝は寂し
かりける

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月7日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

午前十一時玉峯館主人来訪賣地ノ圖面ヲ持参ス可ク
約束ス

拾三

紅梅壺本ヲ購ヒ（木円？）移植ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月8日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

午后下加茂ノ温泉場ニ赴カント欲セシモ自動車出払
ノ為見合セタリ壽美とし女及貴志をつれ海苔ノ採
集ニ河津濱ニ赴キ却テ鮮魚ヲ購歸ル
余ハ植木ノ指圖ニ忙シ裕菴本ヲ六円ニテ購ヒ瀧ノ上部
ニ移植ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月9日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

絶好ノ晴天ナリ十一時壽美貴志ヲ伴ヒ自動車ニテ海岸沿ヒニ下田ニ赴キ公園下巡循環道路ヨリ港内ノ風光ヲ賞シ更ニ豆州南端色雄岬ニ近キ大瀬海濱ニ蓑掛岩ノ絶景ヲ賞ス雄大ナル巨岩屏列天下ノ奇觀ナリ全処ノ濱ニテ弁当ヲツカヒ了テ歸途下加茂ノ温泉場ニ迂回野菜温室培養ノ模様ヲ視天城道ヲ歷テ六時歸莊運轉手佐藤ニ亀山夫婦熱海送りノ賃銀ト共ニ金貳拾五円ヲ支払フ

岩崎康弥君女婿林和雄氏去四日神戸病院ニテ死去明日東京ニテ宮葬ノ旨留守中弁天町ヨリ電話アリ仍テ林、岩崎両家ニ吊電ヲ發ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月10日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴 曇

〔予記〕

国際労働会議出席
代表一行送別午餐
会工業倶楽部正午

断

全産聯常任委員会
午前十一時

断

【本文】

終日庭園ニ出テ植木屋掃除ノ指圖ヲナス本日ノ村ノ観
音祭りノ為青年人夫ハ其為メニ休ミ来リシ者信太郎ノ
外三名已歸リニ四人ニ対シ酒手五圓ヲ與フ
庭内ノ山櫻満開ニ近ツク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月11日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

聖徳太子一千*三*百*十三*年忌

法用東京美術学校

講堂后二時返事

不要

【本文】

〔一度記帳したものに別の用紙で上書き〕

本日出発歸京ニ付小林茂ニ金七百圓牧太郎ニ
金百円ヲ渡シ置ク牧太郎ノ手許ニハ尚百〇五圓存ス
午後一時二十分峯別邸出立壽美とし貴志全乗
佐藤ノ自動車ニテ熱海ニ向フ四時全処着全時二十
五分ノ準急ニテ発車六時十五分東京驛着全半
過歸宅

【欄外】

〔欄外右側 前述理由のため翻刻を省略〕

【日記の日付…昭和9年4月12日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

午後三時倉成文太氏
来訪
全三谷鋳業会長
引見
四時退出池ノ端ノ寄合ニ
臨席九時半歸宅

【本文】

午前十時半江口定條氏邸ヲ訪フ不在直ニ出社々長室
会議ニ列ス会議ハ副社長室ニテ開カル重要案件ナシ
午餐後三宅川商事会長ヲ招キ去ル三日江口氏電話ノ商事
不正事件ト称スルモノノ顛末ヲ聴取ス本件ハ田中清三郎力上
海支店在勤中ノ背任行為ニ付除社訴追シタルニ対シ明糖
トノ込入リタル取引ヲ利用シ報復手段ニ出テタルモノニテ明

糺

糖ト商事ノ弁護士間ニ其曲直ヲ正サシムルコトニ打合セタリト云フ
栗屋文部次官（謙）文部社会教育官水野常吉氏帯同
赤司鷹一郎氏死去ノ跡ヲ襲ヒ職業指導協合理事長
トナリタル挨拶ニ来リ同時ニ一昨年同額ノ寄附ヲ依頼ス詮議
ス可シト答ヘ書類袋入ノ俣三好船田ノ両氏ニ渡ス
鮮銀総裁加藤敬三郎氏満州中央銀行貸金貳千万圓ニ付
擔保提供免除依頼ノ満州国鄭孝胥總理、財政部長
熙洽両氏連署依頼上ノ写ヲ持参ス高橋蔵相ハ提供期
限ヲ尚三ヶ年猶豫シテハ如何トノ意見ナリト云フ蔵相面談
其意向ヲ確メタル上返事スルコトトス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月13日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

後藤伯新年追憶会

工業倶楽部后五時半

仝伯傳記＊新平＊纂会

断

【本文】

午前十一時十五分出社武田秀雄氏土佐ヨリ歸来出社面会

日満中央協會中沖壽氏留守中ニ持参セル書面ヲ船田氏ニ渡し置ク

午餐後訪ネ来リタル江口定條氏ニ面会商事明糖間ノ件ニ關シ仝氏ノ意向ヲ聞ク

午后一時四十分高橋蔵相ヲ官邸ニ訪ヒ満州中央銀行貸金擔保ノ件ニ付蔵相ノ意見ヲ糺シ当初ヨリノ關係ヲ説明ス蔵相三ヶ年擔保提供猶豫ハ其間軍部ニ容

嘴ヲ許サ、ルノ意向ヲ確メ可成其趣意ニ從フ可シト挨拶退出ス

歸途家庭事務処ニ立寄り茅町ヨリ古稀ノ祝品ノ札ヲ述べ全時ニ前項ノ件ヲ報告全意ヲ得歸社其旨ヲ副社長

ニ報道シ置、

松村亀太郎、君塚勝彦両氏来訪四時半退出

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月14日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

明治生命新築落成
披露并ニ東京会館
晚餐会后五時半
断

国際文化協会第一回評
議員会后四時 断

日仏会館総会午前
十一時 断

【本文】

午前十一時出社々長ニ面会昨日高橋蔵相ト会见ノ顛末
ヲ話シ其意見ニ従フ事ニ決定書面ヲ以テ其趣ヲ加藤
鮮銀総裁ニ返事シ同時ニ其趣意ヲ三井ノ有賀氏ニ
電話シ置、
副社長室ニテ社長室会議ヲ開キ列席ス
土居貞弥氏来訪
四時退出新築落成ノ明治生命保険会社ヲ巡覧近來
稀ニ見ル壯麗ナル建造物ナリ八階ニテ茶菓ノ饗ヲ
享ケ記念品（銅製花瓶）ヲ貰受歸途小石川金富町
岩崎康弥氏邸ニ女婿ノ不幸ノ悔ヲ述ベ康弥君夫婦ノ歎
キニ仝情ス更ニ隣家志村氏邸ニ立寄り玄關ニテ未亡
人ニ面会九日ノ夕失火ノ見舞ヲ述ベ六時歸宅
午時近ク福井栄三郎夫人来訪壽美面会未女縁談
ノ件ト聞ク夜典夫來ル後見解除届ノ為メ仝人ノ戸籍抄
本ヲ依頼ス

【欄外】

〔欄外 左側〕

日本經濟聯盟賦金六拾圓及東京クラブ會費（三月迄二ヶ月分） 貳拾五圓ヲ納入ス、

【日記の日付…昭和9年4月15日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

午後〇時半吉祥寺ニ赴キ園内ノ模様ヲ視ル染井吉野
枝垂櫻共満開ナリ宮島随伴四時歸宅
晚餐旅装ヲ調ヘ七時半ノ各等急行ニテ下神
久埜昇氏随行ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月16日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨晴

【本文】

午前七時五十四分三宮着西店ニ入ル雨降り来ルモ午
后ニ至リテ霽レタリ久埜氏ハ東店ニ宿泊明日正午
迄解放造船処ヲ視察セシム
后式時長田ニ赴ク正彦本日ヨリ出勤千代子ハ磯野
長造氏ノ長子歸朝出迎ノ為面会早々波止場ニ赴
ク此間余ハ曾根忠兵衛氏ノ病床ヲ見舞フ細君
應接面会セシメス聊不滿ナリ
長田別業内山櫻山躑躅雪柳最盛リテニ楓ノ新
芽ハ木瓜ノ花ト相映シ頗ル美麗ナリ往来数十年
長田ニ於テ如斯風光ヲ賞スルコトハ稀ナリ六時半正彦
千代子歸宅面会歸宿

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月17日（火）】

【予記 等】

「天気」

晴

「予記」

室田義文翁米壽祝
賀会

東京会館午后五時
会費拾円

（2／4）（発起人承諾三月廿四日）
旅行ノ為出席無覺束二出

席者トシテ御取扱度旨返事

万葉聴講会

若松築港重役会
十一時総会十一時

出席↓

【本文】

朝安西ノ弟壽美ノ手紙ヲ持参ス全十時千代子宅之
助ヲ伴ヒ宿許来訪

午后貳時三宮支店ニ赴キ鈴木銀行相川商事田中倉庫
山下（宇治川）銀行副長、松井造船宮崎電機ノ各場処長

ヲ引見ス熊谷船場（新）次長ト歸途廿三日芳野ノ花
見ヲ約束ス支店ヲ出テ久埜秘書ト共ニケーブルカー

ニテ摩耶登山海陸ノ風景ヲ感賞シテ下山、歸
途元町播新ニ立寄り昨秋見付置キタル庄司直胤

ノ鉋造リノ短刀ヲ七拾五圓ニテ購フ

夜十時五十五分神戸驛発ノ特急ニテ西下、松井、宮崎

鈴木熊谷楠瀬、正彦赤坂等来リ見送ル

【欄外】

「欄外 右側」

明治神宮奉賛会理事会午前十時絵畫館ニテ
断

【日記の日付…昭和9年4月18日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日本鉱業会懇親会

断

東洋協会講演会

后五時 断

松本築港会長案内

后五時 大吉楼 請

若松築港重役会

（十一時）総会（一時）

出席返事

国際文化振興会

第一回発会式 断

【本文】

午前八時五十五分下ノ關着原矢野新旧彦島処長正木
倉庫奥谷商事次長、高橋鉱業出張処主任等ノ出迎ヒ
ヲ受ケ若松支店副長古村誠一氏ト共ニ久埜秘書全乗自
動車ニテ若松ニ赴キ築港会社ノ重役会ニ出席午餐ヲ共
ニシ總會ニ先チ辞表ヲ呈出シ永年ノ厚意ヲ謝シテ退出支店
ニ歸リ全処ニテ新入ノ横尾帶力氏ニ会合相携ヘテ自動車
ニテ歸門直ニ海ヲ渡リテ大吉楼ニ入ル休息ノ暇ナリ自動車
ヲ驅リテ一人長府ニ赴キ貝島太市夫人ヲ訪ヒ太市氏ノ病状
ヲ尋ネ川端ニ赴キ鮎川母堂ヲ訪ネテ近況ヲ詳ニシ増築ノ
ケ処ニ案内セラレ老人ノ機嫌能ヲ喜ヒ五時半歸關入浴改装
宿許ニ於ケル松本築港社長ノ送別招宴ニ列ス全氏ヨリ築港
会社任中ノ挨拶アリ全席ハ佐藤、麻生愛之助（新）両取締役
大倉監查役徳田支配人及横尾帶力ノ諸氏ナリ

余ハ全時ニ關門、筑前ノ各場処長ヲ招キ置タルヲ以テ九時近ク
松本氏ノ席ヲ中坐シ社員ノ席ニ加ハル横尾氏ハ明日余ト行動ヲ
共ニスル為大吉ニ宿泊ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月19日（木）】

【予記 等】

「天気」

晴

「予記」

沿道

緑こき松の狭間は見る

かぎり菜種の花に粧

はれけり

片倉ビル八階処見

黄金しく菜種の野辺

はうらゝかさ山の葉遠く

春霞こむ

ひばりなく野地の霞

カマド

を踏分けて陶窯た

つねて須恵の皿山

【本文】

午前九時五十五分下ノ關（門司）発ノ急行ニテ横尾久埜両氏ト共ニ
博多ニ赴キ十一時五分着片倉ビル八階ニテ洋食ノ午餐ヲ了ヘ零
時廿分全処ヲ出テ自動車ニテ須恵ノ陶窯ノ跡ヲ訪ヒ途次

宇美八幡ニ参詣應仁天皇御誕生ノ遺蹟及初湯ノ井并ニ

天然保護物樟ノ大木ニ幹ヲ見ルーハ衣掛ノ森一ハ湯ぶ

たノ森ト称シ双方共周圍拾五、六人廻リ以上千年ノ老木ナリト云
フ

須恵焼ハ明治三十年頃迄ハ継続シタルモノ、如ク尚廢窯ノ跡ヲ

存ス陶器ニ付田原村長ノ宅ヲ訪ネタルモ吉嗣拝山下絵ノ金色

底物ノ水指ノ外見ル可キモノナシ田原氏ノ本家黒田家ノ御殿医タ

リシ田原國手ノ継嗣ノ宅ニハ蔵ニーパイアイトノ事ニテ其邸ヲ

訪ネタルモ主人香椎ニ移住留守番鍵ヲ預リ居ラス為メニ見ル

コトヲ不得還テ博多ノ西公園ヲ視（自動車賃拾貳円）博多驛

ヨリ汽車ニテ歸關横尾矢野ノ両氏ト晚餐ヲ共ニシ八時廿分発

ノ特急ニテ東上見送り例ノ如シ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月20日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

馬越恭平翁一周忌
追悼会日本麦酒本店
午后貳時―三時
日仏会館モランジュール博士
案内 断

警察後援会理事会
評議員会晚餐会
午后四時― 断

【本文】

朝六時五十五分神戸驛着松井宮崎鈴木相川熊谷
正彦夫婦等ノ出迎ヘヲ受ケ西店ニ入ル
午后貳時半久埜秘書全道和田岬ニ赴キ造船電気両
処長ノ説明ヲ聴取工場ヲ巡視シ五時半長田ニ赴キ正
彦夫婦ニ面会久埜氏ト共ニ園内ヲ一周正彦ヲ全乗
セシメテ歸宿
六時ヨリ西店ニ来会シタル造船処長松井小三郎、宮崎＊電機＊、間
瀬岩崎、 、中村登原正彦久埜等ト晩
餐ヲ共ニス諸氏九時半辞去

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月21日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨午后晴

【本文】

夜来豪雨正午ニ至リテ止ム

夕刻ヨリ銀行神戸支店ノ春藤和、山下毅一ノ長副長、三
宮支店ノ鈴木益三久保末磨ノ長副、相川商事田中倉
庫、西脇保険、牧山商事副長、中尾船舶支部長熊谷船場
銀行副長ヲ招キ西店ニテ晚餐ヲ饗ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月22日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

【本文】

本日復久埜秘書ヲ解放午后ヨリ長田ニ赴キ宅坊ト遊ブ
夕正彦、千代子ヲ伴ヒ元町時雨庵ニ赴キ名物鯛茶ヲ賞
味シ十時頃兩人ニ送ラレテ歸宿

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月23日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇雨

〔予記〕

吉野に櫻を観て
この後

此由よりは花を語
るもまゝならめ

芳野よく見し
此日の吾身は

心なき花も御門
を偲ひてや御陵
の櫻地に散る

なり

【本文】

起床スレハ昨夜ノ豫想ニ反シテ晴天ナリ九時熊谷一弥氏迎ヒニ来ル久埜昇氏ト三人中屋ノ自動車ニテ阪神国道ヲ迅馳大阪ニ入り八聯隊ニ沿ヒ南折上町大軌ノ停車

上野

場ニ至ル商事ノ主嶋、銀行ノ木村讓其他全処ニアリ社長金森又一郎氏病後ノ身ヲ以テ来リテ挨拶アリ常務三好萬次（總務部長）秘書米田傳司氏案内役タリ八木ニ到テ吉野綜主住阪本猷氏来リ迎ヘラル 驛ニテ下車自動車ニテ吉野神宮ニ参拝金輪王寺ノ行在所遺蹟、覽王堂（堂域ニ村上義光戦死ノ跡アリ）村上義光ノ墓処ヲ歴テ竹林院下ノ阪本氏別邸ニ入ル父君仙次氏（吉野銀行頭取）ニ出迎ヘラレ吉野銀行常務増井正夫、参宮急行電鐵専務井内彦四郎氏等ト午餐ヲ共ニシ三時

猷

頃余ハ山籠ニテ仙次氏以外ノ諸氏ニ守ラレ上、中ノ千本櫻花ヲ
早

賞シ後醍醐天皇ノ御陵ニ参詣如意輪堂ヨリ速水神社

ニ詣テ両所ノ宝物ヲ拝觀歸途

神社ニ静ノ古跡ヲ偲ヒ歸莊

【欄外】

「欄外 右側」

雨少シク降ル急キテ歸ル

晚餐頗丁重富田屋ノ女將御酌二人ヲ全伴シ来リ周旋ス食後竹林院ノ庭園ニ夜櫻ヲ賞ス

【日記の日付…昭和9年4月24日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

雨 晴

〔予記〕

老将会幹事藤山
雷太氏 断

【本文】

雨煙ル今朝歸路壺坂町寺觀世音ニ參詣ノ筈ナリシ
モ雨天ノ為メ見合セタリ坂本別荘ニ滞在中特ニ感シタル
事ハ同別荘ヨリ金剛山頂ノ火ノ見ユル事ナリ大塔宮
カ吉野ニ旗ヲ揚ケラレタルトキ金剛山ニ楯籠リタル楠氏
ノ一族如何ニ心強ク思ヒタルカ思出スダニ畏コシ
雨中仙次君ニ暇ヲ告ケ子息猷、米田傳司、井内彦四
郎氏ト共ニ吉野驛ニ下ル途次山籠ニテ下ノ千本ヲ
通過ス熊谷久埜ノ両氏ハロープウェイニテ下レリ
電車ノ途中下市ニテ三好万次氏ニ別レ猷、傳司両氏ヲ
誘ヒ上町停車場着後上野木村ノ両氏ト共ニ高麗橋
筋助伊勢屋ニ於テ大阪在勤商事銀行、製鍊処信托
保険菱三ノ幹部ト午餐ヲ共ニシ三時諸氏ニ別レ
熊谷久埜ノ両氏全乗四時神戸歸着西店ニ入ル
晚餐后八時五十分（？）神戸驛発正彦、康雄、造船支
店、銀行ノ諸子ニ送ラレ東上大阪驛ニテ副社長代理ノ見
送リヲ受ケタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月25日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

歸京

【本文】

山北驛通過ノ頃起床始メテ齋藤内務政務次官（隆夫）
夫婦ノ隣室ニ全乗セルヲ知ル九時東京驛着赤坂幸作
長則ノ兄弟書生宮島ノ出迎ヲ受ケ久埜氏ニ別レテ歸
宅

服装ヲ改メ十二時出社々々長ニ面会ス午餐後鉱業会社本
期決算ニ關シ三谷鉱業会長ヲ引見ス

留守中元商事上海支店長大井才次郎及全副長稻垣

ノ両氏上海事件中ノ動作ニ対シ留學生寮

ノ

名ヲ以テ詰問ノ書面ヲ送ラル船田氏ニ其書面ヲ渡シテ本
人ノ身元ヲ糺サシム

若松築港会社会長松村健次郎氏来社余ガ同社取

締役トシテノ功績ニ対シ感謝状ニ添ヘ金壺万五千圓ヲ

贈呈セラル依テ之レヲ秘書役場ニ納ム

后四時退出小石川岩崎勝太郎氏邸ニ立寄り武子母堂

逝去ノ悔ヲ述ベ入江女婿及柳澤伯ニ面会歸宅

【欄外】

〔欄外 右側〕

赤坂幸作夜分歸神

【日記の日付…昭和9年4月26日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

岩崎武子未亡人葬儀
駒込吉祥寺午后弔時
ヨリ参時

東京慈恵会理事会
午后三時 断

故伊集院男十回忌
追悼会
工業倶楽部午后
五時

【本文】

午前十時半出社々長室ニ於テ三菱造船（重工業）公開
ノ件ニ付協議シ決定ハ土曜日迄保留ス出席社長ノ外串田
斯波永原及余ノ五名ナリ
午后弔時駒込吉祥寺ニ赴キ故岩崎豊弥氏夫人武子
刀自ノ告別式ニ臨ミテ歸宅
井上おか女神戸ヨリ今午前歸来
夜分調髪典夫明日帰郷ニ付暇乞ニ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月27日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

花曇

〔予記〕

大日本製糖社長藤山
氏就職廿五周年記念
東京会館后五時半
断

式時巢鴨ニ母ヲ省シ
宮崎善雄ニ面会三時
五十分池ノ端会合ニ
臨ミ九時過歸宅
壽美六時頃歸宅
ト聞ク山櫻満開ト
云フ

【本文】

今朝七時過壽美とし女ヲ供ニシ箱根ノ別荘ニ
赴ク留守番交代後ノ模様視察ノ為メナリ
午后一時上野博物館ニ赴キ名作屏風畫特別展覧
会ヲ觀ル

第一室花鳥圖屏風一双墨絵 大橋新太郎氏藏
傳雪舟筆

濱松圖屏風一双彩色 毛利元昭公藏
傳土佐光茂

第二室、日月櫻楓圖屏風 一双 前田利為侯藏
花鳥圖屏風 一双 徳川義親侯藏
傳狩野山楽筆 桃山風前者尤見事ナリ

第三室源氏物語關屋濤標圖屏風一双岩崎小弥太男藏
俵屋宗達筆山中ヨリ式拾方圓ニテ望マレタル逸品
大倉喜七郎男

群雀圖屏風一双尾形光琳筆井上三郎侯藏
第四室、傳光琳筆花卉圖ハ井上三郎侯藏彩色尤モ美麗

池大雅筆樓圖山水八團伊能男藏
逸品ナリ

【欄外】

「欄外 右上」

4
0
5
0
0

【日記の日付…昭和9年4月28日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

電気協会關東支部長
益田元亮案内功績者
表彰式午後一時電気
クラブ部 断

【本文】

午前十一時出社々長室會議ニ臨ム 三菱重工業株ハプレミアム廿円
付賣出ト決定

后一時山内豐政男來訪來客待受ノ為面会ヲ断ル上司大藏
參與官來訪会見スアマゾニア産業研究所理事長

トシテ來五月一日 東久邇宮稔彦殿下全所ニ御台臨
ニ付是非陪觀アリタシト勸誘ノ為ナリ差支ノ有無取調
ノ上三十日返事ノコトトス

全二時松村龜太郎氏來訪光村工場へ正彦貸金一
萬千六百円増加訂正ノ件ニ係ル

全三時銀座大勝堂ニ赴キ上市阪本猷氏答礼品トシテ仏
国製置時計壹個（金貳百四拾円）ヲ購ヒ發送ヲ依頼
ス

歸途共樂ニ立寄り七時歸宅小林茂峯ヨリ歸リ報
告アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月29日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇午后雨

〔予記〕

恩賜財團愛育会
総裁宮殿下奉戴式
并ニ発会式
東京会館后三時

出席

【本文】

朝八時大平城郎大阪上京電話一口本年架設豫定
ノ分ハ架設後名義摠、他一口ハ出願権譲渡ノ手續ヲ
採ルコトトシ書類ハ一切大平ニテ電話屋ト打合セ調成スル
筈其間当方ハ典夫ノ印鑑証明ヲ得置クコトトス
十時廿分社長来訪西脇氏（小石川）訪問ノ途次ナリト
云フ話ハ三菱重工業公開ノ場合フレミアムナシトスレハ本
社ノ金融ハ如何ナルカ取調ヘ依頼ノ件ナリ十一時辞去
午后式時五十分東京会館ニ於ケル恩賜財團愛育
会総裁宮奉戴式ニ臨ム式ニ先チ会長清浦奎吾伯
侍立ノ許ニ総裁久邇大妃殿下ニ拝謁アリ次テ奉
戴式并ニ發会式舉行殿下ノ令旨ニ対シ会長ノ奉答
齋藤総理兼文相湯浅宮相山本内相永井拓相ノ
順ヲ以テ祝辞アリ了テ茶菓ヲ賜リ散会余ハ本会
ノ監事ノ一員ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年4月30日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

大山五郎次男芳彦ト
六角三郎六女武子ト
結婚披露
東京会館午后六時
断

聯經總會午餐会
工業俱樂部 断

国宝重要美術品
絵画展覧会総裁
梨本宮殿下賜
餐上野精養軒
正午 拝辞

【本文】

午前十一時出社、明日ノ社長室会議ノ件ニ付社長并ニ
副社長ト打合ス処アリ
午后一時半君塚勝彦来訪孝子傳出版ノ件ニ關ス
全時塚越 次郎小池厚之助氏全伴来訪南樺
太東岸炭坑取調ニ付技師依頼ノ件ニ關ス本件ハ先
キニ炭坑常務池田氏ニ銓衡依頼致シアリ取調タ
ル処三人位候補者アリトノコトニ付全氏ヲシテ小池氏ニ打
合セシム

堂

林桂中将西岡大元氏引率満州奉天ニ日満忠魂塔
建設ニ付依頼アリ三万円應諾致シ置キタリ依テ今回
寄附帳ニ記名關東軍經理部ニ直接送金ノコトトス
永原理事并ニ副社長ト倉庫公開ノ件并ニ満州派
遣員ノ件ニ付協議スル処アリ六時頃退出歸宅

夜分三谷一二氏来訪次男婚禮披露出席断リノ件ニ
關ス事情説明了解シテ歸ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月1日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

神奈川縣警友病院
落成式 午前十時

断

財團法人アマゾンア産
業研究所上塚司理
事長案内 午前十時
東久邇宮稔彦王殿下
台臨

【本文】

朝八時大平城郎来訪一昨日ノ約束ノ通書類調製
シ来ラザルヲ以テ之レヲ責ム全人訂正ヲ約シテ歸ル其際
井上一郎玄關ニ現ハル金式拾圓ヲ惠ミ再ヒ哀願ニ来
ラザルコトヲ約シテ歸ル
十一時出社々長室会議ニテ船田理事ヲ満州国視察ノ
為メ派遣スルコトトス
会議后社長ニ面会倉庫公開ニ対スル銀行ノ提案ニ対シ意
見ヲ述べ同時ニ商事鉦業両会社常務増員ニ付協
議スル処アリ
復興博物館翼賛会本期決算書類ノ検閲ヲ大越
監察員ニ依頼ス
工業クラブノ中村元督氏来十四日四団体聯合濠州外
相レーサム氏歡迎覽劇会開催ノ件ニ付来訪
四時退出吉野阪本仙次及猷氏外三名ニ挨拶状ヲ
出ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月2日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴 雨

〔予記〕

神奈川縣警友病院
落成式全会長横山助成
案内午前十時横濱市
山下町全病院 断

【本文】

朝八時帝國通信社長光長星郎氏来訪米國新聞
記者（約二十名過般来朝ノハースト系ハワード氏幹旋ノ許ニ）日本
ニ招待交歡費約四万円ノ内壱万五千元（三井全額満鐵壺
万円ト云フ）援助依頼アリ詮議ス可シト答ヘ其旨ヲ副
社長及船田理事ニ傳ヘ置ク
午前十一時半出社
午后壱時鉦業会社重役会ニ列ス半途社長ノ召ニ
ヨリ社長室ニ至リ倉庫株引受ノ件ニ付意見ノ交換
アリ結句暫ク自分ニ委サル、事トナル
倉光＊成＊文太氏来訪、中沖壽氏外一人日滿中央会館
ノ件ニテ来訪鉦業会社重役会議中ニ付千田氏ヲシテ其
話ヲ聞カシム、四時退出歸宅
赤見高島屋美術部長后五時半兼テ依頼シタル
關雪エノ扇面構図ヲ持参ス百五拾対ヲ注文ス一対
箱入ニテ金四圓五拾錢ノ割ナリ始メテ雷鳴アリ

【欄外】

〔欄外 右側〕

愛育会主事齊藤守国昨日会社ニ挨拶ニ来ル依テ帳簿ヲ會計士ニ検査セシム可キコトヲ
提言ス

【日記の日付…昭和9年5月3日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

愛国恤兵会長奈良

大将案内

偕行社新館午後

五時半

請

恩賜財團愛育会

午后式時半ヨリ文部

省第二会議室（四階）

理事会

口頭断り置、

大日本＊聯合＊青年團十周

年其他ノ奉祝記念

大会 三日―五日

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム

午后耄時若林半氏来訪約耄時間ニ亘リテ日蘭会

商ノ件ニ付意見ヲ交換ス内田良平氏ノ傳言トシテ余

ハ実業家ヨリハ寧ロ政治家タラシム可カリシモ残念ナリ

容易ニ退職ス可カラズト傳ヘナレタシトノコト余ハ内田氏

トハ今日迄没交渉ナリ意外ノ言ヲ聞クモノト笑テ答ヘ

置ク

倉庫常務三橋氏ヲ招キ倉庫公開ニ付余ノ意見ヲ

傳フ氏全然承服異存ナシ

四時退出歸宅改装ノ上五時半偕行社ニ赴ク愛国恤兵

会ノ趣意及其経過ニ付会長男爵奈良武次、及理事

長、常務理事ヨリ報告アリ了テ食卓ニ就ク奈良

会長ノ挨拶ニ対シテ余答辞ヲ述ブ実業家ノ招カレタ

ルモノ多クハ代理者ヲ出席セシム八時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月4日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

工業倶楽部共楽
会午後五時 断

国宝絵画美術品展
招待日

東京市長案内正午
東京会館 断

【本文】

午前九時半網屋主人手代野田喜代重ト共ニ拵付盛
光大小（葵紋付）壺千五百円、国俊（在銘ナレトモ丹波辺ノ国俊カ
ト云フ短刀白鞘貳百円、江州蒲生住助長在銘拵付（七百
円）来国俊合口無銘光常折紙網屋拵家康短刀作（代
七百圓ノ四口ヲ持参ス後二口ヲ預リ置ク

午前十一時出社

午后貳時郵船会社季末決算重役会ニ臨ム三■ノ配
当ヲ承認シ総会ノ日取リヲ廿五トス

全三時半退出上野美術館ニ於ケル国宝及重要美
術絵画展覧会ニ臨ム国宝トシテハ佛畫尤モ多シ
出陳品ハ何レモ逸品未タ曾テ觀サルノ盛觀ナリ應舉
六曲一双雲龍ノ屏風ハ筆勢健剛全氏ノ筆トシテハ
寧ロ可驚モノナリ彭城百川ノ竹林ノ山水モ亦目ニ残
レリ歸途池ノ端浅野屋ニテ晚餐ヲナシ九時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月5日（土）】

【予記 等】

「天気」

晴

「予記」

天覧武道大会

宮城濟寧館

午后壺時迄参入

坂下門又ハ乾門

三谷一二次男憲二ト竹下

勇四女澄子ト結婚

披露 帝国ホテル午後

五時半

夫婦共断

藤山雷太氏園遊

会后一時ヨリ自邸

断

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス串田氏大阪銀行大会ヨリ歸リ出席ス倉庫ノコト明後日打合せスル事ニ話置ク

后十二時半船田理事ト共ニ天覧武道大会參觀ニ

赴ク濟寧館（有栖川熾仁親王御筆ノ額掲ケラル）内殆ン

立錫ノ余地ナク文武ノ大官居流レリ一時十五分 聖上御出

御ヲ待テ準決勝以上ノ仕合トナル

劔道優勝 府縣 野間 恒、 指定（教士） 山本

柔道優勝 府縣 平田良吉 指定（教士） 大谷晃（樺太）

就中野間藤本ノ決勝戦ハ藤本両刀使ニテ短劔ヲ右ニ持ツ最

初胴ヲ得野間次テ全シク胴ニ入ル決戦ニテ野間面ヲ撃テ勝

ヲ得タルハ手ニ汗ヲ握ラセタリ藤本年二十一、三段野間年二

十五、五段尚将来ニ富ム柔道ニテハ大谷ノ背負投見事ニテ

強敵神田ニ対シテモ均シク此手ニテ勝ツ」劔道ノ稽古二十歳斗ノ少

年柔道ニ六歳位ニ見エル（小學三年生）小年ノ加ハリ居タル愛嬌ナリ

四時半終ル柔道見物ノ際ハ小山田繁蔵中将ノ隣ニ席ヲトス

【欄外】

〔欄外左側 傍線部赤点〕

壽美本日東大医院坂口内科ニ入院ス稲田博士ヨリ病室ノ明キタル通知ヲ得遽ニ入院
セリ五時半中町ニテ福神漬及佃煮ヲ購ヒ壽美ノ病室ヲ見舞ヒ七時歸宅

【日記の日付…昭和9年5月6日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午後〇時半書生蜂屋ヲツレ自動車ニテ吉祥寺ニ赴キ
園内ニ咲誇リタル山吹及霧島躑躅ヲ賞ス コーフゲン
ノ櫻尚見頃ナリ筈約二十式本ヲ掘リ内数本ヲ小林
及草取婆ノ宅ニ止メ尚小堀ノ宅ニ数本ヲ遣ハシ大ナル分
已ヲ家苞トス六時歸宅
留守中宮崎善雄就職ノ挨拶ニ三谷憲二澄子并
ニ長谷川 ノ両新夫婦訪問アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月7日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

晩高輪邸ニテ副社長
引合せ会 五時半

【本文】

午前十一時出社
午餐後串田氏ニ対シ倉庫公開ニ付余ノ意見ヲ傳フ
午后社長ヨリ商事会社重役増員ノ件ニ付余ニ裁量
ヲ托セラル

午后五時半高輪邸ニ於ケル彦弥太君副社長就職
披露ノ宴ニ臨ム園内ノ草花、躑躅新緑ト妍ヲ競
フ素人手品ノ余興アリ食卓ニ就クヤ否ヤ両社長ヨリ挨
拶アリ余各重役ヲ代表シテ簡單ニ答辞ヲ述フ食後

斯波氏ト囲碁対局二面皆勝ツ十時歸宅

飛行機便ニテ大阪熊谷一弥氏ヨリ吉野ノ阪本仙次氏
京都病院（脳溢血ト聞ク）ニテ死去ノ報ニ接ス二週間前吉
野ニテ初対面三度食膳ヲ共ニシ両三日前余ノ挨拶ニ対シ
テノ返書欣喜ノ情ニ満今兎報ヲ聞ク眞ニ無常迅速、
追善（

かきりある命なりせはやむなし今年の花も見尽して逝く
青葉こき芳野の山のほときす聲のみ月にのこりけるかな

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月8日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

林安繁嗣子壽卜

川井源八二女幸子卜

結婚披露東京会

館午后五時半

夫婦共 断

八日会后五時

幹事大橋串田

来賓後藤農相

出席

【本文】

ユウ

午前十一時出社吉野上市町阪本猷氏ニ向ケ左ノ吊電

ヲ発ス（此朝九時典夫歸京昌子来ル全人印鑑証明書式通取受ヲ依頼ス

旬日前温客ニ接シタル御父親ノ御不幸傳承驚愕

哀悼ノ至リニ不堪謹テ御悔之申上ク

尚供物葬儀当日代参ノ件大阪銀行支店長木村讓

氏ニ依頼ス

社長室会議ニ列ス終テ串田氏ヨリ倉庫公開ノ件

ニ付銀行常務ノ意向話アリ

日蘭会議ニ随伴スル竹井十郎氏旅費援助金貳千圓

ナリ船田氏ヲ介シテ若林半氏ニ渡ス

午后一時四十分西田稔来訪「全式時日本産業ニ鮎

川義介ヲ訪ヒ壽美入院証保証人ニ連署セシメ青

山斎場ニ赴キ山口宗義翁ノ告別式ニ臨ミ更ニ東大病院

ニ壽美ヲ見舞フ典夫夫婦近藤眞一夫婦小林利助氏

ニ会合五時廿分病院ヲ出テ駿河台稲田龍吉博士邸ニ挨拶

ノ名刺ヲ投シ木挽町山口ニ赴キ八日会

ニ列ス

【欄外】

「欄外 右側」

團氏工業學院新総長顧問歓迎晩餐会交詢社后六時 断

【日記の日付…昭和9年5月9日（水）】

【予記 等】

「天気」

晴

「予記」

蘭印問題懇談会

日本経済聯盟主催

工業倶楽部后四時

代表長岡春一大使出席

請

【本文】

午前十一時五十分出社昨日ヨリ團男爵邸ノ三年前迄女中

タリシ夫人目見ニ来リ居リ出勤ノ廊下ニテ挨拶スルヲ見

タリ（午后奉公ヲ約シテ歸宅スト云フ果シテ実現ス可キカ）

午餐後加藤武男氏ヲ招致シテ倉庫公開ノ順序方法

ニ付余ノ意見ヲ示シテ篤ト勘考セシム

工業倶楽部膳理事濠州外相来朝ニ付余ガステーメント

ノ草案ヲ持参ス

后式時半三宅川商会长長ヲ招キ同社常務推撰ニ付確

固タル氏ノ信念ニ付糺ス処アリ了テ其旨ヲ社長ニ報告ス

同四時過工業倶楽部ニ赴キ蘭印問題懇談会ヲ傍聴

ス多数関係会社ノ重役ノ会合アリ長岡大使、通商局長

出席門野重九郎氏坐長タリ台湾製糖ノ丸田治太郎氏（？）

ジャワ

ヨリ台糖製産過剰ノ際蘭印糖受入困難ノ事情陳述其他

スマトラゴム、大阪商船、井坂孝、加藤恭平氏各自ノ立場ニ付話

アリ六時終了歸宅

【欄外】

「欄外 右側」

全処ニフール新設壱万五千円ノ株式若干引受依頼アリ新株式参加ハ絶対為サ、ル方針

ニ付

断ル旨申置ク

朝九時峯玉峯館ノ稻葉菊水旅館ノ主人全伴来訪

【日記の日付…昭和9年5月10日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

藤山雷太次男勝彦ト
池尾芳蔵二女茂子
ト結婚披露一人案内
東京会館午后五時半
断

統制委員会商相官邸
午后貳時 請

日本文化協会講演
午后四時 断

別格官幣山内神社
案内 断

【本文】

昨夜ヨリ強風蒸熱シ十一時出社々長室會議ニ列ス了
テ船田氏ヲ招キ商事会社常務増加ノ件ニ付余ノ意向
ヲ話シ其了解ヲ得タリ
午后貳時商相官邸ニ於ケル統制委員会ニ臨ミ松本
商相議長トシテビール及石炭統制ノ件ヲ可決ス
全三時半帝大病院ニ壽美ヲ見舞フ本日三度目
ノ注射月、水両度ノ注射ハ著シク病菌ヲ弱ラセタリト
云フ六時帰宅
夜分村上来リテ巡邏ス

【欄外】

〔欄外 右側〕

大日本国防議會講演

后六時半

断

【日記の日付…昭和9年5月11日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

国際協会総会

生命保険協会ニテ

午后四時半 断

明治火災弁天町家屋

三万円保険期限

王揖唐氏招待会

午后四時

日本経聯主催

断

鳥居坂御刀劔研究

会 后 三時

【本文】

午前十一時半出社

午后兩度ニ亘リ社長ヨリ商事会社重役撰定ノ件ニ付重

ネテ余ニ依頼アリ

工業倶楽部ノ中村元督氏有賀長文氏欧行送別ノ

件ニ付来訪来ル十六日午餐ノ都合ヲ有賀氏ニ聞合

ス可シト指圖ス

午后三時鳥居坂ニ於ケル刀劔研究会ニ臨ム小山田中将

ヨリ備前物ノ内吉井、畠田、大宮物ニ付講話アル了テ

恒次ノ刀ニ付中心切り次キノ実証ヲ指摘セラル備前三郎

国宗ノ一派乃チ父国眞及畠田守家（蛙子丁子刃文）雲類

ノ雲次、大宮物ノ師景ノ刀実物ニ就キ教示セラル

終テ網屋ヨリ預リノ江州蒲生住則長ノ刀及来国俊ノ

短刀ニ付テ鑑定ヲ乞フ則長ハ珍品出来モヨク應永頃

ノモノト見エルモ来国俊ノ分ハ注意物ナリト云フ歸途光

悦ノ寄合ニ臨ミ九時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月12日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム

午后社長ヨリ三谷鉱業会長ト本日午后各務氏ト全氏宅

ニ於テ会合アルミニウム製造株式会社設立ノ件ニ付氏ノ注意ヲウナガシ入レラレザルハ脱退ス可シト申置タル旨話アリ

読書会加入勧誘ノ件矢野恒太氏紹介岡村誠彦氏来訪

勘考ス可キ旨返事ス

三宅川商事会長商事平取締役増加ノ件ニ付引見

松田製鐵常務ヨリ同社決算ニ付説明ヲ聴取ス

歸途壽美ヲ病院ニ見舞ヒ六時半歸宅

夜分大平城郎氏宛返書ヲ認メ電話ニ口譲渡ニ

關スル書類ニ典夫ノ印ヲ捺シ戸籍抄本式通ト共ニ

都合十四通ヲ返送ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月13日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

吉祥寺別邸ニ赴カント思ヒシモ小止ミナキ雨ノ為メ見合せ午
后一時東美倶楽部ニ於ケル 庵ノ賣立ニ赴キ
觀ル浮世絵逸品揃トノ前觸ナリシモ出品少ク只又平
ノ半双屏風二三點、歌麿青樓ノ大幅、鳥文齊榮之
ノ遊女屏風半隻豊春遊女ノ双幅豊国深川はをりの
幅ナト珍ラシキモノナリ歸途三越ニ立寄り今泉今
右衛門ノ陶器個展ヲ觀隣リノ京都陶展ヲノゾキ五
点ノ買物ヲナス（鮎皿五客シタシ皿付四拾円角形向皿蓮ニシ
ヨービノ画十客四拾円和田準四郎氏旧蔵品ト云フ今右衛門ノ蕪画
菓子皿十客拾円、黒釉向付五客、拾円、菓子鉢一個五円半
以上三点京物）

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月14日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雨

〔予記〕

濠州＊聯邦副総理兼＊外相レーサム氏一行
四団体歓迎歡劇会

三時半、

右全、総理大臣官邸午餐

一人請 案内断

右全歡迎茶話会

日濠協会阪谷会長

案内工業倶楽部

后四時 請

【本文】

今朝起床ニ当リ復例ノ動悸ヲ感シ始メタリ勉メ
テ本日ノ招待ニ出席セント思フ程尚深ク胸痛ヲ感
ス依テ其意志ヲ放抛シ久埜秘書ヲ招キ総理
官邸ノ午餐日濠会長ノ茶会ヲ断リ尚今夕歌
舞伎座歡劇ノ主人トシテモ参席難致旨全氏ヲ
シテ工業倶楽部ノ膳理事中村主事ノ内ニ通ゼシメ
タリ

明日ノ長岡大使送別ノ午餐、有吉公使招待茶会
并ニ濠州副総理案内ノ帝国ホテルノ晚餐会モ全
様断リノ手續ヲ依頼ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月15日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

万葉聴講会 五時

飯村大佐講演

シベリヤノ近状

海軍協会評議員会

后一時半軍人会館

断

経聯主催、

長岡大使送別午餐

（ 請？

有吉駐支公使招待

后四時 請

濠州副総理レーサム

氏案内帝国ホテル

后八時（？）一人請

【本文】

引籠リ加養

午前十時頃神楽坂警察高等係桂田彦太郎氏来

訪本日五、一五事件ノ三回忌ニ当リ右傾ノ蠢動有之ニ

付注意アリタシト申出アリ

午后貳時小林茂ヲ招キ峯送り植木ノ件ヲ糺シ峯職

人十五日迄ノ支払用トシテ金貳百圓ヲ渡シ送致ノ手續

ヲ採ラシム

后三谷一二夫人、川井夫人令婿林壽夫婦帶同引続

キテ挨拶ニ来ル」三越ニ赴キ今利今右衛門作刺身皿外四点ヲ買約ス

阪本猷氏ニ慰問状ヲ送り父君仙次氏ヲ吊ス

青葉こき芳野の山のほとゝきす

聲のみ月にのこしけるかな

外二

のどけかるらむ

逝く人はまびしらまじ春たけて
ちり行く花を道つれにする
(して

【欄外】

「欄外 右側」

犬養毅氏三回忌案内寛永寺一時半

「欄外 左側」

方葉聴講会

【日記の日付…昭和9年5月16日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

有賀長文氏送別午

餐会 出席

工業倶楽部

全専務理事会一時半、

北海道クラブ午餐会

東洋ビルツクバ

断

列記ノ三件ハ之レヲ三好
氏ニ移シ手續セシム

三宅川商事会長引見

松村亀太郎氏引見

【本文】

午前十一時十五分出社

正午工業倶楽部ニ赴キ有賀長文氏外遊送別ノ午餐

会ニ臨ム工業倶楽部并ニ経済聯盟ノ理事共同ノ催ニ

カ、ルモノ出席三十名ヲ越ユ余坐長トシテ挨拶ス氏ハ明

日出帆ノ浅間丸ニテ渡米ノ上倫敦ニ向フ筈令嬢 夫人及

初孫歸朝迎ノ為メナリ了テ専務理事会アリ常任理事

撰定其他ニ關ス、其席ニテ山本悌二郎氏ヨリ刀劔及

支那畫賣却ノ件ニ付依頼アリ

開会前全処ニテ團伊能男ヨリ日語文化學校財団組織

ノ件ニ付依頼アリ森村男志立鐵二郎ノ両氏ヨリ三好氏ニ話

アル筈（十万円ノ内基金五万円余ハ土地代建物移轉費名譽

校長阪谷男校長高柳氏）

后三時工政会斯波忠三郎男理事松永工及吉田瀨ノ両氏

ト共ニ来訪東洋諸邦ノ工業者トノ連絡ヲ計ル母体ヲ作ル

為貳拾万円ノ基金ト拾万円ノ流通資金募集会社ニ貳
万五千円ノ寄附依頼アリ近ク大連ニ会合ヲ催ス筈本件ハ已
ニ三好氏迄申込置タリト云フ

【欄外】

「欄外 右側」

午後三時伊藤公銅像ノ件ニテ春畝公追領会理事小松緑氏本山白雲氏来
訪貳万五千円寄附ノ依頼アリ経費二十万円議院構外ニ建ツル筈

「欄外 左上」

四時退出后壽美ヲ病
院ニ見舞フ

【日記の日付…昭和9年5月17日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

水難救済会評議員
会軍人会館午前
十一時半 断、

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム永原理事ヨリ三菱重
工業会社定款変更ニ付説明アリ之レヲ是認ス
午后式時網屋手代野田ヲ招キ来国俊朱銘ノ短刀ヲ返
却シ拵付助長ノ刀ヲ購フ事トシ結着ノ値段ヲ主人
ト相談セシム

寄

四時退出途次丸ビルニ立歸ル

上野の森

入相の鐘の音こもる青葉影銀杏樹
たかく森にそひゆる

不忍池

ウテナ

は

夕暮れにかすむ高楼に火をさして
池べにゆらぐ影の涼しも

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月18日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

三高全窓会后六時

第一相互館五階ホール

断

關東産聯總會

工業俱樂部午前

十時 断

郵船重役会后式時

実業教育懇談会

工業俱樂部后四時

一六時 断

【本文】

大阪植田健治氏来訪（朝八時四十分）鮎川義介ニ紹介ノ

依頼アリ断リ置ク九時五十分辞去

十一時四十五分出社

午后式時郵船重役会ニ列席先期報告書其他ヲ

是認ス郵船従業者ハ海陸社員及之レニ準スル者約三千人陸上雇夫女給等約三百人海上水火夫約六千人合計九千余人也

后三時歸社三好常務ヲ招キ商事重役更新ノ件ニキ

三宅川商事会長ト交渉ノ顛末ヲ話シ其了解ヲ得タリ

四時退出病院ニ壽美ヲ見舞ヒ七時頃歸宅

此日網屋ノ野田ニ江州蒲生住助長拵付刀代金六百

五拾圓ヲ小切手ニテ支払フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月19日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

帝国森林会評議
員会午前十時半

断

増島六一郎氏夫婦案内

麻布北日ヶ窪邸后式時半

ウワーレン、エバレット氏歓迎

園遊会

断

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列シ了テ商事会社ノ
重役問題ニ付副社長ニ説明スル処アリ永原理事ニ
モ全断

午后貳時半小林茂ヲ伴シ箱根ニ向フ車中中井日
本製鐵社長野田全専務取締役ニ会合無聊ヲ

医スル事ヲ得タリ四時過小田原着全所ヨリ自動
車ニテ四時三十五分強羅別邸ニ入ルトシ女今朝

登山待受ケ居レリ

若葉青々トシテ木陰暗ク老鷹ノ声彼地此地ニ聞

コユ寒サノ強カリシ為メニヤ「モツコク」ノ葉傷ミテ未タ発
芽ニ至ラズ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月20日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

箱根岩崎邸躑躅

見招待

土佐廿日会丸ノ内常盤

五時半 断

【本文】

午前十時半出莊元箱根岩崎別邸ニ赴ク二ノ平驛ニ
待合ス筈ナリシ富士屋ノ自動車遂ニ来ラス徒歩ニテ
本道ニ出テ空車ヲ拾フテ登山十一時四十分別邸着
招カレタル百四五十人ノ社員ハ已ニコルフ場ノ芝生ニテ蕎
麦ノ御馳走ニ在リ付居レリ主人御夫婦ニ挨拶シ蕎
麦（ザル）ノ半分ヲ平グ富士山ハ霞中ニ全面ヲ露出
ス残雪尚麓ニ流ル一時席ヲ改メ廣キ色トリドリノ
躑躅ヲ賞シツ、弁当ヲ開ク塩田、三宅川充分ニ酩酊
ノ気味ナリ食後ツ、ジノ園内ヲ逍遙三時再度茶
菓ニ集ル此日天気ノ清朗ナリシ為メ湖上遊船山盛リ
ノ盛況ナリ同刻ヨリ突然曇リ初メ降雨ノ恐アリ倉惶
辞去又自動車ヲ拾フテ歸莊ス小林随行
夜分小林ト将碁ヲサス三敗二勝不成績ナリ自動車
賃往返拾円
昨今両夜快ク眠ルヲ不得

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月21日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨曇

〔予記〕

栗屋謙所長案内
國民精神文化研究
所開所式午前十時
断、

老将会
幹事加藤敬三郎、
請

【本文】

朝十時別荘ノ支払ヲ検査シ月末尚三拾余圓ヲ剩
スル知ル来月分経費トシテ磯五郎ニ金百圓ヲ渡シ
外ニ全人妻ニ祝儀トシテ五圓ヲ與フ了テ茂ト棋戦
二回皆勝ツ
后一時五十分小林トシ全道自動車ニテ下山式時五十
分小田原発車五時頃歸宅
夜分雨降ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月22日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

雨曇

【本文】

午前十時四十分出社阪本猷氏来訪トノ事ニ付面会喪考ノ吊詞ヲ述ブ全氏私邸ヘモ訪ネ来リタルヲ歸宅ノ上ニテ知ル

昨日片岡直温氏長逝ノ旨ヲ聞キ今朝吊電ヲ発シ供物ノコトヲ京都銀行支店ニ依頼ス廿四日桃山自邸ニテ営葬ノ筈

午前十一時社長室會議了リテ副社長ヨリ商事金属部ニ關スル紛紜ヲ聴キ更ニ永原理事ヨリ谷田部長ニ糺シタル顛末ヲ聞ク

午后土居貞弥氏来訪

全式時半家庭事務処ニ茅町男ヲ訪ヒ商事会社常務増員ニ關スル会長申立ノ結終ヲ報告ス協議半ニシテ男爵林邸法要ニ臨ムノ時到ル依テ明日再ヒ会見スルコトトス歸途壽美ヲ病院ニ見舞フ櫛一枚ノ話頗ル不快ニ感ズ噫

【欄外】

夜分田岡典夫来ル印鑑証明ノ件ナリ

【日記の日付…昭和9年5月23日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前十時半家庭事務処ニ茅町男ヲ訪ヒ商事会社
ノ件ニ付再應協議ヲ重ネ十一時十分三菱銀行ニ赴キ
重役会ニ列ス終テ午餐ヲ共ニシ一時半出社
后一時四十分大林義雄氏東京主任浅見氏ヲ伴ヒ銀行
建築引受ノ挨拶ニ来ル
是レニ引続キ神田正雄氏近日渡支ノ資援助依頼
ノ為来訪
前項ノ件ト伊藤公銅像ニ付小松緑氏ヨリ催促ノ件ヲ
三好常務ニ話シテ急速ニ詮議セシム
三宅川商事会長及永原理事トヲ引続キ引見協議
スル処アリ」高島屋赤見氏扇子ノ件ニ付来訪
四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月24日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

雷雨

〔予記〕

高松宮殿下日伯

協会総裁トシテ伯大

使送別ノ為御殿ニ御召

処勞御断

慈惠会總會午后一時

竹田宮大妃殿下一時半

台臨

皇后陛下 二時半

行啓 出席

【本文】

午前十時半出社々長ト面会引続キ社長室會議ニ列ス

長崎造船処ニ於テ来三十一日軍艦 進水ニ付伏見軍

令部長ノ宮台臨ニ付接待ノ為副社長三好常務ヲ伴ヒ出

張ノコトニ決ス廿七日夕東京発程ノ筈

午后一時愛宕下慈惠病院ニ赴キ竹田大妃殿下（総裁）台

臨ノ許ニ慈惠会ノ總會ヲ開キ終テ休憩全式時半

皇后宮殿下御来臨單獨拝詣ヲ賜リ了テ看護

婦ノ功勞者ニ有功章贈與ノ式場ニ臨マサセラル三時半

還啓ニ引続キ退出病院ニ赴キ壽美ヲ見舞フ三時頃

ヨリ時々降雨雷鳴アリ病院女中 ヨリ操 宛ノ

手紙ヲ井上ニ示ス可ク預リ来ル文句ハ生意氣ニテ田舎出

ノ少女ニフサハシカラズ女子教育ノ弊憂フ可キモノアリ歸

テ之レヲ井上ニ示シテ意見セシム

【欄外】

〔欄外 右上〕

500

【日記の日付…昭和9年5月25日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

〔予記〕

帝国水難救済会総会
両国々技館午前九時半

断

郵船総会后式時

歌舞伎座見物

番頭大橋ニハ式拾円
ノ修儀ヲ與フ

【本文】

今朝九時久保氏宅ニ赴キ吊意ヲ表セント欲セシモ社長
ヨリ急ニ会社ニテ面会シタシトノ事ニ付見合セ直ニ出社商
事会社ノ件ニ付打合セ社長ヨリ三宅川ヲ招キ其意見ヲ
叩キタルニ直ニ加藤常務ヲ取代ル事ハ紛乱ヲ招クノ
恐アリト主張シテ譲ラス仍テ自分申出ノ通りニ進行スル
コトニ傾ク

午后一時半斎藤総理ノ使トシテ入間野秘書官来

内

訪岡田良平氏ヨリ朝鮮併合記念塔建立ノ件ニ口
添依頼アリ住友ト三菱ヘハ自分話ス可シトノコトナリシガ
已ニ話合アリタリヤ否問合アリ未タ来ラザル旨ヲ答フ三
時過内田良平氏ヨリ会见申込アリ来月曜后二時
会见ヲ約ス

午后四時退出歌舞伎座ニ赴ク吉右衛門蔚山ノ清正劇
ヲ觀シガ為メナリ藝裏ニ階七番ノ坐敷吉右衛門尤モ勤メ
タルモ二条城程ハ引立タズサレド千秋楽ノ今日大入満員立
錐ノ余地ナシ孝四郎菊五郎ノ戻橋ハ面白ナリキ全伴シタル者三好、阪本、製
鐵松田、造船伊藤、秘書役場ノ森豊之助ノ五人歸宅前番頭大橋ノ案内ニテ丈ノ部屋ヲ

訪フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月26日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東京区才判処証人
召喚前、

九時半

【本文】

午前九時半東京區裁判処（日比谷公園側）ニ出頭甥
田岡典夫（原告）ト森小右衛門外一名（被告）ニ係ル訴訟
事件ニ付証人トシテ民事第三号法庭ニ出頭高野掛
判事ノ審問ニ答フ要ハ大利徳馬ト田岡家ニカゝル
關係ニテ此訴訟ノ動機ナリ十時半ヨリ約二十分ニテ終
リ直ニ出社々長ヨリ対商事会社問題ノ決意ヲ聴ク
十一時二十分社長室會議ヲ開ク副社長欠勤
午后貳時退出壽美ヲ病院ニ見舞ヒ助手ノ回診ニ
会合ス久原光夫母ノ使トシテ来リ会ス此日退院豫備
トシテ壽美ニ金百三拾弍圓ヲ渡ス
后四時半歸宅服装ヲ改メ青山高樹町八、久保勇氏
ノ宅ニ赴キ未亡人お染サンニ面会全氏ノ長逝ヲ吊シ靈
前ニ額突キテ告別ス令嬢天羽夫人及令兄柳谷巳之吉氏
席ニアリ歸途青山墓地ニ立寄り墓前ニ参拝シテ
歸宅

【欄外】

〔欄外 右側〕

近藤眞一氏ヨリ長崎港内ノ画幅ヲ贈ラル

【日記の日付…昭和9年5月27日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝八時半八日会ノ件ニ付内藤久寛氏ヨリ電話アリ
后〇時半吉祥寺ノ別邸ニ赴ク其便ニテラグーザ
お玉ノ油絵額二面ヲ全処ニ持参ス初メテ莓ノ収穫
アリ夕刻歸宅ノ後之レヲ壽美ノ許ト鮎川及船田
ノ留守宅ニ贈ル
后八時永井拓相邸ニ電話ニテ八日会ノ来賓タルノ
承諾ヲ得之レヲ中島男爵邸ノ佐和田氏ニ傳達ヲ
依頼シ全時ニ其旨ヲ内藤氏ニ通ズ
四谷丸梅ニ電話シ三十日夕坐席ノ豫約ヲナス
夜分典夫印鑑証明書ヲ持参ス仍テ全人印鑑四
枚ト共ニ書留ニテ大平城郎ニ送ルコトトス
帝国傷病兵後援会ニ七月十五日催ノ切符五枚ヲ返送
ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月28日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

無線電信総会午前
十時 工業倶楽部

被服協会評議員会
銀座七丁目花門午后
五時 断、

三菱鉱業総会
后式時

晩三谷鉱業会長
案内 錦水
築地常盤

【本文】

午前十一時出社々長列席ニテ改メテ三宅川商事会長
ノ決意ヲ糺ス社長ハ今朝私邸ニ茅町男ヲ訪ネ自個
ノ見地ヲ明ニシ其了解ヲ得タリトノ事ナリ
食後三宅川会長ヲ招キ部下ノ行為ニ付注意スル処
アリ

土佐神社宮司田中竹三郎氏来訪五分ヲ約シテ面会后
式時鉱業会社ノ総会ニ臨ム内田良平氏来訪ニ付中
坐ス内田来訪ノ趣意ハ日韓合邦紀念塔ヲ須
磨寺堂域ニ建設セントスル者（一進会長李容九死亡
ノ地）経費五万ノ内三万ヲ当方ニ仰キ式万ヲ三井住友ヨリ
仰クノ案ナリ詮議ス可シト答ヘ置日韓合併ノ成リタル
ハ李容九、宋ヘイ峻及内田ノ努力ニ成リタルモノ終二三拾六万
圓ノ金ニテナレリトノコト、
后四時半退出共楽倶楽部ニ立寄り六時築地常盤
ニ於ケル三谷鉱業会長ノ招宴ニ臨ミ十時歸宅

【欄外】

「欄外 右側」

日韓併合ノ成ルヤ政府カ一進会解散ノ為與フルモノ貳拾六万円ニ過キス会員百万人ニ対シ一人当リ二十六錢ニ過キズ万歳騒ギハ此不平ノ為メト云フ会員ニハ合併記念章モ與ヘズト

「欄外 左側」

内田氏ハ一進会ノ為メ高利ノ金六万円ヲ費シタルモ補ハレタルモノ終ニ五千円ニ過ギス記念章ノ番号モ二万幾千番巡查ノ下風ナリシト云フ

【日記の日付…昭和9年5月29日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雷雨

〔予記 傍線部赤点〕

山本悌二郎ヨリ処蔵
ノ絵画刀劔買取方
ニ付岩崎家ニ話依頼ア
リ今朝絵画処蔵品
目録約十冊軼入ヲ
書面ト共ニ贈リ来ル
之レヲ社長ニ手交シ
テ考慮ヲ望ミ置、

【本文】

午前十一時出社々長室ニテ会議ヲ開ク了テ会員ニ
対シ昨日内田氏来訪ノ趣意ヲ話シ之レガ援助ノ件ニ付
全意ヲ得更ニ社長ノ承認ヲ得テ三万円支出ノコトトス
后三井ノ池田氏ヨリ内田氏全処ニ来訪結句之レニ應スル
ノ外ナカル可シトテ当方ノ意向問合セアリ内田氏ハ先般
田中一平氏メツカ行ノ際三井ノ冷淡ナリシ体度ニ鑑ミ三井
ニ対シテハ多クヲ期セズトノコトナリシモ已ニ全様話ヲ進メ先
方ヨリ打合セアリタル上ハ出資額ニ相違アルモ如何ト考ヘ
内田氏ニ電話打合セノ上双方均シク貳万円出捐ス可シト三
井ニ返事ス
社長ノ望ミニヨリ重工業会社ノ重役トシテ自分再度
加入ノ事トナル
日語學校ノ件ニ付志立鐵次郎及森村市左衛門ノ両氏来
訪后四時退出病院ニ壽美ヲ見舞七時歸宅此際
壽美二百円ヲ渡ス
夜分大平城郎ニ大阪＊中央＊電話局ヨリノ調査照会状尅通ヲ郵送ス全
人ヨリノ依頼ニヨル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月30日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

丸梅ニ松本健次郎
氏案内后六時

午前七時東郷元帥

薨去 咽喉癌

后式時壽美退院
歸宅

【本文】

午前十時頃松本健次郎氏今夕丸梅へノ案内請ノ
電話アリ全氏今朝出京セリ
全十一時出社書面ヲ以テ若松築港取締役黒田長和男
ヲ松本氏ノ陪賓トシテ丸梅ニ案内ス午后快諾ノ電話
アリ

社長ヨリ刀劔研究会ノ日取ニ付話アリ明日ニテモ操合セ
一寸ナリトモ列席ス可キ旨返事ス

四時半歸宅六時前丸梅ニ赴キ来賓ヲ待ス陪客河

手捨二氏先ツ来リ次ニ三谷一二氏松本健次郎氏黒田

男全伴前后シテ来会六時半ヨリ食事ヲ始メ九時過

ニ至ル珍味佳肴続出主婦ノ腕前ヲ偲ブ只少シク凝

過キタルノ感アリ食後ノ甲州西瓜尤モ美味ナリ一同歡賞

ス一行四人丸梅初メテノ事トテ頗ル満足ノ体ナリ九時半歸
宅

午后東郷元帥今晚七時薨去旨報外通知アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年5月31日（木）】

【予記 等】

「天気」

曇

「予記」

国際文化振興会
高松総裁宮殿下
奉戴式后式時半
東京会館 請

光村工場ノ倉成文太氏
来訪利之全様ノ訴
アリ

【本文】

今曉七時過相当強震アリ震源地ハ絹川辺ト聞ク
午前十時四十分出社舟越楫四郎中将来訪東郷元帥
薨去前后ノ模様ヲ聴取ス氏ノ話ニヨレバ元帥ノ病室ノ
如キハ質素ヲ超越シテ寧ロ不潔不快ノ感アリトノコト
ナリ夫人永ラク病床ニアルガ為ナル可キモ不肖ノ令嗣彪氏
（全シ長屋住）ノ令室小原氏ノモダン式お引きずりし為不行届
ノ為メト思ハル十一時社長室会議ニ列ス

后式時武田秀雄氏来室

全式時半東京会館ニ於ケル国際文化振興会高松総裁宮

徳川

殿下奉戴式ニ臨ム式ハ規定ノ通りニテ令旨ヲ賜ヒ松平頼
貞副会長ノ答辞ニテ了リ茶菓ヲ賜フタル後單獨御引見
アリ斉藤総理、清浦伯徳川家達公モ列席セラル斉藤総
理ニハ内田良平氏来訪ノ趣意及應酬ノ次第ヲ報告シ置
四時半退出

浮世絵に話しは初夏の日暮かな

【欄外】

「欄外 右上」

「欄外 右側」

朝九時光村利之来リ小幡山下両人ノ不正事
件ノ報告アリ

【日記の日付…昭和9年6月1日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雷雨

【本文】

午前八時中島弥團次氏来訪時局ニ關シ十時半迄談話
アリ十一時四十分出社々々長鉸業研究所ニ赴ク為歸宅后
ナリ

午后武田秀雄氏来訪

全武時頃池田成彬氏来訪郷誠之助男日本製鐵会
社取締役トシテ東洋製鐵ヨリノ推撰ヲ一旦断リタル后
更ニ受諾シタル顛末ニ付有賀長文氏トノ關係ヲ尋ヌル処
アリ余ノ關知スル処已ヲ答ヘ置ク折柄驟雨雷鳴強シ
四谷附近ニ落雷ス三時半歸宅ノ頃ハ雲ノ晴間ニ青空
見ユ

吊東郷元帥

いまさらと

うつゝ世にあらずなりても軍神

行末かけて國や護らむ

内田良平氏ニ手紙ヲ以テ日韓合邦記念塔建立費ノ内へ金貳
万円出捐ス可シト申送ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月2日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

土佐協会＊総会＊及記念大会
電気倶楽部有楽町

一ノ三

后一時 断

【本文】

午前十一時出社議事ナキヲ以テ社長室會議ヲ見合ス
千田勘兵衛氏ヨリ内田良平氏来社余ガ斡旋ノ厚
意ヲ謝シ出捐金貳万圓受取歸レリト報告アリ
午后壱時工業倶楽部ノ中村元督氏来訪来ル八日白
耳義特派大使ノ為商工會議所、工業倶楽部国際
經濟聯盟ノ三團體ニテ工業倶楽部ニテ茶会ヲ催サレ
タシト外務省ヨリ依頼アリタリトノ事ナルモ余リニ坤付
ガマシク且此種ノ依頼ノ頻々タルニ鑑ミ工業倶楽部
トシテハ参加セザル旨ヲ答ヘシム
君塚勝彦氏引見
三宅川商会长引見
午后四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月3日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

正午雨止ム○時半壽美ト共ニ吉祥寺ニ到リ莓狩リ
ヲナス収額多量全処始メテノ收穫ナリ自動車ニ満
載シテ七時半歸宅時々少雨アリタルモ大降りニ至ラ
ズ

夜分大平城郎ニ典夫後見人解除届訂正ノ分及全人寄
留理由書各式通調印返送ス

東郷平八郎

カ

皇国を賭けて

信号に圀を背負ひてわだつみの神驚かす
すがた雄々しく

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月4日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

慈恵会理事会正午

断

小松貸金延期ノコトハ

上村ニ告ゲ置、

【本文】

午前十一時出社副社長ノ一行一昨夕長寄ヨリ歸京船

田一雄氏ノ一行モ亦昨夜満州ヨリ歸京出勤

午后四時半退出歸宅小堀ノ四男ノ為メ日々見舞居ル

マッサーヂ師ヨリ治療ヲ受ケ夜分調髪

小松傳一郎氏来社全人貸金ヲ向一ヶ年間延期ス

壽美午后一時帝大病院ニ赴キ注射ヲ受ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月5日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

白耳義大使館特
派使節紹介園遊
会后四時
七日二変更

東郷元帥国葬
日比谷公園

【本文】

本日東郷元帥國葬ノ日官省会社概ネ休業哀悼
ノ意ヲ表ス式場ハ日比谷公園内ナリ靈柩ハ砲車ニ載
セラレ八時家門ヲ出テ九段ヨリ富士見町堀側ニ沿フテ
式場ニ入り式ハ十時ニ始マリ十二時ニ終リ零時半ヨリ式
時迄一般ノ会葬者ノ礼拝ヲ享クル筈ナリシモ群集ノ雜到
甚シキ為メ定刻前ニ式場ヲ鎖シタリト聞ク式時五十分
靈柩車ハ式場ヲ出テ赤坂溜池ヲ歷テ新宿ニ出テ多摩
墓地ニ埋葬セラル斯クテ一代ノ偉人東郷大将ノ幕ハ
鎖サレタリ英仏米伊各提督水兵ヲ葬列ニ立タシメ
外國人ノ参加三十式ヶ国ニ及ブ未曾有ノ盛葬ナリ
余ハ船越揖四郎中将ガ曾テ余ニ寄贈シタル元帥ノ書幅
ヲ掲ケ元帥写真ノ前ニ端座葬式時刻黙禱吊意ヲ
表シ終日引籠レリ（不快ノ為式場ニ臨ムヲ差扣ヘ）
君塚勝彦氏ニ旅費四拾円ヲ贈與スタ刻按摩治療
ヲ享ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月6日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日本工業クラブ及日本経
済聯盟協同取引所
制度改善第一回調
査委員会
午后四時

【本文】

午前十一時半出社三菱石油会社ノ製油販賣ハ年末
契約満期後ハ三菱商事トノ間ニハ石油会社本位ニ決
定スル様社長ノ提案ニ全意列席シテ其旨ヲ三宅川
商事会長ニ傳フ
午后一時竹中工務店ノ會計菅原氏ヲ招キ峯別邸請
負代金残額千八百〇九円拾貳錢ヲ支払フ既拂高
五万圓ヲ合シテ計金五万千八百〇九圓拾貳錢ニ上ル外ニ
謝礼トシテ小林利助氏ニ五百圓桶川重忠氏ニ六百圓
大工松本ニ貳百円計千參百円ヲ贈與ス支配人福本
常太郎氏小林桶川ヲ伴レ弁天町ニ挨拶ニ来ル
松村亀太郎氏ヲ招キ小幡山下兩人ニ対スル批評ヲ話
シ善処ヲ命ス
同式時半製紙会社總會後ノ報告ヲ聴取シ一應歸
社更ニ工業倶楽部ニ赴キ取引所制度改善委員会ニ
臨ミ挨拶ヲナシ鈴木島吉君ヲ委員長ニ指名シテ歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月7日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

サルバドル總領事
レオン、シグエンザ氏招待
会

丸ノ内中央亭本店
会費三円断

白耳義大使館特派
大使紹介園遊会
午后四時

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム
午后四時白耳義大使ボンソンヒエール夫婦ノ催ニカゝル全国
特派大使タイス氏夫婦紹介園遊会臨場ノ為メ番町
ト

全大使館ニ赴ク来会スル者約主百*五十*名朝野ノ名士ヲ網羅
ス齋藤総理一木枢相山本内相林陸相秋田衆議院
議長ノ貞モ見ヘ婦人令嬢ノ貞モ見エ目立チテ見ヘタルハ
仏国歸リノ藤田畫伯ガ仏国夫人ヲ全伴シタルナリ洋
婦人ノ唇黒奴ノ唇ノ如ク赤ク染メタルハ不快ニ覺ユ而シテ
日本婦人洋装ノ者之レニ倣フモ苦々敷茶菓ノ饗ヲ享ケ
六時頃退出ス
午后一時兼二浦鍋島朝俊ヲ引見

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月8日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

八日会

幹事自分、内藤氏

来賓永井拓相

出席

東京商工会議所及経聯

両団体ノ白耳義特派大使

ウイリアム、タイス氏歓迎茶

会后四時

断

旭硝子総会

創立二十年

成溪學園紀念祝

賀会雨月荘后五時

断

【本文】

午前十一時出社々長ト対談中元慰労金取極ニ付依托ヲ
受ク鍋島朝俊ヲ副社長ニ紹介ス

午后一時富田幸次郎氏ノ紹介ニテ加藤峰男氏ト会见ス

償

全氏ハ満州国輸出大豆ノ代■トシテ大航空船ヲ独逸ヨリ引

受ケ日本ニ依托スルノ件ニ連關シテ航空国策研究会設立（海

軍ニ頼マレ）斡旋中トノコトニテ先ツ一應ノ了解ヲ得度トシコトニ

付本件航空機ニ關スルコト故将来ハ重工業会社ノ會長斯

波孝四郎又ハ常務ノ郷古潔両氏ノ中ニ交渉セシラレタシト

話シ全氏持参ノ印刷物ヲ斯波氏ニ渡し本人ノ履歷并ニ

海軍ノ意向ヲ笹本取締役ヲシテ探ラシムルコトトス

中沖壽氏外二人来訪船田氏ニ面会セシム

三時三菱信託ノ重役会ニ臨ミ了テ永原氏ヲ招キ中元慰労金

ノ額ヲ決定ス副社長及三好船田ノ両氏来リ会ス
午后五時五十分山口ニ於ケル八日会ニ臨ム郷氏ヲ除キ余ハ尽ク
来リ会ス来賓永井拓相ト時局ニ關シ話談ヲ交換十時退散

【欄外】

「欄外右側」

壽美東大ニテ注射ヲ受ク（十五回目）

【日記の日付…昭和9年6月9日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

大阪商工会議所ニ於テ
全産聯合会開催
午前十時、午餐会
全三時日本經濟聯盟
臨時大会
全六時双方懇親
会堺卯
全部 断

日本国際協会沢田
節藏氏歓迎午餐会
丸ノ内中央亭会費

一円五十銭

出席

【本文】

暑氣強ク加ハリ更衣ヲナス小堀ハ四男診察ヲ受クル為メ
今朝九時整形外科（帝大医科）ニ赴キ歸リ来ラス会社
ノ自動車ヲ呼ビ十一時出社、々長室会議ニ臨ム
午后一時中沖壽氏来訪対談半刻先ツ三井ノ同意ヲ得
ラル可シト懇篤ニ話シ置ク氏快タトシテ去ル
丸ノ内中央亭ニ於ケル国際協会ノ午餐会ハ失念欠席ス
会費納入ス可キモノナリ
午後三時半退去三越ニ立寄り四時半歸宅
全五時網屋主人野田手代ト共ニ白翰豊後行平太刀（金
貳千五百円）元唐津小笠原家処藏拵付金象嵌銘景光（金
七百五十円）衛府太刀近江大掾忠広（六百五十圓）拵付備前
忠光刀（金四百円）曾我五郎合口箱根権現宝物写島田
義助短刀（金貳百五十円）五口ヲ持参ス行平景光義助
ノ三口ヲ預ル行平ニハ光忠ノ折帋付

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月10日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

今朝四谷税務署ヨリ処得額半關決定通知アリ
午后一時壽美全道吉祥寺ニ赴ク成溪學園小學
校二十年高等學校開始十年ノ記念ノ催アリ終日學園
ハ賑ヒ居レリ生徒ノ歡声ニ交リテ安來節東京音頭
ナド聞ユルハ苦々敷心地セリ葍其他多量ノ収額ヲ載
セ八時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月11日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

午前十時半小堀ハ倅ノ為メ帝大病院ニ赴キ歸宅セサル
為メ会社ノ自動車ヲ招キテ出社途次京都昭和工藝
協會ガ中沢岩太会長ノ喜壽記念ノ催ヲ觀ル可ク商工
会館ニ立寄リ中沢翁ニ面会朱塗茶盆外数点百〇
六圓ヲ買約代金ヲ支払フテ〇時半出社
午后三時社長ト面会河手鋤業常務ヲ商事ノ平取締役
トナスノ件ヲ全意ス
后五時退出歸宅
夜分牧山耕蔵氏ヨリ内閣存廢ニ關スル意見書ヲ接
手ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月12日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

井上友一氏十六回忌二付

井上会

偕行社旧館后五時

断

重工業斯波会長案内

金田中 請

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス

午后副社長ヨリ河手鉾業常務互助会対応ニ付苦肉

ノ情ヲ聴ク呼ヒテ之レヲ糺サントスルモ外出不在ナリ

后四時退出三越ニ赴キ京都府工藝品陳列場ヲ視

ル清水正太郎氏ニ会合ス同氏作水（百円）、■龍、盛

華器、巻煙草入、外一点約貳百円ヲ買約ス、

五時半金田中ニ赴キ斯波重工業会長ノ招宴ニ臨ム

永原氏ト対局正ニ大ニ勝ントシテ敗レタリ九時過歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月13日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

朝八時半竹中藤右衛門氏挨拶ニ来ル全時松村亀太郎氏来訪光村工場小幡山下両氏処分ニ付打合せアリ
十一時半出社

午后一時半三谷鉱業会長ヨリ巡回視察シタル生野明延直島ノ鉱山并ニ工場ニ付社長全席ニテ報告ヲ聴ク

午后三時半河手鉱業常務ヨリ互助会対策ニ付三谷会長ト意見ノ相違ノ点ヲ聴取シ能ク会長ト協議スル様訓戒慰藉シ置ク

五時半退出光悦ノ囲碁会ニ臨ミ九時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月14日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

小山田氏処蔵ノ兼元
ノ刀ハ舞鶴ニテ元弍拾円
位ニ求メラレタルモノ原元
辰試之元禄十五年四月
ノ銘アリ
外ニ和泉守兼定（正
立）ノ短刀及偽正宗
ノ短劔（岩崎家ノモノ）
ヲ示サル
茅町岩崎家ノ国室
眞長ハ長サ弍尺斗
ト聞ク

【本文】

午前九時光村利之来訪昨日倉成ト会談ノ模様ヲ
話シ置ク全十一時出社々長室会議ニ臨ム
午后一時半拓務省政務次官堤康次郎氏来訪既
ニ着手中ノ満州土地購入（壱千万円買入済）ニ次テ更ニ日本
財閥間ニ新ニ一千万円ヲ募集（先ノ分ハ満鐵東拓、朝鮮
銀行、満州政府出資 吉林省ノ失敗ハ主トシテ武器ノ取上ケニアリト云フ）綿花、小
麦、牧羊
ノ地タラシメントスルニアリテ大阪ニ於テ紡績毛織会社間ニ各
弍百万円 政府百万圓宛■（研究組合ノ為メ醸出セシメタリ翼賛
ニ付豫メ考慮ヲ煩ハス不日総理又ハ拓相ヨリ会合ヲ仰
クコトアル可シト余慎重ニ考慮ス可シト答ヘ置、
后弍時五十分退出鳥居坂ニ赴キ刀劔研究会ニ臨ム小山

光

田氏ヨリ近忠以降長船一派ノ講義ヲ聴ク岩崎家ノ近忠
長光、兼光（後家兼光大業物直江兼續佩刀）長義元重ニ
付説明セラル余ノ長光、兼光共ニ其健全ヲ称賛セラル網屋

ノ預リ物行平ハ可景光不可ナキモ疵多シトノ評ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月15日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

九炭吉田専務案内

錦水 断

旧友会、紅葉館

会費二十円 断

峯行

【本文】

壽美ト共ニとし女ヲツレ午前十時五十分發熱海行ニ
搭乗后一時八分全所着自動車ニテ峯ニ向フ雇ツケ
ノ佐藤ハ車台修膳ノ為代人ヲ遣ハス稻取ヲ過キテ
途中パンク四時半峯別邸ニ入ル料理貴志先着出
テ、迎フ

此日竹中組ノ小林桶川ノ両氏ハ横井戸検査ノ為メ今
朝東京ヲ立チ来峯隧道内壁崩壊防止工事見

積ニ付掘鑿受負人稲葉 二談合結句八百八

拾圓（支払残金三拾円ヲ含ム）五十錢ニテ全人ニ請負ハス事トス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月16日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

久振リニテ昨夜ヨリ豪雨アリ旱天続キノ事トテ農家ノ
為メニハ千金ノ値アリ小林桶川両氏ニ午餐ヲ饗ス日
本室手直シ場処アリ両氏臨檢ノ上大工松本ヲ招致ス可
ク東京ト電話ス両氏四時頃歸京
沢蟹は梅雨嬉し氣に庭をはい

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月17日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

【本文】

昨夜半来峯松涛館ニ一泊シタリトテ大工松本今朝
来宅宿泊シテ手直シニ着手ス

玉峯館主人稲葉来訪

牧太郎ニ金三百圓ヲ手交ス七拾七円ハ先月末分庭園

工事費支払不足ニ五拾五円ハ全月分夫婦ノ給料ニ五拾

余圓ハ本月十五日ノ庭園工事費ニ残金ハ向後ノ家計

費宛ナリ

【欄外】

【日記の日付：昭和9年6月18日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

昨日来庭園ノ手入レニ着手ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月19日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

【本文】

松本鴛鴦ノ為寢小屋ヲ作ル夜ニ入リテ復豪雨アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月20日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

老将会后四時

幹事大隈信常、
断

富士紡總會

【本文】

強雨終日止マス溪流水嵩ミ奔激遠雷ノ響アリ
松本歸京旅費貳拾圓ヲ給與ス

【欄外】

【日記の日付：昭和9年6月21日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

小雨午后晴

〔予記〕

万葉聴講会午後
五時

【本文】

午后ヨリ雨漸ク霽ル鴛鴦ノ為池ノ一隅ニ金網ヲ張り
之レヲ放ツ
夜ハ半月中天ニアリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月22日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

此朝東京久埜秘書ヨリ電話ニテ永井拓務大臣来月
二日相談ノ為メ参会ヲ煩シタリ豫メ余ノ都合ヲ聞クトノ
事ニ付差支ナキ旨返事シ全時ニ来廿四日来遊如何ト船
田氏ニ傳言ヲ依頼ス

午后○時十分佐藤ノ自動車ニテ小林信太郎ヲツレ天城
越ニテ古奈ニ赴キ三養荘ニ茅町男爵ヲ訪フ男十九日
歸京不在夫人ニ面会具ニ荘内三軒ノ邸宅ノ案内ヲ
受ク

余ハ若シ男爵再應古奈ニ御越ナレバ御両所御揃ニテ廿
四、五両日ノ内峯ニ御来遊ヲ仰キ度シト申入ル夫人電話
ニテ東京ニ打合サレ明日男爵古奈ニ再来ノ筈ニ付来着
ノ上日取決定ス可シトノ挨拶ナリ四時半全処ヲ辞シ歸途
大平ニ旭瀧ヲ見雨後ノ壯觀ニ驚キ再度天城ヲ越へ六時四
十五分歸莊夜ニ入り男爵夫人全道加藤武雄氏ト共ニ廿四日
来峯ス可シトノ返事アリ依テ手傳ノ為明日小林茂ヲ吉祥寺
ヨリ召致スルコトトス

【欄外】

【日記の日付：昭和9年6月23日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

今朝鳥ニ追ハレタル大ナル鶉ヲ捕ヘ之レヲ曾テ鴛鴦ノ為メニ
作リタル鋼小屋ニ幽閉ス
庭ノ掃除ニ忙シ午后四時小林茂来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月24日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

正午過ぎ頃茅町男爵御夫婦加藤武雄氏ト共ニ田島ヲ供
ニ自動車ニテ来峯各室内并ニ園内ヲ案内シ十二時半過
ヨリ午餐ヲ饗ス加藤氏ハ入浴ヲ試ミタリ
食事ノ間約式時間余談笑ノ内ニ時間ヲ経過ス了テポ
ーチニテ壽美撮影一行満足ヲ表セラレ四時近クニ辞去セラル
余モ亦快怍ヲ禁スル能ハス祝儀トシテ料理人召使小林
信太郎植木職人ニ金拾圓ヲ分配ス
夜ニ入り小雨降ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月25日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

壽美ハ此機会ニ昨年吉祥寺ニテ催シタル例ニヨリ青木
曾根（増吉）原田ノ夫人近藤廣子淑子、久原清子手傳
トシテ龜山栄枝ヲ此別墅ニ招キタシトノ事ニ付全意シ
余一人茂ヲツレ歸京スルコトトシ金五百圓（或ハ七百圓）ヲ
全人ニ渡ス

后一時半峯登四時熱海着全弍十五分ノ準急ニテ
歸京六時八分中央驛着全半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年6月26日（火）】

【予記 等】

「天気」

晴

【本文】

暑サ頗ル加ハレリ十時社長ヨリ歸京ノ問合セアリ全半出
社々長ノ部屋ニテ串田、永原船田ヲ集メ三菱重工業公
開ノ発表日取、公開ノ株数、并ニ賣價ニ付協議シ日取
ハ来月中旬株数四拾万株以内價額ハ六拾五圓見当ト
ス

午后船田理事ヨリ留守中ノ経過ヲ聞ク
全四時半退出上野ノ寄合ニ臨ミ九時半歸宅此朝調髪
両三日前三好常務ヲ随ヘ名古屋ニ出張中ノ副社長今夕
歸京ノ筈

【欄外】

「欄外 右上」

500 300 200

【日記の日付…昭和9年6月27日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

電気会社会長川井氏
招宴山口后六時

出席

東電定時総会

【本文】

暑気強ク日中ハ十五六度ニ上ル午前十一時銀行ニ赴キ重
役会ニ列シ各取締役ト午餐ヲ俱ニシ一時半歸社
午后貳時三菱信託ノ總會ニ出席原案可決六分配当
永原理事ヨリ日本生糸監査ニカゝル両社長ノ意向ヲ
聴取シ今日立入りテ調査ヲ為スハ三宅川、并ニ永峯ノ氣ヲ
腐ラス可キ恐レアルヲ憂ヘ余ノ意見ヲ述ブ永原全然
全意ナリ仍テ社長ノ余カ室ニ来レルヲ機トシ余ノ意見
ヲ陳述ス社長モ亦余ノ考ヘト違フコトナシ永原ニ誤解ナ
キ様社長自身ヨリ説明スルコトトス
松村亀太郎氏来訪光村工場従業員トノ交渉弁明ニ
付報告スル処アリ
神戸正彦宅手入費百九拾余円ヲ竹中工務店ニ時致赤木造短刀
写代貳百五拾円ヲ小切手ニテ網屋ニ支払フ
午後五時永原氏ト全乗山口ニ赴キ電気会社ノ招宴ニ列ス
おかく妹分八重次ノ（山形）追分、新生節面白ク聞キタリ九時
半歸宅牧山耕藏氏前門ニテ余ノ歸リヲ待ツ首相ト会見中島男
随ルノ処ナク内閣総辞職ニ決定セル趣ヲ確メタル旨報道アリ

【欄外】

〔欄外 右側〕

夜分ニ至ルモ炎暑衰ヘス寐苦シキ感アリ

【日記の日付…昭和9年6月28日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

経聯、倶楽部、商工会議
所三団体聯合日印
会商代表沢田節蔵
氏一行及日英会商代
表一行歡迎午餐会
○時半工業倶楽部
出席
東京海上保険重
役会后式時半
断

【本文】

本日モ亦暑氣強シ早朝已ニ八十二度ニ上ル
午前十時半出社々長室會議ニ臨ム須田春治氏山本悌
二郎氏使トシテ来訪會議中ニ付午后三時会见ヲ約ス
后十二時半工業倶楽部ニ赴キ日印、日英会商代表一
行歸朝歡迎ノ午餐会ニ臨席ス余ハ郷男ト共ニ代
表主人タリ来賓ノ内ニハ松本商工大臣在会スル者無慮
式百余人食後郷男主人側ヲ代表シテ挨拶ヲ為シ之レニ
對シテ沢田日印会商代表及 （ ） 日英会商代表ノ
答辭アリ式時散会歸社
三時十分ヲ過クルモ須田氏来ラズ書面ヲ以テ回答ス可キ旨
ヲ氏ノ自宅ニ電話シ三時廿五分鳥居坂邸ニ赴キ刀剣研
究会ニ臨ム小山田中将ノ青江物三原物、二王物ニ付テノ講
義ヲ傾聴シ青江守次、恒次、三原正家、大隈介貞次
一乗家重ノ実物ニ付特点ヲ指摘セラル五時半歸宅
夕景峯ニ電話シ壽美ヨリ来客ノ動作ヲ聞ク今朝一同満
足天城越ヘニ三島ヨリ歸京ストノコトナリ
后八時過青木、久原、近藤ヨリ夫々挨拶アリ谷田夫人及栄枝ハ壽美ノ手紙ヲ持参ス

【欄外】

「欄外 右側」

三橋信三氏ヨリ横濱倉庫火災ノ真相ヲ聴ク

【日記の日付…昭和9年6月29日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

第十五回赤十字国際
会議参集者接待上
打合ノ為メ全社々長徳川
家達公案内茶会
東京会館后三時
案内

断

服部玄三（故金太郎氏
相続人）帝国ホテル
案内后六時

断

【本文】

今朝ハ七十九度ナリ出社ノ途次家庭事務処ニ立寄り
茅町男爵未タ出勤セザルニ付隆弥君ニ御夫婦峯御
来遊ノ挨拶ノ傳言ヲ依頼シテ出社隆弥君ノ部屋
ニテ久振リニ林民雄氏ニ会合ス
午后一時鉱業会社ノ重役会ニ出席ス須田春治氏来
訪ニ付中坐面会画幅刀剣ニ付鳥居坂邸ノ意向ヲ告ゲ
一應断リヲ述ブ須田氏山本悌二郎氏ノ窮迫ヲ訴ヘ
氏ガ処藏品ノ白眉タル黄大痴山水ノ巻ヲ示シテ強テ
周旋ヲ迄フ巻ハ重要美術品ニテ價額五万圓ト云
フ仍テ預リ置キ其事情ヲ述ベ之レヲ社長ニ示ス社長閱覽
ノ為之レヲ携ヘ歸ル
小松傳一郎氏旧光村工場家屋并ニ敷地道路敷トシテ市
買収ノ件ニ付打合セノ為来訪
土居貞弥氏来訪 四時半退出歸宅
此朝小堀ニ給料以外ニ中元手宛五百円ヲ支給ス夜分七時吉
祥ノ小林ヲ招キ本人給料ノ外中元手宛五拾円ト本月分家計費

百二十円ヲ手交ス

【欄外】

【日記の日付：昭和9年6月30日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨晴

〔予記〕

九迷＊州＊電新株申込期
日本日限り

【本文】

昨夜半ヨリ雨今朝ニ至リ次第第二霽ル蒸暑ク盛
暑ノ如シ十一時出社々長室会議ニ臨ム
午后社長黄大痴ノ巻ヲ持来リ本巻ハ瀧誠一
ノ強キ主張ニテ反对ノ意見アルニ係ラズ重要美
術品ニ指定シタルモノニテ通り相場ハ壺万五千円位
ノモノ構図單調ニテ不面白返却シタシトノコトナリ依
テ再度久埜氏ヲシテ金庫ニ保管セシメ返却ノ手續キ
ヲトルコトトス
四時半退出歸宅亀山宗月ヲ介シテ購入シタル時代
鐵風呂、浄雪（浄元ノ箱ナリ可取糺）宝珠釜織部
敷板代金八拾圓ヲ明朝宗月氏ノ手許ニ可送用
意ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月1日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

蜻蜓鞘ノ懷劍直ニ出来

【本文】

暑氣強シ后○時半吉祥寺ニ赴キ園内ヲ周遊ス此
日初メテ「サラシヨヲ樹」ノ花咲クヲ見タリ白ノ五弁ニテ
瀟洒タルモノナリ四時全処退立池ノ端ノ囲碁会ニ臨ミ九
時四十分歸宅

今朝十時半磯五郎箱根ヨリ来ル喜太郎ヨリ請求
アリタル強羅別邸竹垣改造費五拾余円支払ノ為
八拾圓外ニ中元手宛式拾圓合計百円ヲ渡ス七月へ
ノ繰越殘金ハ外ニ六拾四圓アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月2日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇晴

〔予記〕

阪神急行電鐵払込
拾貳円五拾錢 本年限、
住友又ハ三和銀行東京
支店ニ

永井拓相案内官邸
正午

請

【本文】

本日午前中ハ曇天今ニモ雨降ラントス而シテ降ラズ
三時過ヨリ晴ル頗ル蒸シ暑シ
午前十一時出社正午拓相官邸ニ赴キ永井拓相ヨリ午
餐ノ饗應ヲ享ケ続テ満州土地会社ノ件ニ付懇
談アリ要ハ将来移民ノ為メ満州ニ四五百万町歩ノ
土地ヲ買ベントスルモノニテ已ニ満州鐵道会社ハ東亜
勸業株式会社ヲ通シテハルピン郊外ニ壹万五千町歩
吉会沿線ニ約三万町歩ヲ買収シ尚吉林省ノ東北
山林地帯ニ近ク 地券面約百万町歩（實際貳百万町歩）
ノ買収ヲ遂ケントス之レガ為満鐵ノ出資五百万圓満
州政府三百萬圓ヲ出資セリ招集ノ要ハ尚千貳百万
圓ヲ投シテ五百万町歩迄ヲ買収セントスルニアリ質問
應答ノ末来六日工業俱樂部ニ参集各自ノ意見ヲ
纏ムルコトトス本日招カレタル者ハ郷池田各務四条矢野及
余ノ六名アリ歸社之レヲ正副社長ニ話シ置ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月3日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

午後一時―式時門野
重九郎氏ト会见約束

斉藤内閣総辞職

【本文】

暑気強ク后二時八十八度ニ上ル
午前十一時出社々長室会議ニ臨席
午后一時半地下高速度鐵道会社設立ノ件ニ付門野
重九郎氏来訪会社ハ渋谷新宿ノ兩驛ヨリ四谷赤坂
ノ見附ニ出テ新橋并ニ丸ノ内中央驛ニ出ツルモノニテ資本
金約四千万圓、貳万株会社引受ノコトニ返答ス尚個人ニ
カ、ル分ハ余ノ主義トシテ特別ノ事情ナキ限り新株ハ一
切引受ケザルコトニ致シ居ル旨ヲ以テ断ル氏能ク之レヲ了解
ス

斉藤首相ヲ始メ内閣一同綱網紀乱ノ責ヲ負フテ辞
表ヲ提出ス

四時半歸宅

壽美今夕七時半峯ヨリ歸宅廿六日ヨリ廿八日ニ亘リ全処
ニ近藤廣子淑子久原清子青木曾根森川谷田ノ四夫人
龜山栄ヲ全処ニ招致シタル模様ニ付話アリ夜半ニ及ブ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月4日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔寒暖〕

八十八度

〔予記〕

岡田海軍大将二組
閣ノ大命下ル

【本文】

本日モ亦暑氣強シ午前十一時出社
午前二時半光村利之来社峯ノ別荘ノ写真廿三枚ノ写真二組ヲ持参ス
土居貞弥氏来訪金五百圓ヲ贈與ス
前ノ商船社長堀啓次郎氏退職ノ挨拶ニ来ル氏ハ商船在勤三十五年内式拾年ハ社長ノ職ニ在リ社長ニ談合昨後日正午社長鳥居坂邸ニテ午餐ヲ饗スル事トス

橋本關雪氏ニ墨影集寄贈ノ挨拶ト共ニ鳥居坂邸戸襖揮毫ノ為上京ノ日取リヲ問合ス

四時半退出

岡田大将二組閣ノ大命下ル大将ノ推撰ハ今朝十時西園寺公ノ召集シタル重臣会議ノ席ニテ斎藤首相ノ口ヨリ出デタリト確聞ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月5日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

刀劔研究会

鳥居坂邸后三時

商事新常務三人ヨリ

案内

山口

【本文】

暑氣強シ九十度ニ上ル十一時出社々長室會議ニ臨ム
午餐後共樂俱樂部ノ展觀ヲ視ル

商工省參與官松村光三氏退任ノ挨拶ニ来ル

午後三時鳥居坂邸ニ於ケル刀劔研究会ニ臨ム本日ヨリ

新刀ニ就テノ講義アリ埋忠明壽、堀川国廣、国

安及東山美平ノ実物ヲ視更ニ小山田中将携フル

処ノ三善出羽大掾長道（会津松平家処蔵）ノ刀

ヲ示サル

六時退出金田中ニ赴キ商事会社新常務早川、谷

田梁瀬ノ三常務ノ招待ノ宴ニ臨ミ歸リニ臨ミテ来

十七日古稀ノ祝品ノ贈與ヲ受ケタル返禮ノ宴ヲ催

スコトニ付女将ト余興ニ付打合ス処アリ十時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月6日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

満州土地会社ノ件ニ付
打合せ会
后式時

啓

鳥居坂邸ニ堀悌二郎
氏午餐ニ案内ス

○時半

【本文】

暑気強シ九十度以上ニ上ル処アリ

午前十一時出社正午鳥居坂邸ニ赴キ元商船社長堀
悌二郎氏ヲ社長午餐会ニ案内セルヲ以テ其席ニ列ス

全席串田濱田三谷三好斯波ノ五名式時退出工業

倶楽部ニ赴キ満州土地会社設立ノ協議会ニ臨ム郷

池田四条各務矢野ノ五氏ト会合結局拓務省ノ意

見ニ添フノ困難ヲ認メ郷男ヲ煩ハシテ之レヲ断ルコト

トシ三時半会社ニ歸リテ三菱重工業公開聲

明書ノ文案決定ノ協議ニ（社長、永原三好加藤武

男斯波）参加ス四時半歸宅

后五時半網屋ノ野田左祐弘行ノ刀及和泉守国貞

ノ大小何レモ拵付（弘行千円国貞七百円外三点ノ短

刀ヲ持参ス刀三口ヲ預ル

夜分永井柳太郎氏来訪退職挨拶ノ為メナリ

全時典夫来訪

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月7日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴驟雨

【本文】

午前十一時出社例ノ持病起リ加養ノ為メ少シク遅レテ社長
室會議ニ列ス満州政府財務部ノ田中氏ノ来訪ヲ断ル
午后土居貞弥氏来訪
三谷鉉業会長引見全氏今夕北海道出張ノ筈
四時半退出井原出京ニ付小松旅館ニ訪問夕刻ヨリ下町ハ驟
雨降雹雷鳴アリ

【欄外】

〔欄外 右上〕

200 1000

【日記の日付…昭和9年7月8日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

八日会

幹事、郷、池田

来賓若槻民政総
裁

新内閣

総理岡田海軍大将

内務後藤文夫、逋相

床次、農林山崎達之輔

鐵相内田信也

商相町田、文相松田、

陸海軍、外相留任

拓相総理兼務、

【本文】

午后壱時半壽美ト吉祥寺ニ赴キ五時半歸宅改装

山口ニ於ケル八日会ニ臨ム会員中中島藤山ノ両氏欠席

食後來賓若槻総裁ヨリ軍縮會議ニ關スル意見

ヲ聴取ス

(1)今日迄（ワシントン會議以來）未タ海軍トシテ曾テパリチー

ヲ主張シタルコトナシ

ワシントン會議ニテハ加藤全權ハ主力艦補助艦共五、五、

三ヲ認容シタルモ佛國ノ反對ノ為メ主力艦已ニ止メタリ

(2)倫敦會議ノ際モ巡洋艦七割、潜行艇七万五千屯ヲ

維持ス可キ訓令ヲ受ケタルニ過キス三十五年迄ハ七割以上

ヲ保持シ三十六年ニ及ビ六割何分ニ下ル已潜行艇ニ付テハ

主張ヲ貫徹パリチー迄認メラレ尚三十六年ヲ過クレバ條約

ノ羈絆ヲ脱スルモノトシ其得失ヲ考慮シテ條約締結

ニ及ビタリトノ説明アリ

十時半歸宅本日岡田新内閣成立、

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月9日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴驟雨

〔予記〕

帝国森林会午前
十一時理事会

断

取引処制度改善ニ
關スル聯合調査
委員会 正午

出席

増田屋中村房次郎
氏ヨリ商社会社ニテ
 磷鉱石販売引
ニ付訴ヘアリ之レヲ三好
 常務ニ渡ス

【本文】

午前十一時四十分出社正午工業倶楽部ニ赴キ取引処
制度改善ニ關スル聯合調査委員会ニ臨ミ午餐後
委員長鈴木嶋吉氏説明ノ許ニ原案ノ審議ニ入り
三時半略答案ヲ決定シテ退出歸社
 タール工業会社設立ニ關シ旭ノ山田三次郎氏挨拶ニ来
 ル
井上世外侯傳記編纂会ニ兼テ申込ノ寄附金五百
圓京都五条坂清水六兵衛氏ニ朱錦飾壺代四百
五拾円土佐弘瀬幸猪ニ中元百円ヲ夫々書留郵便
ニテ送金ス
四時半退出岡田新総理ノ官邸ニ祝意ヲ名刺ヲ通シ更
ニ向隣リノ町田商相ノ宅ヲ訪フテ全氏ニ面会ス■余ノ
新大臣ニハ秘書久埜ヲ名刺ヲ持参セシム
夕刻驟雨雷鳴アリ

壽美八午後茅町、龍岡町、鳥居坂二中元ノ挨拶二廻ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月10日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス
須田春治氏山本悌二郎氏蔵幅拾点ヲ持参預リ置ク
午后四時半退出小松旅館ニ下野氏訪問
此日会社ニ於テ社長室會議前發作的動悸アリ
此日読書会ニ本年六月ヨリ向一ヶ年間会費百弍拾円
ヲ全会ノ郵便貯金ノ口座ニ振込ム

【欄外】

〔欄外 右上〕

260、

【日記の日付…昭和9年7月11日（水）】

【予記 等】

「天気」

晴雨

【本文】

朝九時五十分望月圭介氏来訪政党ノ現状ニ付意見
ヲ交換ス

正午出社

午后山本*悌二郎*氏ノ蔵幅ヲ展観ス一モ意ニ叶フモノナシ
全四時半退出光悦ノ会合ニ臨ミ九時半歸宅雨降ル
此日温度ハ日中八十七度夜分八十四五度ニ過キザルモ宛
モ釜中ニ在ルガ如ク苦熱ニ堪ヘズ隣リノ小公園ニハ夜二時
ヲ過キ尚人声ヲ聞ク
橋本關雪氏ヨリ本月中旬出京豫定ノ返事アリ同時
清水六兵衛氏ヨリ朱錦飾壺代金落手ノ挨拶アリ

【欄外】

「欄外 右上」

100 100

【日記の日付…昭和9年7月12日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

老将会 后四時
幹事矢野恒太

万葉聴講会
后五時 口頭
華族会館 断

取引処制度諮問案
答申理事会
午后四時
出席

【本文】

本日ハ稍凌キ易シ十一時出社々長室會議ニ列ス
社長ニ望月氏来訪ノ趣意及山本氏画幅ノ件ヲ話シ社
長一覽ノ為メ拾点共持歸ラル
后四時工業俱樂部ニ赴キ蠶糸対策取引処改善
答申案ノ二案ヲ審議ス蠶糸対策ニ關シテハ藤原、結
城、四条等ノ反対意見アリ今一應委員會ニテ審議ス
ルコトトナル取引処改善答申案ハ原案可決
六時退出新喜楽ニ於ケル老将会ニ臨ム藤原氏ト手合セ
全敗食後児玉氏ノ手合セ一勝一敗九時半歸宅
温度遽ニ下リ夜分七十度トナル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月13日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

本日温度六十八度寧ろ寒サヲ覺ユ十二時出社
后式時半社長ヨリ社員配当株（重工業）ニ付意見ヲ聴
ク

松村亀太郎氏来訪

重工業会社在来ノ功劳者ニ対スル贈與金ノ原案ヲ作成
ス

四時半退出歸宅

夜分下河津村役場ヨリ家屋税檢定ノ委員撰擧ニ關シ

住所及生年月ノ問合セニ返事ス

少シク気分悪シ、

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月14日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

午前十一時出社々長室ニテ会議ヲ開キ重工業株社員
割当数ヲ決定次テ電機会社申立ノ参事昇格ヲ承
認ス

社長ト協議重工業会社ノ功労者過去現在ノ重役格ノ
向ヘノ贈與金ヲ決定之レヲ斯波会長ニ傳フ

午后社長ト協議満州政府（中央銀行）ヘ貸金ノ利息引
下ケノ件ハ全政府ヨリ当事者タル朝鮮銀行ヘ交渉全

銀行ヨリ話アレバ考慮ス可キ旨船田氏ヲ以テ田中満州
政府理財局長ニ返事セシムルコトトス

四時半退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月15日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

午後一時半獨り吉祥寺ニ赴キトマト、茄子イーゲン
豆ナドノ野菜ヲ積ミ七時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月16日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔寒暖〕

寒シ

〔予記〕

病氣引籠

【本文】

昨夜半式時過キヨリ遽ニ肩壁ノ痛アリ堪ヘ難シ
朝八時戸田按摩ヲ招キ正午近ク迄治療ヲ享ケ漸
ク睡ル会社ヲ休ム
午前四時社長ヨリ佐藤要人博士ヲ送リテ診察ヲ享
ケシメラル博士ノ見ル処モ神經痛ニ過キス憂慮ニ及バ
ス尚今晚モ按摩セラル可シトノコトニ付夜八時再度戸田
ヲ招キテ治療ヲ受ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月17日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記 傍線部赤○〕

田金中ニ古稀ノ雅筵
ヲ開ク 后六時

【本文】

幸ニ温度低ク凌キ易シ朝八時戸田按摩来ル心世話
敷カリシ為メ動悸嵩ブル約三十分ニシテ治マル十二時近ク迄
治療ヲ享ク

三時出社毘沙門天ノ木彫ヲ觀ル非凡ノ出来ナリ（半成品）

四時半金田中ニ赴ク本日ハ先日会社重役諸子四十名ヨリ

余ノ古稀ヲ祝シ毘沙門天ノ尊像一軀寄贈アリタルニ対シ答

礼ノ為メ之レヲ招キタル為メナリ欠席六名主客三十五名大廣

間ノ床ニハ蓬萊ノ幅掲ケラレ下坐ニ舞台ヲ設ク開宴ト全時

ニ余ハ挨拶ヲ述べ關野聖雲氏ノ傑作ヲ称ヘ進ンテ毘沙門

天ヲ処望シタル余ノ衷情ヲ披歷シタルトキハ満坐寂トシテ声

ナシ了テ串田氏ノ代表答辭アリ今春皇儲御誕生ノ際賜リタル

天盃ヲ一巡シテ其流レヲ吞ム三宅川百太郎氏ノ謡曲アリ次テ伯耆

ノ講談（宮本武蔵ト笹野権三郎仕合）鞠千代ノ忠信りん弥ノ静吉

野山ノ舞踊アリ特ニ衣装付ノコトトテ鞠千代ノ忠信一段ト

見栄アリ一坐感歎惜カス来客ニハ別製關雪畫伯ノ

夫婦扇子ト二段重ネ菓子折ヲ添フ衆接待ノ至レルニ驚ク

九時半跡ヲ船田羽野両氏ニ依頼シテ歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月18日（水）】

【予記 等】

「天気」

雨

【本文】

温度六十八度外套ヲ着テ十二時出社
君塚勝彦氏加藤浦三郎氏処蔵刀小倉惣右衛門氏
ニ鑑定ヲ依頼シタル処宗近ノ銘ハ認メ難キモ京物初代
ノモノタル可シトノ鑑定書ヲ呉レタリトテ加藤氏ニ代リテ之レ
ヲ持参シ余ニ贈呈ス可シト云フ余之レヲ辞シ勉メテ師賢
郷傳來ノ由緒書ヲ詮索ス可シト傳フ
重役諸子陸續昨夜ノ挨拶ニ見ユ
四時半退出上野黒門町ニ立寄り六時半歸宅
今朝九時ヨリ十一時迄戸田氏ノ治療ヲ享ク
壽美内田山ニ赴ク

【欄外】

「欄外 右上」

500

【日記の日付…昭和9年7月19日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴 雨

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム了テ社長ト対談重
工業賣出株利益処分ニ付社長ノ意見ヲ聴取ス
須田春治氏山本氏ニ対スル当方ノ厚意ニ対シ唐画幅
三点ヲ寄贈ス
三橋信三氏ヨリ望月氏往訪ノ件報告アリ
午后四時退出歸宅
壽美ハ午后ヨリ内田山ニ井上叔母ノ病床ヲ見舞六時
歸宅病勢次第ニ面白カラズ
夜十時戸田按摩ノ療治ヲ享ク歸ル頃小雨降ル
暑氣盛返シ来ル
本日午后桶川氏来社峯ノ番人宅ニ電話器増設出願書
ニ調印シテ渡ス經費ハ年額四円ノ増加ナリ直ニ書留ニテ
下河津濱電話局宛發送セリト聞ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月20日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

峯ノ家計費トシテ
金貳百円也今朝桶
川重忠氏全処行ノ便
ニ托シ送金峯ノ勘定
本月十五日支払後貳拾
九円余ノ残金アリ

【本文】

午前八時町田氏邸ヲ訪ヒ商相ト明日社長会见ノ
場処ニ付打合ス処アリ
午前十一時出社ノ途次家庭事務処ニ茅町男ヲ
訪ヒ挨拶スル処アリ
社長ニ面会町田氏ト会见ノ模様ヲ話シ置ク

永

午后一時電通社ノ光柑星郎氏来訪米国通信團
ノ一行ニ婦人ヲ招ク可ク無余儀セラレ費用嵩ムニ付
更ニ更ニ寄附増額ノ依頼アリ表立チテハ外務省ヨ
リ依頼アル筈

全式時栗原彦三郎氏自己鍛鍊ノ刀劔三振ヲ持
参ス三ツナガラ中山師範士力過日試切リヲ行フタルモノナリ
目下出来上リタル百口ノ内余ノ撰定ニ任ストノコトナリシモ
余ハ子ノ快心ノ作ヲ得ハ満足ナリト返事シ置ク
三時半退出夜分又戸田ヲ招ク壽美晚餐後内田山
ニ赴キ十二時前歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月21日（土）】

【予記 等】

「天気」

曇天

「予記」

川開日延べ
后一時山内家ノ仙石稔
家令来訪豫テ預
リタル本年度収支豫
算案ヲ返納ス

中島前商相強制
収檻セラル

【本文】

朝十時五分前社長来訪昨日ノヲ踏ミ町田氏ト会
見ノ為メナリ町田氏続テ来ル会谈ノ要ハ外國人共同ノ事
業ニ対シ差別待遇ノ可否ニアリ商相全然其意見ニ
同意ナリ雑談時余十一時辞去余モ亦次テ出社
午前十一時半社長室会議ニ列シハル賓宅地買入ノ件ハ
一應断ル事ニ決ス

今朝橋本關雪上京鳥居坂杉戸ニ揮毫着手ノ段
取リトナル

午后社長ヨリ重工業株分配ノ件ニ付内談アリ
全四時退出歸宅

同五時高島屋ノ美術部長赤見氏關雪筆古稀

祝扇子二面ノ原圖貳幅ヲ持参ス揮毫料貳百円

表装料二重箱共七拾五円外ニ手数料壹割申受ケ

タシト云フ

夜九時戸田按摩来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月22日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇少雨

〔予記〕

川開キ決行

【本文】

朝十時半昨夜電話ノ召集ニヨリ鳥居坂邸ニ赴
ク串田氏鎌倉ヨリ全時ニ参邸社長ト三人重工
業株公開應募殺到ノ模様ニ付対策ヲ講
ズ加藤銀行常務ヲ招キ之レニ参加セシム了テ午
餐ノ饗ヲ享ケ式時半辞去歸宅
后三時少雨ヲ冒シテ吉祥寺ニ赴ク壽美全行
トマトー多額ヲ採集ス茄子、ジャガ芋、唐モロコシ
多量約二十貫余ノ収額ヲ積ミ八時過歸宅
全九時戸田按摩来ル此間壽美内田山ニ赴キ十一
時半歸宅侯爵未亡人衰弱次第ニ加ハル
少雨ニ係ラス川開キ決行サレタリト聞ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月23日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

正彦送金

【本文】

午前十一時出社々長欠勤

正彦ニ銀行振替勘定ニテ金参千圓向一ヶ年間
家計費トシテ送金ス

日本

中央史籍協会ニ金三十圓、中央報徳会ニ反マル
クス書籍代拾貳円余貯金口座ニ振込ム

今村真橘及服部兵次郎ノ両氏ニ重工業株ニ

關シテ返事ヲ出ス

午后電報通信社ノ木下秀夫氏ヲ招キ重工業会
社株公開應募申込殺到ニ対シ大衆ニ注意スル
処アリ

松村亀太郎氏来社四時退出歸宅

后五時網屋主人手代野田清重全道来訪国貞ノ
大小ヲ求メ（七百円）代金ヲ支払ヒ預リノ左弘行ノ刀ヲ
返還ス（千円ト云フ）網屋ハ白鞘利恒青江延次ノ大小
（千五百円）ヲ持参シタルモ拝見ニ止メタリ

【欄外】

〔欄外 右側〕

夜九時戸田按摩来ル

〔欄外 左側〕

才

光永星郎氏富士山頂ヨリ電報アリタ刻全社理事栗原廣ヲ
重工業株公開公告ノ件ニテ来訪之レヲ加藤武男氏ニ紹介ス

【日記の日付…昭和9年7月24日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇 少雨

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ臨ム
午后一時土居貞弥氏来訪
立原芳彦ニ重工業株応募ニ關シテ返事ヲ出ス
永原船田ノ両氏ヨリ三菱商事土曜半休ニ關シ
折衷案ノ説明アリ余ハ主義トシテハ全意難出来
旨ヲ主張シ置ク
昨朝海軍中将（豫備）兼坂隆氏訪問ノ際尚就寢
中未知ノ仁ナルヲ以テ面会ヲ断リ出社後其人トナリ
ヲ笹本（中将）重工業取締役ヲシテ取調ヘサセタル
処来訪ノ趣意ハ東郷元帥傳記編纂ノ顧問
トナリ費用ヲ要スルヲ以テ相談ニ出懸ケタリトノコトナルモ
本人ノ困窮ノ為メナルガ如シ向後注意ヲ要ス
四時半退出歸宅寿美内田山ニ赴ク
夜戸田来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月25日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

【本文】

朝社長ヨリ銀行重役会出席前会社ニテ面会シタ
シト電話アリ十一時出社面会ス重工業株割当并
ニ商事土曜半休ノ件ナリ少シク神経過敏ノ疑アリ
病氣再発ノ徴ニアラザルヤヲ恐ル了テ銀行ニ赴キ
重役会ニ列ス各務氏欠席午餐ヲ共ニシ一時歸
社

東京通信後援会寄附金五百圓ヲ三菱銀行ノ口
座ニ振込ム

后三時半退出歸宅

壽美齒科医加藤氏ノ學校ヨリ内田山ニ廻リ六時半歸宅
后九時戸田来ル

全時義介夫婦来訪十二時辞去雨降り来ル

此日三菱銀行ニ用紙（重工業株申込）貰ニ殺到シタル
人数営業時間二五千人ヲ超過ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月26日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

【本文】

出勤間際ニ少シク例ノ動悸アリ着更ヲ見合十二時半ニ到リテ出社此間壽美ハ九段ノ日本齒科院ニ赴キ加藤校長ノ治療ヲ受ク
十二時四十五分出社三宅川商事会長ハ土曜半休ノ件ニ付ヘマヲヤリタリ副社長ノ不平タラダラナリ
社長ハ明日ヨリ暑中休養ノ筈
四時退出歸宅壽美ハ午后大學病院ニ赴キ松井學士ヨリ注射ヲ受ケタリ
夜十時戸田来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月27日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

日本經濟聯盟會員
午餐会

駐米大使齊藤大使

招待 出席

海事協會評議員会

水交社午前十時

断

郵船重役会

后式時

【本文】

朝九時市来乙彦氏来訪三重株式千株幹施依

頼アリ断ル

モトジ

泉二新熊（司法省刑事局長）稲垣三郎（陸軍中将

閑院宮別当）ノ両氏来訪面会ノ余裕ナキヲ以テ断リ明

日一時ヨリ式時ノ間ニ会见ヲ約ス

十一時半出社馬淵鋭太郎氏ノ紹介ニテ徳田

来訪千田氏ヲシテ面接セシム慈善團體費ニ宛ツル

ガ為メ弍十万株申受ケタシトノコトナリ馬鹿氣タル要

求拒絶ス可シト命ス

十二時廿分工業俱樂部ニ赴キ日本經濟聯盟主

催齊藤駐米大使歡迎午餐会ニ臨ム串田國內部長

ノ挨拶ニ対シ齊藤大使ノ答辞アリ式時退出直ニ郵

船会社ノ重役会ニ列シ三時退出池ノ端雨月荘ノ会合

ニ臨席八時歸宅

常盤屋ノ酒井正吉氏（麻布霞町一九）ヨリ残花帖ヲ

贈ラル

【欄外】

5
0
0
1
0
0

「欄外
右上」

【日記の日付…昭和9年7月28日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

麒麟ビール総会午前九時

大阪商船総会

社長ヨリ春日局

木彫ヲ贈ラル

【本文】

天候漸ク回復ス温度八十度十一時出社々長室会議
ニ列ス

金田中ニ於ケル過日ノ古稀祝ノ費千八百七拾七円拾
錢ヲ支払ヒ外ニ女将ニ骨折料百圓ヲ贈與ス

后式時半昨日馬淵氏照会ノ徳田 氏本日泉二、
稲垣両氏ノ代理トシテ来ル趣意ハ昨日ノ通り但

シ三菱重工業株ハ千株―五百株ニテモ苦シカラズ
トノコトナリ船田氏ヲシテ應接セシメ之レヲ断ラシム

社長ヨリ古稀祝トシテ高村光雲翁七十九歳（昭和
五年）木彫春日局ヲ贈ラル感謝ニ不堪

四時退出池袋ニ橋本關雪子ヲ訪フ不在歸途巢
鴨ニ母ヲ省ス復不在墓参ノ留守ト云フ

夜九時半戸田来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月29日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

盛暑ニ立歸リ正午九十一度ニ上ル朝八時橋本關雪氏子息節哉愛孫ト共ニ昨日往訪ノ挨拶ニ来ル鳥居坂男爵邸ノ枕戸ヲ仕上ケ本日退京スルトノ事ナリキ

午前十時四十五分鳥居坂岩崎邸ニ昨日祝物ヲ贈ラレタル挨拶ニ赴キ名刺ヲ通シテ直ニ内田山侯爵未亡人ノ病状ヲ見舞フ稲田、吉本両博士、井上三郎森祐三郎夫婦伊藤博通鮎川義介、松平雪子

等其席ニアリ余ハ久原清子ノ案内ニテ末子未亡人ノ病床ニ至ルスヤスヤト眠リ居ラレタリ本日熱ハ下リタルモ衰弱ハ加ハレリトノコトナリ十二時歸宅

后式時田坂一郎氏来訪

全三時吉祥寺ニ赴ク壽美全道ナリ多量ノ収額ヲ滿

載シテ八時歸宅壽美ニ古稀祝ノ扇子揮毫料其他

高島屋ニ可支払モノ宛ニ三百円ヲ別ニ渡ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月30日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

九州送電会社総会

【本文】

復々梅雨模様ナリ十一時出社々々長串田、斯波、永原、船田及余ヲ召集シテ重工業株配当ニ付テノ意向ヲ傳ヘラレ午后式時銀行ニ赴キ常務ニ全様ノ趣意ヲ傳ヘラレタル筈ナリ

午后三谷鉱業会長ヨリ全社重役会終了後台湾ニ設立セラル可キアルミニウム会社ノ件ニ付留守中タカ才海軍用地ノ買収取極メハ自分ノ意志ニ反スルモノナルニ付経営主体タルヲ辞退スル意向ナル旨話アリ全意ヲ表シ置ク

鳥居坂男爵（社長） 關雪杵戸ノ黎明（鴨下降）満足ノ出来ナル旨話アリ

四時退出歸宅留守中神楽坂前警察署長警視

飯島一氏新任署長警視頭太郎（野呂）氏全道挨拶ニ来ル」 壽美内田山ヲ見舞フ

夜分九時戸田来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年7月31日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

午后一時福井菊三郎
氏本社来訪序ニ我
室ニ立寄り三男素夫
氏ト伊藤忠兵衛氏女
ノ間ニ婚約成立明
年四月擧式ノ旨報
告アリ

【本文】

復々温度下ル十一時出社々長室會議ニ臨ム
午后一時半鳥居坂邸ニ至リ關雪揮毫ノ枕戸ヲ觀ル
筆力健剛構圖ノ妙共ニ賞スルニ足ル社長ハ余及羽
野ニ相談シ潤筆料六千圓ヲ贈ルコトトナレリ社長
ト全乗歸社ス
四時退出歸途丸ビルニ立寄り郵知新聞主催ノ東
郷元帥展ヲ觀其揮毫ノ書幅ノ数多キニ驚ク
五時半歸宅壽美ハ井上侯爵未亡人ノ重体ヲ聞キ
四時過キ内田山ニ赴キ全邸ニ宿泊スルコトトナレリ
壽美ハ今朝加藤椋*院*長ヨリ入齒ノ補修改善ヲ受ケ午
后ハ帝大医科ニテ松井助手ノ注射ヲ受ケタリ内田山ノ
悲報ヲ聞キタルトキハ貴志甥子来リテ話中ナリシト云フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月1日（水）】

【予記 等】

「天気」

曇雨

「予記」

日本経済聯盟茶話

会正四時

島田三井物産倫敦

支店長講話

断

【本文】

尚梅雨ノ気分ヲ脱セス壽美今曉未明ニ歸宅

十時九段日本齒科ニ赴キ加藤院長ノ治療ヲ享

ク下齒三枚ヲ抜ク齧ノ固マル迄当分ノ仮齒ヲ造リ呉

ルノ筈ナリ十時四十五分出社

重工業株賣却利益ノ処分案ニ付社長ヨリ相談

アリ副社長ニ説明ノ為其原案ヲ預ル

河手鋳業常務ヲ招キアルミニウム会社台湾高雄

ニ敷地買入ノ議案通過ノ経緯ニ付吉田一郎氏ノ体

度ヲ審問シ其要領ヲ得之レヲ船田理事ニ話シ置ク

三時退出歸宅末子未亡人ノ容体險惡ナリト聞キ直

ニ全邸ニ赴ク一時小康ヲ得昏睡ノ体ナリ今朝再ヒ

全邸ニ詰切リタル壽美及鮎川美代子ト全乗五時

頃歸宅

五時半三谷鋳業会長来訪吉田一郎氏陳謝ニ出デ

タリトノ報告アリ此機会ニ行違ヒハ水ニ流ス可シト傳ヘ置ク

【欄外】

「欄外 右側」

夜十時半戸田来ル

【日記の日付…昭和9年8月2日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

井上侯爵母堂
逝去

【本文】

壽美ハ井上叔母ノ經過ヲ氣遣ヒ昨夜半再度
全邸ニ赴キタリ
午前十時侯爵母堂益々切迫稲田博士再ヒ来診
トノ電話アリ全時ニ壽美ハ齒痛ノ為メ日本齒科ニ
赴クトノコトニ付十一時出社直ニ車ヲ内田山ニ廻ス
一時侯爵母堂○時廿四分事切レタリト宅ヨリ電話
引続キ小堀壽美ヲ日本齒科ニ迎ヘテ内田山ニ送
リ壽美辛シテ臨終ニ間ニ合ヒタリト聞ク
一時半母堂ノ隱居家ニ至リ井上三郎氏森祐三郎
松平慶民夫婦ニ吊ヲ述ブ壽美ハ最后ノ化粧ヲ
叔母ニホトコシ終テ来会ノ一仝焼香ス
五時四十分遺骸ヲ本邸ニ移ス七時壽美全道歸
宅

十時井上貞子夫達五郎全園子慶子ト共ニ上京宅
ノ為メニ伴ヒ来リタル女中リつ全道来泊ス達五郎氏
外両娘ハ駿河台井上方面ニ赴キタリ
社長箱根ニ避暑

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月3日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

昨夜ヨリ来泊ノ貞子夫人ハ今朝辞去達五郎氏ト井上侯爵邸ニ赴カレタル筈ナリ

十二時日本齒科ニ赴キ加藤院長ヨリ下顎ニ仮歯ヲ作リテ嵌メラル余リ具合宜シカラス三十分斗出社ノ上歸宅

午后七時壽美ト共ニ内田山ニ赴キ納棺式ニ臨ム僧侶ノ御経ノ了ルヲ待チ九時歸宅壽美ハ居残りテ通夜ストノコトニテ其意ニ俟ス壽美ガ病軀ヲ押シテ叔母ノ看護慰問ニ勉メタルハ親類其他ノ認ムル処ニテ昨日モ井上三郎氏吉本博士ヨリ余ハ感謝ノ挨拶ヲ受ケタリ
至然余トシテハ寧ロ其結果ノ如何ヲ憂フルモノナリ

昨日ヨリ夏モ漸ク本格ニ入リタル如シ
十時戸田按摩来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月4日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

井上末子未亡人営葬

【本文】

午前十時ヨリ親族間ノ法要始ルヲ以テ壽美ト井上貞子
三人全乗内田山本邸ニ赴ク壽美貞子ハ通夜ヨリ今暁
五時半歸宅纔ニ弔時間眠リタル已
法要十一時終ル午后弔時ヨリ一般ノ告別式ニ移ルヲ以テ此
間全処ニ止マリ八窓庵其他ヲ見廻リタリ
告別式ニ来会シタル仁ハ約千名位ト覺ユ流石ニ外交官
夫人トシテノ生活ノ名残ナリ三時十分終ル余ハ重工業
株ノ件ニ付会社ニテ余ノ出社ヲ待ツアルヲ以テ出棺ヲ送
ラスシテ会社ニ出頭串田、船田、永原三氏ト協議ノ上
明日午前中串田、永原、斯波ノ三氏ヲ煩ハシテ芦ノ湖
畔社長ノ別邸ニ赴キ＊配当ニ付＊社長ノ再考ヲ促カスコトトス
五時半歸宅壽美ハ已ニ歸リ居レリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月5日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇驟雨

【本文】

壽美及貞子ハ末子侯爵母堂納骨式立合ノ為メ十時
長谷寺ノ墓処ニ赴キ十二時歸宅
午後一時半井上達五郎氏來訪貞子ハ夫ト共ニ親戚
ヘノ挨拶ニ出懸ク
后三時壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴キトマト―未曾有
ノ収額アリ其一部ヲ載セテ歸宅干時六時四時半
ヨリ五時過迄吉祥寺辺大驟雨アリ
久原鮎川近藤藤田ノ兄弟姉妹ト共ニ壽美ハ
星ヶ岡ノ茶寮ニ井上達五郎夫婦及園子菊子ノ四人
ヲ饗應十時半過歸宅此降間戸田按摩ノ治療
ヲ享ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月6日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

【本文】

本日ハ正午九十度以上ニ昇ル朝九時鳥居坂邸ヨリ社長ノ書面ヲ特送シ来ル

九時半永原氏ヨリ昨日芦ノ湖別邸ニテ協議ノ件

ニ付報告アリ

十一時日本齒科ニ赴キ加藤院長ヨリ入歯ノ手直シヲ受ケ十二時半出社

午餐後永原串田後レテ加藤武男（串田氏全伴セリト

聞ク）諸氏ヨリ社長ト協議ノ結果ヲ聴取ス最低五株

ニ引下ケ最高百株トシテ配当ヲ試ミシムルコトトス尚

其趣意ニ付書面ヲ以テ一様ニ新聞社ニ報告スルコトトス

副社長今晩出発小岩井ニ立寄り北海道ニ出張ノ筈

四時退出途次調髪六時歸宅壽美老母ニ傳言ニヨリ

巢鴨ニ省ス話ハ鐘紡払込ノ件ニテ実印ト通帳ニ預

リ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月7日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇天

【本文】

午前十一時出社重工業株割宛標準ヲ決定ス
午後一時半松村亀太郎氏来訪
クライスラー、エアーフロー八気筒自動車ノ乗試ヲ
為ス

三菱重工業割当ニ付テノ宣告文案ヲ修正是認
ス

全時ニ社内ノ割当標準ヲ仮定シ理事会ニ諮フ
事トス

后四時退出持参ノ六気筒三十四年形クライスラーノ
乗試ヲナス全半帰宅

此日増田屋ノ中村房次郎氏ヨリ返翰来ル書辞

無礼ナリ其俣船田氏ヲ介シテ三宅川会長ニ渡ス

初七日待夜ニ付壽美貞子ト共ニ内田山ニ赴キ十一時
帰宅九時戸田来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月8日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇 夜雷雨

〔予記〕

六時壽美ト共ニ再度クライスラー、エア
ー、フローノ気試ヲナシ
之レガ購入ヲ口約ス
代金八千三百円也

東京クラブ斉藤駐
米大使歓迎会

蜂龍后六時半
断

【本文】

朝七時半起床洗面処ヨリ歸レバ例ノ動悸ヲ感ス再
ヒ平卧療養ス忽チニシテ治ル八時光村利之約ニ先ツ
一時間来訪面会ノ為メ起キ出ツレハ復動悸起ル依テ
面会ヲ断リ静養ス此間壽美ハ貞子ト共ニ井上
叔母初七日ノ法要ニ付長谷寺ヨリ内田山ニ赴キ十一時
歸宅

十一時朝餐ヲ終ヘ十二時出社南洋コム三拾五株券
壹枚ヲ保護預ケトナス

串田氏ヨリ芦田均氏経営ノチャパタイムス相談役依頼
ノ件ニ付話アリ承諾セラル可シト話シ置

松田製鐵常務、三谷鉱業会長引見三鱗会社ヨ

リ陳情ニ対スル返書案ヲ一覽三谷氏ニ渡ス

山室宗文氏ヨリ串田会長及加藤常務ノ頃日ノ動作ニ付
不満ノ陳情アリ

四時歸宅壽美染井ニ父ノ命日ニ付墓参ス

夜分書面ヲ認メ重工業株割宛ノ大要ヲ元箱根ノ社長
ニ報告ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月9日（木）】

【予記 等】

「天気」

曇

【本文】

午前十一時半出社

午后倉成文太来訪本人ニ注意スル処アリ

重工業株賣出利得金公共事業ニ寄附声明書案ヲ

訂正シ之レヲ船田氏ニ渡シ置ケ

三時半退出丸ビルニ立寄り縣物産販賣所ニテ秋田

塗茶筐（四円）久留米ランタイ茶器入（拾円五十錢）ヲ購

フ

明日箱根ニ避暑ニ付書斎机上ノ片付ヲナス

秀雄長女ノ為メ撰択シタル婿ノ写真ヲ平沢幹氏

ニ会社ニテ返却ス

【欄外】

「欄外 右上」

八せん

【日記の日付…昭和9年8月10日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

箱根別荘行

【本文】

午後一時廿五分中央驛発壽美貞子全道箱根ニ向フ
料理貴志文四郎ハ二番汽車、女中、とし、律女ノ二人
ハ十分五十分ノ汽車ニテ先登ス

三時八分小田原着自動車ニテ四時四十分頃強羅別
邸ニ入ル冷氣ヲ感ス山風強シ喜太郎来ル

騒音を避けて来りし山家にも風吹き
すさみ木葉乱るゝ

立秋のけちめはしかとわかねども澄行空に
それと知らるゝ（立秋八日）

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月11日（土）】

【予記 等】

「天気」

雨

【本文】

前日来風強シ終日引籠居午后一時過灌腸三時
快便アリ

⊙⊙（十二日続き）

多分今夕箱根町ノ流燈会ヲ台覧ノ為メナラン
殿下ノ新御別邸ハ仙郷楼ノ上隣上屋侍従別荘ノ上手ニ
アリ茅葺ノ御殿ナリ全所ヨリ急ニ変シテ濃霧ノ跡ナシ強
羅全様ナリ自動車拾五円ヲ支拂フ
夜分三谷一二氏来訪昨夕来山明朝歸京スト云フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月12日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

漸ク本格ノ晴天トナレリ午后式時ヨリ富士屋ノ自動車（三四年式ハドソン運轉手小山清治）ニテ壽美貞子貴志ヲツレ仙石原ニ遠乗シ温泉土地ノ新開地ヲ見ル道路工作能ク整ヒ新規ノ別荘モ点々建築セラレ一見頗ル風光ニ富ム只憾ムラクハ樹木ノ陰蔽ナク風雨ヲ真鋒ニ受ケ加フルニ霧深く避暑地トシテハ感服ス可キニアラズ自動車ヲ箱根町ニ廻シ四人ハ湖尻ニテモータボート一隻ヲ借受（六圓）茅＊芦＊ノ湖ヲ横断途中逆サ杓ヲ視ル天氣ノ都合ニテ今回始メテ明瞭ニ視ルコトヲ得タリ末口径約六七寸蛇蝸色ノ直立シタル化石ナリ

幾千代の古話しを水底にひそみて語るさかさ杓かも
湖中ハ濃霧右岸ヲ鎖シテ一見宏漠大海ノ如シ箱根町ニ上陸
全所ノホテル撮影再ヒ自動車ニ乗リ關所ノ旧跡ヲ歴テ権現ノ森ヲ通スル縣道ヲ疾走再度湖尻ニ出テ往行ノ途ヲ経テ歸莊
途中團未亡人及東伏見宮大妃殿下ノ御車ニ遭遇シタリ



【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月13日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

夕刻ケーブルニテ壽美貞子全道早雲山麓ニ登リ道了
分院ニ参詣ス山麓ニ宏壮ナル旅館ノ新築セラレタルヲ見ル館
主頓狂庵主人ハ元強羅館ノ客引三助ヨリ身ヲ起シテ強
羅公園下麵麦屋ノ主人トナリ今復一躍シテ三階二十五室
旅客百名ヲ収容スルノ大建築ノ主人トナリタルニ驚ク道了
ニテハ伊藤豊一氏ノ母堂妻兒ニ会合シタリ目下院内ニ宿
泊スル者約百三十名一泊壱圓ノ冥加金ヲ納ムト云フ埜内清
涼好箇ノ避暑地タリ夏季遽信者ノ群集スルモ宜ナリ
壽美別庵ニ片桐慈光尼ヲ訪フ不在ナリ新橋昔シ老妓
松壽ノ語ル処ニヨレハ慈光ハ元名古屋ノ娼妓新橋ニ出テ、藝
者ノ置屋トナリ菊五郎ノ妻勝利モ其抱ヘナリシト彼レガ觀翠
楼主人ノ妾トシテ強羅館ヲ經營シタルハ皆ノ知ル処ナルモ一福
営業ノ頃草郷清四郎氏ノ世話トナリ居タルコトハ松壽ヨリ始メ
テ承知セリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月14日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

無為

明け方に蝸なきて日は茜

かしましき蟬のしぐれに昼寐覚め

夕暮れに團扇忘れて門に立ち

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月15日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

【本文】

最上ノ天氣ナリ后式時社長ヲ芦ノ湖畔見南莊ニ訪問ス磯五郎
随伴手土産トシテ例ノ宮城野蕎麦八人分ヲ秋田製茶櫃
ニ入レ壽美ヨリハ夫人ニ八見皿箱入令嬢ニ湯本人形ヲ贈ル社長
ヨリ久田宗近（宗栄~~ヰ~~＊也＊）ノ手前ニテ薄茶ノ馳走ヲ受ケ閑
談三時間佐藤要人医博及京都ヨリ来リ居レル杵の井、ノ
お政モ会合セリ
社長ヨリ茶室ニ近キ「ドオダン」ノ繁ミニ鶯ノ巢ヲ教ヘラルニ、三
日前稚鳥ハ巢立チタリ卵ハ桃紅色ナリト聞ク
五時過退出歸路小涌谷三河屋ニ原田熊雄氏ヲ訪フ歸京不在
山本母兄再登山居合セタリ約束ノ寄附金百圓ヲ依頼シ六時
歸莊自動車賃拾三圓（外ニチップ一円）ヲ支払フ
寿美ハ留守中貞子貴志ト湯本ニ下リ玉垂レノ瀧ヲ賞
シ全所ニテ伊藤博精公ノ一族ニ遭遇撮影セリト聞ク余ト
前後シテ歸莊

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月16日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴驟雨

【本文】

朝来絶好ノ晴天大ノ字點火モ無事ニ行ハル可ク豫記シタル
処一時半ヨリ驟ニ雷鳴夕立ノ気味アリ雖然二時ヨリノ公園
宝探シハ豫定ノ通り敢行セラレタ刻ノ點火モ雨上リトナリテ
首尾能執行セラレタリ

正午ノ頃莊素彦山北工場ヨリ処長ノ使トシテ鮮鮎數十
尾ヲ持参ス内十三尾ヲ康弥君別邸ニ五尾ヲ島村金次郎
氏夫人ニ贈ル莊氏ハ午餐ヲ共ニシ一時半辞去

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月17日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

箱根ヨリ峯ニ向フ

【本文】

朝十時廿分別荘発富士屋小山清治操縦ノ自動車
ハドソンニテ一行五*六*人芦ノ湖ヲ歴テ鞍掛山麓ヨリ自動
車専用道路ニヨリ三島熱海街道ヲ右折軽井沢ヲ
通過シテ大場ニ出テ大仁ヲ経テ十一時四十分修善寺驛
ニ着弁当ヲ喫シ峯ヨリ迎ニ来リ居タル佐藤ノ車ニ女
中とし女、律女、貴志ヲ分乗セシメ天城山ヲ越ヘテ三時
峯ノ別荘ニ入ル修善寺発○時半途中旭、浄蓮ノ
両瀑布ニ立寄りタル為メ約一時間ヲ余分ニ費セリ富
士屋ノ車ハ三十四年式ハドソン八気筒ナルモ賃銀三十七円（
外ニ一圓ヲ與フ）ノ請求ハ高過ギル心地ス更衣前矢ッ園内ヲ
一周ス次第ニ改善セラル、ヲ喜ブ邸内涼風四方ヨリ襲
ヒ来リ少シモ苦熱ヲ覚エス壽美貞子モ全様意外ノ
感アリ

【欄外】

【日記の日付：昭和9年8月18日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

余ハ午睡ス此間壽美ハ貞子律女全伴今井ノ濱ニ遊
ブ歸リ来リテ持参ノ弁当ノ貧弱ナリシヲ語り返テ興
シアヘリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月19日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

貞子ハ午后一時半佐藤ノ車ニテ單獨歸途ニ就ク夕
六時已ニ弁天町ノ宅ヨリ安着ノ報アリ全人明夕退京
ノ豫定ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月20日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

此夕十一夜ノ月ハ澄ミ皎々トシテ白日ノ如シ晚餐夫婦
貴志、牧太郎兩人全道田中部落ヨリ旧縣道ニ沿ヒ城
山ノ下ニ出テ引返シテ木ノ宮ヲ經テ歸莊ス涼風襟ヲ
吹テ快云フ可カラス

大杉の梢にかゝる弓張の月影写す庭の池水

タモト

月たゝゑそゝろあるきに夜は更けて快すゝしく

山風吹く

軒ならぶ出湯の宿にあかりして月夜に添ふる

眺め涼しも

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月21日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

日盛りの暑さ凌きに立寄れば木陰をわたる

山の涼風

此夕復夫婦打連レ牧太郎ヲ供ニ三根橋ノ半途迄
散歩ス月代白シ途中玉峯館主人ニ会合ス今井ノ
濱ニ沿フテ聳ユル古城趾城山ハ景山某ノ居城タリシヲ
相對スル天嶺山ノ敵ニ攻落サレ城趾ニ今尚焼米ヲ發
見ストノ話ナリ時代相手方共取調ヘタキモノナリ

景山ハ蔭山ナル可シ大日本人名辞書蔭山貞廣ノ項ニ幕府
御書院番士足利持氏ノ七男廣氏三歳ノトキ乳母ニ擁セラレ伊
豆国ニ隠レ外縁ニヨリ蔭山氏ノ許ニ生長後婿トナリテ其家
ヲ継ク貞廣ハ六世ノ孫ニシテ氏廣ノ子母ハ北条治部大輔
氏隆ノ女姉ハ家康ニ仕ヘタル方ニテ徳川頼房ノ母
ナリ家康ニ仕ヘ御小姓ヲ努メ武州兒玉郡ノ内ニ米地千石（後ニ
百加増元和元年秀忠参内ノトキ従五位下因幡守ニ叙任ス云々

【欄外】

【日記の日付：昭和9年8月22日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

朝驟雨アリ

ケサ

打つゝく日照りにあへく草も木も今朝の
さだちによみかへりけり

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月23日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇驟雨

【本文】

前夜ヨリ度々驟雨アレトモ蒸熱シ夕方迄晴曇常
ナシ朝九時半河津濱黒田重兵衛氏来訪伊豆節

二十壺本ヲ贈ラル来訪ノ趣意ハ湯ヶ野附近ノ金鉾区約

七十万坪取調へ依頼ノ件ナリ鉾区圖写ヲ送ラル可シト申
置ク

雨ノ為メ職人ハ半日休トスタ刻ヨリ雲薄十四日ノ月出ヅ

夜半蒸暑ク寐苦シ、

ふりたらぬ雨に気温の高まりて寐られぬ床に

團扇せんなし

寐苦しき夜半の妻戸を開け見れば黒雲低く

月をかすむる

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月24日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

朝小雨降ル本日ハ壽美ノ誕生日ナリ赤飯ヲ焚テ之
ヲ祝シタハ特別ノ網打ニテ漸ク二尾ノ鮎ヲ河津川
ニ得テ食膳ニ上セタリ職人四名（牧太郎ヲ含ム）ニ酒
手五圓ヲ與フ夜半後雲霽レ望月皎々タリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月25日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

朝三好、船田両氏宛ニ返書ヲ認メ十一時特ニ河津
濱郵便局ニ持参セシハ三時發送ノ間ニ合フ為メナリ
薄暮ヨリ十六日ノ月時々顔ヲ表ハス

吉祥寺ヨリ移植シタル庭ノ百日紅ノ小木花盛リヲ
愛テ、

百々日まで紅なりと誇り氣に花なき庭を

彩りにけり

自動車屋佐藤ニ三度分（修善寺ヨリ、今井濱行、熱
海貞子送り）廿五圓ヲ支払フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月26日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

上々ノ天気炎熱焼クガ如ク宛モ土佐ノ暑サニ酷似ス
雖然空氣ノ乾燥セルト通風ノ宜シキ為苦熱ヲ覺エズ
午后四時玉峯館主人來訪

夜分月朗ニ星斗爛々タリ池辺ニ椅子ヲ据ヘ壽美貴

志牧太郎天ヲ仰キテ之レヲ賞シ十一時迄屋内ニ入ラズ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月27日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午后一時廿五分峯別邸発佐藤ノ自動車ニテ貴志
文四郎ヲ伴ヒ熱海ニ向フ四時全所着四時廿五分ノ
準急ニ搭乗六時分東京驛着貴志ト別レ出迎ノ新
規買入ノクライスラー、エア―フロ―形ニ乗リ本邸ニ歸
着

今朝出發前壽美ニ参百五拾円ヲ手交シ尚牧太郎
ニ今来両月分支払用トシテ金四百圓ヲ手渡シセリ
夜分調髪寐苦シカラズ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月28日（火）】

【予記 等】

「天気」

晴

【本文】

午前十時半出社
午後一時半八州自動車株式会社玉井壮士ニ新旧クラ
イスラー交換差金七千三百円ト九月分税金五拾円
五錢ヲ支払フ旧車ハ見積リ千圓ナリ
三菱重工業株百株引受ニ付金六千五百圓ノ小
切手ト申込書并ニ印鑑ヲ久埜氏ニ托シ置ク
全式時半工業倶楽部ノ中村元督氏来訪来月廿五
日米国ハワード氏系新聞社員ヲ聯合団体ニテ倶楽
部ニ招待ノ件相談ノ為メナリ
三時半退出池ノ端ノ例会ニ顔出シヲナシ九時半歸宅

【欄外】

「欄外 右上」

500 100

【日記の日付…昭和9年8月29日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午前九時小林茂ヲ招キ本人給料ノ外ニ別荘経費
宛二百七拾圓ヲ手交全時小堀ノ給料ヲ支払フ
全十一時半出社
午后重工業ノ原取締役ヲ招キ軍艦三隈ノ望遠鏡
佐世保ヨリ運搬受入ノ際紛失ノ件ニ付糺ス処アリ
三時半退出歸宅
夜分女中書生ノ給金ヲ支払ヒ外二月末支払用トシテ
金千百円ヲ井上ニ手渡ス
夜半ニ及ビテ雨降ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年8月30日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

昨夜半ヨリ今曉迄雨、降止ミタルモ朝来蒸暑
シ后尅時廿五分ノ汽車ニテ箱根ニ向フ貴志中央驛
ニ来リ会ス三時十分小田原着全処ヨリ自動車ニテ全
四十五分強羅別荘ニ入ル壽美門前ニ出迎フ約尅時間
前とし、律両女ト共ニ峯ヨリ到着シタリトノ事ナリ下
界ハ蒸暑カリシモ宮ノ下辺ヨリ頓ニ冷氣ヲ覺ヘタリ

【欄外】

【日記の日付：昭和9年8月31日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

昨夜半ヨリ雨冷氣次第ニ加ハリ華氏六十七度ニ下ル裕
ト裕羽織ヲ着ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月1日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

豪雨

【本文】

本日ハ弐百十日ナリ風ナケレトモ終日小止ナク雨降ル

ハガイ

小止みなき雨に寐衾を求めかね翼おもげに
山鳩の啼く

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月2日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

午后三谷一二氏来訪

夏過ぎて衣手さむく覚ゆなり袖の下より

秋風のたつ

たへかねし夏の暑さもいへしかに夜風身に

―む秋は来にけり

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月3日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

小雨霧深

【本文】

午前十時半過芦ノ湖畔岩崎別邸ヨリ直人ヲ以テ湖
水ノ鱒七尾ヲ贈ラル直ニ午餐ノ食膳ニ上セ之レヲ賞
味シ入レゾメトシテ今朝小林喜太郎ヨリ贈ラレタル蜀
黍拾壺本ヲ以テス

山里の庵にも秋は音信れて垣ノ糸萩咲乱
れけり

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月4日（火）】

【予記 等】

「天気」

曇霧深シ

【本文】

コサメ

今日もまた山家は霧に鎖されて細雨に
かるく萩の花散る

壽美ハ明朝井上叔母五七日ノ法要ニ参列ノ為ニ時
四十五分ノ電車ニテ單獨下山六時過東京安着ノ
報アリ小田原ハ天気宜シトアリ

明＊来ル七＊日ハ宅之助三回ノ誕生日ニ付上等ビスケット一罐玩
具一個ヲ小包ニテ送り尚明朝今一個ノ玩具ヲ送ルコト
トス

庭内樹木ノ葉刈ヲナス夕刻ヨリ復雨フル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月5日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

鷲カケス

【本文】

気温六十四度ニ下ル

鷲

・ かけす飛ふ羽風におどる柴栗の落葉に
秋は深み行くなる

午時散歩船田氏ニ桐板ノ端書ヲ出ス驛前ニテ杵原
栄三郎氏ニ会合ス

宮城野駐在巡查高橋弘次氏挨拶ニ見ユ

避暑客ノ引揚げたりし山里の湯場の夕暮

さびしかりけり

・ 山徑を歌ふてとほる村人の聲しめやかに秋雨
のふる

新聞にて楓の虫退治ノ良法ヲ知ル青酸加里又ハ硫化
炭素ヲ用ユルコト

壽美四時廿五分ノ電車ニテ東京ヨリ歸莊

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月6日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇少雨

【本文】

庭内手入ノ植木職一人前后四日本日手入レヲ終ル酒手
壺圓ヲ與フ

夕刻壽美ト公園ノ外廓箱根土地方面ヲ散策ス

青空に夕やけ仰く喜びも復雨雲にかき消

されけり

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月7日（金）】

【予記 等】

「天気」

半曇

【本文】

昨日来便通ナシリスリン灌腸ヲ試ム快便アリ
秋風のわたるも知らで蝶二つ姫撫子の花に
うかるゝ
あやにくに萩は咲けども宵闇に露に宿らむ
月影もなし
花薄行かふ人の袖とめてわびしき秋をかこち
がほなる
一本の末野に立てる女郎花手折るもおしき心地
こそすれ

オミナベシ ケハイ

繕川の岸に誇りし女郎花水を化粧の鏡とや
みむ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月8日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

八日会后六時
幹事土方、藤山、
岡田首相招待
出席返事

【本文】

午后三時半貴志全道自動車（運轉手中山太郎）ニテ
下山ス先日余等ノ一行ヲ峯ニ送リタル運轉手小山清治ハ
支那人ニ雇ハレ一両日前出發俱ニ歐洲ニ赴ク筈ト聞ク
壽美ハ律女ト共ニ小田原ニ井上ちか女ヲ迎ヘ明後日再
應峯ニ赴キ井上ニ全所見物ノ機会ヲ與フル為居殘レ
リ

四時四十分小田原發六時六分新橋驛着直ニ山口ニ
於ケル八日会ニ臨ム岡田首相事ニ托シテ来会ヲ断リ床次
通相ヲ賓客トス郷池田中島三氏欠席九時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月9日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

驟雨半曇

【本文】

本日ハ九州表ニ襲来シタル台風紀州沖ヲ歴テ午后房
州南端ヲ通過スルトノ警報アルヲ以テ強風ヲ豫期
シタル処北々東ニ進路ヲ変シ九州ヨリ日本海ニ突進
シタルヲ以テ東京ハ風害ヲ脱シ朝来驟雨アリタル已ニ
テ午后ヨリ次第第二天候回復アリ
午后一時半手土産トシテ到来ノ葡萄及蜀黍ヲ持参
巢鴨ノ母ヲ省シ歸途染井ニ展墓上野方面ニ迂
回ス
とし女夕刻箱根ヨリ歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月10日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝十時五十五分ノ汽車ニテ女中頭井上ちか女峯ニ赴ク
壽美小田原驛ニテ強羅ヨリ来会全行ノ筈
午前十一時出社 理事

食後三谷鉾業会長引見 府立工藝學校長 帝大教授
文部省実業学務局長菊地豊三郎、近藤栄助、佐藤寛次
ノ三氏来訪実業教育五十*周*年紀念会副会長長委囑ノ為メ
ナリ総裁閑院宮殿下、会長清浦伯副会長ハ文政
審議会委員タルヲ以テ余ト有賀ノ両氏ニ文部事務
次官ヲ宛ツル筈ト云フ承諾ノ旨返事ス
日本大學教授小松雄道シ大學教授聯盟会ノ件ニ
付来訪

電通ノ光永星郎氏米国新聞社員来朝歡迎ノ件ニ
付依頼ノ為来訪

工業俱樂部ノ膳桂之助氏、君塚勝彦、山地土佐太郎
ノ諸氏来訪四時半歸宅

夕六時野口*平次*（食器屋）来ル注文スル処アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月11日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

今朝下痢ノ気味アリ十時四十五分出勤ニ際シ玄關ニテ復例ノ心悸兀進アリ約半時静養出勤社長室會議ニ列ス

三好船田ノ両氏ハ見南荘ニ於ケル発句会参会ノ為メ

十二時十五分ノ汽車ニテ箱根ニ向フ

午后三時陸軍大臣秘書官歩兵少佐有末精三氏

来社全大臣海軍大臣ト共ニ一タ三井ノ有賀氏ト共ニ余

ヲ御招キ致度廿日廿一日ノ内都合伺ヒ来レトノコトナリトノ

コトニ付ニ余ハ廿一日ナレバ都合ヨシト返事ス復何事カノ

依頼ナラン

四時歸宅直ニ就寐静養ス

后式時松村、午前倉成来訪面会ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月12日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

秋晴ノ好天気ナリ十一時十分出社
午餐后製紙ノ志貴氏ヨリ台湾ニ於ケルパイナップル罐
詰製造業合同總督府計畫ノ件報告アリ其席
ニ光村工場松村倉成確執ノ善后策ニ付打合ス処アリ
午后貳時若林半氏来訪田中逸平氏病氣其他の件ニ付
約壺時間ニ涉リテ報告スル処アリ
三好船田ノ両氏正午出社
后四時半退出歸宅気分漸ク輕快ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月13日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

【本文】

朝十一時出社々長室会議ニ臨ム
后伊藤信愛氏ヲ招キ副社長ヨリ聞及ビタル田阪一郎氏
上海在任中ノ行動ニ付糺ス処アリ
后一時半白金三光町小田切万壽之助氏邸ニ赴キ
令闥ニ面会吊問焼香
歸途上野美術館ニ赴キ院展及ニ科会出品ヲ
見ル意ニ叶フモノナシ
夜半ヨリ降雨翌佛曉ニ至リテ止ム

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月14日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

浅野良三、小松隆、
森田良雄（国際労働
会議代表随員）
講演会

關産聯合会主催
正四時

出席返事

真鍋氏講演

三菱講堂

后五時

小田切万壽之助氏

營葬青山斎場

午前九時―十時

【本文】

朝十一時出社ノ途次真鍋嘉一郎氏宅ニ立寄り留
守ニ付歸朝祝ノ名刺ヲ通シ置
午后一時松本學氏退官ノ挨拶ニ兼ネ文化事業ニ
雜誌發行ノ了解ヲかね来訪
富士紡常務鹿村氏東洋織布譲受并ニ人絹会
社設立株式壱万五千引受ノ挨拶ニ来ル
土居貞弥氏来訪
伊藤信愛氏ヨリ田阪一郎氏上海在勤中ノ行動ニ付
取糺シノ結果報告アリ
后四時工業倶楽部ニ赴キ浅野森田ノ両氏ニ対面
無事歸朝ノ喜ビヲ述べ約四十五分浅野氏ノ講演ヲ
聴取シ再ヒ本社ニ歸リ真鍋氏ニ面会全様歸朝
ノ喜ビヲ述べ五時十五分歸宅

壽美六時十分着ノ汽車ニテ峯ヨリ井上ちか女律
女ノ兩人ヲツレ歸宅」其節典夫來訪

【欄外】

「欄外 右側」

朝九時青山斎場ニ於ケル小田切氏ノ告別式ニ臨ミ直ニ歸宅

【日記の日付…昭和9年9月15日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴少雨

〔予記〕

満州公使丁士源案内

日満議定書成立二

周年記念日茶会

四時―六時 請

旧友会

紅葉館后六時

出席

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス

午后三時五十分退出満州公使館ノ記念祝賀会ニ臨

席細雨降り来リ長居ニ便ナラズ全処ニテ原嘉道、小

野寺前主計総監、藤原銀治郎浅野泰治郎三四

人ニ面会ス五時十分前辞去三土忠造氏宅ヲ訪ヒ不慮

ノ災難ニ対シテ見舞ヲ述ブ仲弟宮脇 氏延テ

入檻前後ノ顛末ヲ語ルコト詳ナリ余モ亦拍シク物的証

拠不充分ノ憾アリ串田氏次テ来訪余ハ全氏ヘノ説明

ノ終ルヲ待チ相携ヘテ紅葉館ノ旧友会ニ臨ム来会者

外ニ大久保利武、樺山愛輔、全資英、柳谷卯三郎ノ

四氏、志立、土方ノ両氏欠席、松壽、秀松、小蝶ノ三人ハ出

席腸胃ノ故障ヲ医スル為メ九時中座歸宅

慰勞ノ為管夫婦ヲ明治座ニ案内シタル壽美ハ

十一時歸宅セリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月16日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午后一時壽美ト共ニ吉祥寺別邸ニ赴キ八時歸宅

露になく虫の音しけき武蔵野の虚空にかゝる
弓張の月

此朝小瀬弥三郎氏来訪持参ノ桐箱入、盛光、来
国俊ノ脇差二口造リト共ニ預ケ置ケリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月17日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

工業倶楽部理事
会 正午

【本文】

今朝九時過弱震アリ
午前十一時半出社全十二時工業倶楽部ニ赴キ理
事会ノ議事ヲ掌ル了テ各理事ト午餐ヲ共ニ
ス常務理事有賀長文氏本月初旬歸朝始メテ
理事会ニ出席ス
式時帰社、四時半帰宅
五時過網屋主人手代野田喜代重ト共ニ来訪
初代丹波守吉道ノ刀及初代大和守吉道（大阪）ノ
刀各拵付二口ヲ預ル丹波ハ六百円大和ハ参百
五拾円ト云フ序ニ小瀬氏ヨリ預リノ二口ヲ鑑定
セシム皆正真作柄宜シク特ニ一ハ黄金造（御品
ニアラザルカト云フ）一ハ一乗作鐔縁頭有福ナル町人差
ノ好ト云フ黄金造（石黒政美）ノ分ハ来国俊ノ鞘トシ
テハ符号セス取糺ス可キ者也

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月18日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

万葉聴講会

后五時

江木翼氏三回忌

東京会館后五時

断

東洋協会講演会

大阪ビル集会室

后五時

断

【本文】

今朝出勤前復例ノ心悸兀進アリ十一時四十分遅レテ
出社々長室会議ニ列ス為メニ万葉聴講会ノ出席ヲ断
ル

午后貳時有賀長文氏来廿一日陸軍海軍両大臣ヨリ紅
葉館招待ノ件ニ付打合セノ為メ来訪

江木翼氏三回忌法要ニ付テハ昨夕供物ヲ贈リ本日ノ
招待ハ断リ歸宅静養ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月19日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

日本新聞協会案内
米国記者團歡迎会
東京会館后六時
東久邇宮殿下台臨

請

文藝懇話会慰靈
祭其他日比谷公
会堂后三時

【本文】

午前十一時半出社
午后貳時栗原彦三郎氏來訪携フル処ノ自作刀劔
三口研上ケノ分ヲ示サル全氏來訪ノ趣意ハ帝展ニ刀劔
ヲ工藝美術トシテ出品為致度全国現存ノ刀工ヲ取調
ヘ百余名ヲ得其來歴ヲ取調ベ一冊ニ編成セリ其為メ
費用貳百七八拾円ヲ要シタリ御幫助願ハレ間敷
ヤトノコトニ付余之レヲ快諾シテ參百円ヲ與ヘ取調書一
部ノ寄贈ヲ条件トス全氏ノ話ス処ニヨレバ高知縣土佐郡
秦泉寺村長運齊国光（本姓都筑）現存刀工ノ尤ナ
ルモノ之レニ次テ肥後ニハ同田貫及延壽ノ流レヲクム者現
存福岡ニハ刀工拾壱人アリ東京市内目黒ノ加藤眞＊サネ＊国
（又蔵）モ上手ナリト

四時歸宅燕尾服ニ改メ六時東京會館ニ於ケル米国記者團ノ
歡迎会ニ臨ム東久邇宮殿下台臨アリ余興ノ後開宴清浦
新聞協會々長、岡田首相、徳富蘇峯歡迎辞ニ対シテ團長
モレー氏ノ答辞アリ十時四十分退散雨ノ為玄關
困難ヲ極ム徳富ノ演説ノ長キニハ閉口セリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月20日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

土佐廿日会

丸ノ内常盤后五時半

幹事 吉松茂太郎

坂本嘉治馬

出席

小川徳次郎山地美代子

結婚披露 茶会

工業倶楽部

四時―五時

一人請

修養團農民訓

練所竣工式（矢口）

后一時 断

【本文】

午前十一時十分出社々長室会議ニ臨ム

午后四時工業倶楽部ニ赴キ小川徳次郎ト山地土佐太郎

氏次女美代子ノ結婚披露ノ茶会ニ臨ム小川氏ハ商事

会社ヨリ三菱タール工業会社ニ移轉シタルモノ岳父土佐太

郎氏ハ全郷ノ者媒酌ハ加藤恭平氏夫婦ナリ山地氏ハ

乗馬ノ關係ヨリ特ニ陸軍方面ニ交際宏ク幾多ノ大将

連出席セリ加フルニ松田文相藤井蔵相ノ出席セルニ係ラ

ス山地氏ハ特ニ余ヲ主賓トシテ両家ノ為メ干杯ヲ懇願ス

依テ杯ヲ舉ケテ新郎新婦并ニ両家ノ万歳ヲ三唱ス

衆之レニ和ス了テ退席

五時半常盤ニ於ケル土佐廿日会ニ臨ム吉松大将及坂本

嘉治馬氏幹事ナリ会衆十六人七時廿分中座池ノ端ノ

会合ニ立寄り十時帰宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月21日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

台風晴

〔予記〕

林*銑十郎*、大角*岑生*陸海両大臣
ヨリノ招待

紅葉館后六時
請

愛育会理事会
如水会館后式時
請

【本文】

昨夜来ノ強風ハ雨ヲ伴ヒ今晚ニ到リテ次第第二猛烈ヲ
加フ正午ニ近キ頃尤モ甚シク午后ニ至リテ次第第二弱ク
式時頃ニ始メテ大風通過ノ徴表ハル此台風ハ過日
来琉球ノ東南ニ發生シタル低気圧ノ漸次北上セル
モノニシテ昨夕已ニ九州ヲ襲ヒ今晚中心ハ紀淡
海峡ヨリ大阪神戸京都ヲ席卷シ大阪ニ於テハ
四天王寺ノ五重塔ヲ倒シ學校四十四ヲ潰シ海嘯ト
相待テ千五百人以上ノ死傷者ヲ出シ京都ニテハ學校
倒壊十九死傷九百ヲ出シ加フルニ瀬田川橋上ニテ各
等急行脱線死傷多数ニ上ル見込之レニ比シ東京ハ
災害少ク街路樹ノ倒レタル多キト須寄ノ飛行機格納
庫ノ倒レタル已ナリ十一時出社
式時如水会館ニ於ケル愛育会ノ理事会ニ臨ミ三時半
帰宅六時和服ニ改メ海陸両大臣ノ招待ニ應シ紅葉館
ニ至ル客余ト有賀長文氏二人用向ハ在郷軍人会補助
金本年限満期ノ処尚向十ヶ年在来ノ通式万円

継続致シ呉レトノ依頼ナリ詮議ス可シト答フ会食九時辞去

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月22日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇天

【本文】

大阪ニ於ケル風水害ノ惨状ハ報道ヲ得ル毎ニ益々深酷ヲ加ヘ死者千人強負傷者四千人ニ近シ學校ノ倒壊大破ハ百五十ヲ算ス特ニ外島癩療養所収容者ノ六百名ノ内四百名海嘯ニ吞レタルハ鼻酸ノ極ナリ十時五十分出社々長室会議ニ於テ風水害ニ対スル寄附金ノヲハカル宮内省、住友ノ意向ノ定リタル模様ヲ待ツコトトス

午后尅時半曾根増吉氏来訪倉成文太氏ノ件ニ付テナリ

全四時半壽美ト共ニ東劇ニ赴ク菊、吉合併興行ナリシモ十日頃ヨリ吉右衛門病氣入院ノ為友右衛門之レニ代リタリ友ノ逆櫓松ノ樋口案外ノ出来ナリ菊五郎ノ浅妻船、菊、三津五郎ノ五郎朝比奈鎧引、菊、友ノ泥棒ト親ノ新作夫々面白カリキ十時歸宅歸途雨降ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月23日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

明月

【本文】

今朝ハ絶好秋日和ナリ式時壽美ト吉祥寺ニ赴キ風
害ヲ視ル差シタル損害ナシ
黄昏ノ頃邸外ニ出テ富士ヲ見ユルヤ否ヲ窺フ日ハ落
チテ西天尚白ク芙蓉峯淡青ノ色ヲ以テ聳ユ東方ヲ
顧レバ盆大ノ月木立ノ上ニアリ始メテ今夕ノ明月タルヲ
知ル

月今宵隈なくてらす武蔵野に富士の高根

はあざやに＊さやかにも＊見ゆ（富士も間近く見ゆる冴けさ）

台風は＊も＊知らぬ良なり今日の月

浪華憫今日は涙の月見かな

八時歸宅

此朝共樂落札古九谷染付茶碗、時代茶臼、鶴田卓池俳
画双幅、南溟条幅花鳥、廣湖魚籃觀音ノ五点ヲ受取
リ代金五拾壱圓五拾錢ヲ支払フ
船田氏ヨリ今朝并ニ今晚ノ両度風水害寄附金ノコトニ付打合セア
リ住友百万円トノコトニ付三井ト打合セ五拾万円
義損ノコトトス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月24日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

本日ハ彼岸ノ中日秋季皇霊祭ナリ終日籠居廿七日
米国記者團招待ノ午餐会ニ於ケル挨拶ノ草稿ヲ
起草ス明日平井氏ノ反譚ニ付スルガ為メリ
朝夕両度船田氏ト土佐災害ノ義捐金ニ付打合ス
処アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月25日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

米国ハワード系新聞
并ニ通信者招待
三団体工業倶楽
部 后四時（断）
晚餐六時半
一人請

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス
母処有ノ鐘紡新株百株ニ対スル拾弍円五十錢（一株三）
ノ払込ヲ了シ領収証ヲ萩原氏ニ托シテ三菱銀行
保護預係ニ廻シ株券ニ記入ノ手續ヲトラシム
昨日起草ノ挨拶原稿ヲ平井氏ニ手渡シス
午後四時退出歸宅六時半米国記者團歡迎ノ晩
餐会ニ臨ム、郷男經濟聯盟ト日本商工会議所ヲ
代表シ余ハ工業倶楽部ヲ代表シテ兩人共今夕ノ主
人役ナリ主客約三百余人郷男ハ樺山愛輔伯門野
重九郎氏ニ擁護セラレ余ハ主賓メヱ＊レ＊ツト氏夫婦ノ
間ニ介在應酬ニ勉メタリ氏ノ側ニ門野夫人、夫人ノ右ニ
串田氏アリ余ヲ助ケ呉レタリ郷男ノ挨拶ニ対シ新紐育
サンノトリツプ氏答礼ス食後日本畫、盆景生花ノ余
興アリ来賓ノ内ニハバーニ入り歸ルヲ忘レタル者アリ来賓
一同十時頃引上ケタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月26日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

老将会

幹事児玉謙次

出席

断り失念

日本商工会議所

岡田内閣成立祝賀

会 東京会館

后六時 断

台湾電力松木社長案内

東京会館后六時 断

【本文】

午前十時半麻布材木町木村清四郎氏邸ニ赴キ細君

ニ面会全氏ノ逝去ニ対シ吊意ヲ表シ十一時十分三菱銀行ノ重役会ニ臨席了テ食事ヲ共ニス

午后一時半＊日満＊中央協会常務理事中沖壽全理事後

藤小太郎両氏来訪引見

神田正雄氏渡支中ノ報告ノ為メ来訪

四時退出歸宅全五時小山田繁蔵中将浅野侯爵

家々宝厝徹ノ脇差及高田ノ時行ノ短刀二口ヲ携

帶説明セラル、処アリ（長曾根虎徹入道興里銘）ハ

最上ノ尤物時行ノ短刀ヲ珍ラシキモノト云フ此席ニ網屋

ヨリ預リノ丹波守吉道、大和守吉道両刀ノ鑑定ヲ乞フ

何レモ宜敷其内ニモ丹波守ノ物勝レタリト云フ小瀬氏ヨリ

預リノ朱銘来国俊ハ疑ハシト云フ先般買入レタル和泉

守国貞ハ正真大ハ冒子ニ疵アリ小ノ方彫リモヨク勝レ

タリト云フ国貞ハ真改ヨリハ上手ナリト云ハル

夜分典夫来ル預リ置キタル全人実印ト神戸三菱銀行保護預証一枚ヲ手渡シス

【欄外】

「欄外 右側」

視察

病氣ノ為

外務大臣案内官邸七時半（英国実業團招待）断

【日記の日付…昭和9年9月27日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴雲

〔予記〕

米国新聞記者團招待
午餐会高輪邸

全産聯催

国際労働会議出席

代表歓迎午餐会

断

【本文】

今朝出社前復心悸兀進依テ社長室會議ノ出席ヲ断
リ直接高輪邸ニ赴ク事トス十二時十五分全所ニ至ル来
賓内已ニ参会セル者アリ日本新聞協會長清浦伯来ル
全氏接伴中復不快ヲ感ス三好氏ニ話シテ来賓ノ集
ル迄一室ニテ静養スルコトトス佐藤要人博士余ノ為メ特ニ
来リテ邸内ニ在リ余ヲ看護ス暫時ニシテ収リタルモ尚主人
トシテ来賓ニ伍スルハ再発ノ恐レアリ依テ万事ヲ串田三好
ノ両氏ニ托シテ歸宅静養ス
夕刻龍田町副社長ヨリ見舞アリ引続キ船田氏全様
夜分電通ノ光永星郎氏ヨリ容体問合セアリ

⊕⊕ 辻村楠造氏ヨリ河内国楠正成菩提寺（観心寺？）ノ楠ノ茅
生ヲ養成各神社佛閣ニ奉納統テ各宮家ニ献上スル者余ノ
名ノ楠ニ縁アルヲ以テ一本贈呈ノ為来月初旬訪問スルヲ以テ受
入呉レ度トノ紹介アリ（人名ナシ）

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月28日（金）】

【予記 等】

「天気」

晴天

「予記 傍線部赤点」

木村清四郎氏葬儀
青山斎場十時―十一時
告別式

郵船重役会
后式時欠席

關西風水害千円義捐
后四時藤田好二郎氏
子バ金山ニ付千明氏ト三
谷氏ト行違ヒノ件ニ付
来訪依テ其顛末ヲ
三谷氏ニ糺ス

【本文】

朝ノ内静養壽美代テ木村清四郎氏ノ告別式ニ赴キ
全所ニテ社長ニ会合歸来社長ヨリ加養ス可キトノ見舞
ノ言葉ヲ傳ヘラル
竹中組ノ桶川氏峯ノ家屋落成届并ニ浴槽届下河津ノ
村長宛呈出ノ分記入持参セラル調印届出ヲ依頼ス
吉植清*庄*一郎氏ノ紹介ニテ虚弱兒童養護協合理事長
医学博士宮原立太郎外一名来訪病氣引籠中ニテ他
日ヲ期セラレンコトヲト返事セシハ宮原氏会社ニ対スル請願書
ヲ残シテ歸ル
后式時出社關西風水害義捐金千圓ヲ久埜氏ニ托シ
申込書ト共ニ東京商工会議所ニ持参セシメ領収証ヲ得
テ歸社
在郷軍人会ニ向後十ヶ年間年弍万円宛補助承諾ノ旨千田
氏ヨリ陸海軍大臣秘書ヲ介シテ返事ス可ク依頼ス
四時半退出歸宅

【欄外】

「欄外 右側」

外務大臣招待官邸七時半（英国実業視察団卜共二）断

「欄外 左側」

徳富蘇峯氏案内大日本近世史五十冊完了紀念帝国ホテル午后五時 請 病氣ノ為断

【日記の日付…昭和9年9月29日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

朝十一時半出社々長室会議ニ列ス
午後一時半三菱製紙会長田原豊氏江戸川工業所及菱
三商会決算ノ件ニテ来訪
松田製鐵常務ヨリ茂山鐵坑開発ノ件ニ付圖面ニヨリ具
体的意見ヲ聴取ス尚清津八幡運賃採算ノ方法ニ付注
意スル処アリ
河井電機常務ヨリ親敷阪神地方風水害視察ノ情況
ヲ聴ク
子バ金山ノ件ニ付三谷氏問糺ノ結果ヲ藤田好三郎氏ニ電話
シ無遠慮他ニ申込ル、様ト申添ヘタリ
宮本立太郎博士提出ノ請願＊書＊ヲ船田理事ニ手交ス
后三時半退出西巢鴨ニ母ヲ省シ預リノ實印及三菱銀
行通帳ヲ返却ス歸途黒門町ニ迂回七時歸宅
夜半ヨリ雨降ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年9月30日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇少雨

〔予記〕

特許法施行五十年記念

展覧会招待十時ヨリ

后四時

特許局新廳舎陳列館

十月一日ヨリ全十四日迄

九時―五時

吉野上市町阪本猷氏

ヨリ勝利梨壺箱ヲ

贈ラル挨拶ノ返事

ヲナス

【本文】

朝十時小瀬孫作氏当方ヨリ手紙ニ抛リ来訪問ク処ニヨレバ

来国俊ノ短刀ハ全国光ノ短刀ト共ニ島津家ノ賣立（昭和

式、三年ノ頃）ニテ求メ金無垢ノ拵小太刀ハ偽省亭ノ幅（八百

五拾円）ノ代價トシテ預リ（某道具屋）タルモノ盛光ハ美術

俱樂部ニテ購フタルモノト云フ尚三四日預ルコトトス

全一時網屋手代野田清重来ル預リ置タル二振ノ内丹

波守吉道（京初代帆掛丹波三品物）ヲ購ヒ六百円ヲ支払ヒ

大和守吉道（大阪代金三百五拾圓）ヲ返ス

全式時強羅温泉料値上反対代表委員鈴木鶴吉、矢本

健次郎（紅葉館）播磨常太郎（吉濱）ノ三人来ル供

托温泉料昨年五月ヨリ本月末迄十七ヶ月分百弍圓ヲ三氏

ニ托ス

全式時一人吉祥寺ニ赴キ小林ノ給料ト家計費宛百五拾圓

ヲ茂ニ手交七時歸宅

たそかれ

ネになびく

夕暮に祭太鼓の音はまびて尾花か袖に霧雨のふる

*小*雨ゆふる浅ぢか原の夕けしき暮るもまたですたく虫の音

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月1日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

三井高公男案内
三田綱町別邸后七時半
英国実業視察団ト共ニ
断

清風会花月后四時
断

中川小十郎氏立命
館ノ件ニテ来訪

【本文】

午前十一時鮎川美代子鮎川久原藤田近藤四家ノ総
代トシテ来訪余ノ古稀祝トシテ仏国製置時計（三百五拾円
位）ヲ贈ラル全時久原ヒロ子来会別宅正安ヨリ全様ノ
祝トシテ坐布團ヲ贈ラル面会挨拶ス
十一時出社副社長ノ小瀬孫作氏預リノ刀劔ヲ示シ
副社長ハ後藤一乗三揃拵付應永盛光ノ脇差ヲ四
百五拾圓ニテ買上ケ呉レタリ
后一時半中川小十郎氏来訪全氏ハ二月ノ頃三土忠造氏ノ
書面ヲ以テ来訪全氏京都ニテ経営ノ立命學館中學大學
ノ為メ援助懇請アリ其当時ノ話ニハ學生三千五百人ヲ抱擁
シ資産百万円負債五十万圓赤化防止ノ趣意ニテ
今日迄一人ノ不良學生ヲ出サズ（教員三名其疑ヒアル者穩
ニ免職セリト云フ）學生ニテ禁衛隊ヲ組織セリト云フ本日ノ来
訪其節ノ返事ヲ得ン為メナリ三井住友ハ已ニ壺万円ヲ出
捐セリト云フ重ネテ詮議ス可シト答ヘ置四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月2日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

春畝公追頌会案内

（田中光頭、斉藤実、

栗野慎一郎室田義文）

東京会館正午断

日仏会館催華族会

館后五時ヨリ会費一円

仏、名ヒアニスト、ヴラド

ペルルミユター氏独奏

後茶会

断

三団体

英国実業視察団

招待午餐会○時半

工業倶楽部 断

【本文】

秋晴ノ好天気ナリ十時五十分出社々長室会議ニ列シ三

橋倉庫常務ヨリ阪神地方倉庫被害ノ情况ヲ聴取

シ次テ洞海湾埋立地タール工業ニ分譲ノ方法ヲ議定ス

今村正美氏東大機械科来年卒業生宇野端重工

業ニ採用依頼ノ為来訪社長室会議中ニ付他日ノ来訪

ヲ望ム書置キシテ歸ル本人成績宜敷三番トノコトニ付申出

ノ名刺ヲ斯波会長ニ東善作氏飛行學校設立趣意

書ト共ニ廻シ置

東大教授農博佐藤寛次氏清浦伯ノ旨ヲ齎ラシ来

八日午餐ヲ華族会館ニテ共ニシタシトノ申込アリ承知ノ

旨返事

警察後援会ノ早川延治氏会計検査ヲ受クル為来訪

是レニ先チ松村亀太郎氏ノ来訪アリ八月分光村工場ノ勘
定書ヲ持参ス

壽美此日両岩崎家并近藤眞一氏ニ古稀内祝品ヲ持参
歸途丸ビルニ立寄ル全乗歸宅

【欄外】

「欄外 右側」

橋本正一ノ履歷書其他ヲ川井氏手許ニ送ル

【日記の日付…昭和9年10月3日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

齊藤大使激励会案内
上野精養軒

午前十一時 断

【本文】

朝十時半立原芳彦来訪家事ノ件相談アリ
十一時半出社

后式時廿分藤田好三郎氏子バ沢金山処有者千明氏
全伴飯田延太郎氏ノ旨ヲ齎シ破裂ノヨリヲ戻スコト
ニ付懇請アリタルモ千明氏トノ面談ハ断リ最早再考
ノ余地ナキ旨ヲ答ヘ置ク

全三時光村工場ノ松村亀太郎ニ昨日面会ノ際依頼
シ置キタル全処總務課長西田稔氏引見工場ニ付全氏ノ
意見ヲ糺ス

君塚勝彦氏来訪引見

后四時退出歸宅

久原大輔七回忌ノ待夜ニ付壽美久原邸ニ赴ク

夜分望月圭介氏ヨリ会見ノ申込アリ不快就寝中ニ

付日ヲ改メラレタシト返答全氏了承ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月4日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

今朝ノ朝刊ニハ昨三日午后斯波忠三郎男ノ逝去ヲ傳

岡純

ヘタ刊ニハ今泉嘉一郎博士ノ死ヲ報シ七、八両日營
葬ノ報アリ

十一時半出社々長室會議ニ臨ミ次テ社長ト会见洞
海灣タール工業会社敷地ノ件ニ付協議スル処アリ

午后貳時土居貞弥氏來訪

全壺時倉成文太氏來訪

午后四時退出歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月5日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

於宮崎神宮、神武天皇
東遷二千六百年祭
参拝案内 断

（文部省干係）
日本文化協会講演
工業倶楽部
后四時半 断

岡田首相海■会員
案内官邸后六時
断

【本文】

今朝安達謙蔵及三井清三郎両氏ヨリ会见申込アリ不快
静養中他日ニ変更セラレタシト返事ス
十一時出社ノ途次家庭事務処ニ立寄り茅町男ニ面会
ス夏休中ノ久闊ヲ叙スルガ為メナリ
午餐後過般シヤワヨリ追放歸朝ヲ余儀ナクセラレタル武
井氏ノ講説ヲ商事会社ノ幹部一同及船田氏ト共ニ聴
取シ全氏ハ若林半氏帯同セルナリ
午后貳時半退出本郷駒込曙町ニ斯波忠三郎男ノ死ヲ
吊シ迂回シテ青山南町ニ今岡博士ノ宅ヲ吊問ス博士ノ
遺骸ハ先刻火葬場ニ送ラレタル跡ナリ写真ノ前ニ額
突キテ歸宅ス

【欄外】

〔欄外 左側〕

特許法施行五十年記念会祝賀表彰發明大会

及祝宴
午后ヨリ
日比谷公会堂及東京会館
断

【日記の日付…昭和9年10月6日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

午前十一時出社々長室会議ニ列ス
午前十一時四十分栗原彦三郎氏来訪日本刀出品奨励会ノ費用不足分ノ出捐ヲ懇請ス依テ現金貳百円ヲ増出ス（合計五百円）
午后一時強羅温泉値上反対旅館ニ対スル不当供給停止并ニ引用線破壊ノ件ニ付正司實男弁護士（住処下谷区下根岸町四二、事務処京橋区京橋三丁目七番地ノ五電話京橋（36）〇五二〇番）旅館小高庵、紅葉館、吉濱ノ三主人及鈴木雀吉全道来訪訴フル処アリ
貴族院議員三井清三郎氏林陸相ヨリノ依頼ニテ東善作飛行學校設立ノ件ニ付来訪本件ハ重工業会社会長斯波孝四郎氏ニ話置キタルニ付東氏ヲシテ斯波氏ト話ス様御配慮アリタシト申置ク
三時半退出丸ビルノ刀剣賣立会ヲ觀本郷湯島天神下ノ黒崎富蔵方ニ柳團ノ秋草兎、暢堂瓶梅、北溪清正、卓池俳画双幅都合五点改装ヲ依頼ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月7日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

終日雨

〔予記〕

東京乗馬倶楽部
十周年記念案内

○時半 断

斯波男葬式青山斎場
式時―三時

久埜氏

代拝

【本文】

正午過正司弁護士鈴木、吉濱、紅葉館主ノ三人ト共ニ来
リ山本悌次郎氏ヨリ横山神奈川縣知事宛ノ書面ニ
加筆ヲ乞フ状袋ニ署名賛同ヲ表ス四氏喜ンテ辞去
午后三時大橋新太郎氏ヲ訪ネ来十四日工業倶楽部ニ
催サル可キ工業倶楽部并ニ經濟聯盟兩団体ノ新
内閣々僚招待ノ席ニ於ケル挨拶（自分ニ代リテ）ヲ依頼
ス当日発病豫記シ難キヲ以テナリ氏之レヲ了シ如何様
ニカ相談ス可キトノコトナリ四時歸宅
本郷曙町十番地野呂呂邦之助氏ヨリ七十七高齡記念トシ
テ書道汎論一冊寄贈ヲ受ケ挨拶ノ手紙ヲ出ス
柏原洋紙店開店五十周年記念品蒔絵巻煙草入ノ寄
贈ニ対シ挨拶状ヲ送ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月8日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

終日雨

〔予記〕

中村靖之ト永原（四女）

須磨子ト結婚披露

東京会館后五時半

一人請

実業教育五十周年

会長清浦伯ノ案内

午餐華族会館

請

八日会幹事福井

中島、内田鐵相

案内 断

【本文】

今日峯別荘ヨリ今回ノ風雨ハ前回ヨリ強ク出水アリ風
ノ為物置ノ家根ニ損処ヲ生シタル旨電話アリ

今朝復々少シク心悸兀進勉メテ華族会館ニ於ケル

清浦伯招宴ニ赴ク松田文相三 *クマ*次官菊地実業學

務局長佐藤教授有賀長文二三子在華族会館ニ到

ル兀進再ヒ起ル別室ニテ静養十分議事ニ参加ス然レトモ

意見ヲ述ブルノ都度兀進ノ微アリ食事ニ入ルモ之レヲ口ニス

ルノ気ナシ再應別室ニテ静坐動悸ノ静マルヲ待シ挨拶

シテ中坐歸途出社今夕出席ヲ承知シタル中村永原両家

結婚披露ノ宴席ニ臨席スルコトヲ断ルノ手續ヲナシ全時

強羅温泉料供托ノ委任状ニ調印之レヲ正司弁護士ノ

事務処ニ郵送ス若松築港委任状モ全時ニ發送三時

歸宅就寐ス

【欄外】

「欄外 右側」

今岡博士告別式青山斎場久埜氏代参

【日記の日付…昭和9年10月9日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

〔予記〕

国際文化振興会
評議員会

午后四時華族会館
断

光悦

日本經濟聯盟鈴木

島吉君案内海軍

大臣大角岑生氏招待

星ヶ岡茶寮

后六時半断

【本文】

久振リノ秋晴ナリ十一時出社々長室會議ニ列ス

午后一時半若林半氏来ル全氏内田良平氏代理トシテ朝

鮮京城ニ宇垣総督訪問ノ際全氏ノ体度ニ対シ不満

ヲ訴フル処アリ全時ニ田中逸平氏葬儀ノ際贈華ノ依

頼アリ承知返答ス

松村亀太郎氏旧光村工場賣上代金貳千余圓ヲ持

参上村氏手許ニ納ム

午后五時光悦ノ寄合ニ臨ミ晚餐ヲ共ニシ九時歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月10日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

竹田宮大妃殿下

后式時半宮邸ニ

御召、茶会 御請

国際観光局委員総会

総理官邸后三時半

断

内田鐵相案内

全所 后五時半

断

賞勲局褒状下賜

【本文】

午前十一時出社ニ際シ小瀬孫作氏来訪家内ヲシテ代テ應接セシメ預ル処ノ盛光拵付脇差代金四百五拾圓ヲ手交シ受取証ヲ得出社船田氏ニ副社長ニ渡方ヲ依頼ス
后式時半竹田宮御殿ニ赴キ大妃殿下ニ拝謁参会ノ
慈恵会役員、評議員（婦人）ニ対シ令旨ヲ賜ヒ徳川家達公本会ニ長トシテ奉答ス了終テ食堂ニテ御臨席ノ上茶菓ヲ賜フ

四時退出東美俱樂部ニ立寄り故水町袈裟六氏遣

愛ノ刀劔賣立ヲ觀ル正恒助（大久保一翁遺愛）守

次等＊一文字助眞、日根野志津＊ノ外差シテ可驚モノナシ全所ニテ小倉惣右衛門氏ニ会合氏明夕若干点持参ノ筈、其際茅町邸ノ国宝

長

ハ眞永ト聞ク眞長ハ光忠ノ子ナリ

室

昭和七年十二月帝國博物館復興建築費ノ内へ金千圓也寄附ニ付本年一月付ヲ以テ賞勲局ヨリ褒状下附アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月11日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

日本経聯吉田大使
送別懇談会
星ヶ岡茶寮后六時

断

日伯中央協会講演及
午餐会
正午中央亭 断

【本文】

朝拾時式十分辻村楠造氏ノ紹介ヲ以テ河内国南河内郡
平尾村字平尾楠城跡ノ住楠公記念楠木会理事小谷
文濟氏来訪用件ハ金剛山麓水分ノ里大楠公誕生地ニ
アル楠ノ木ノ苗木余ガ名ニチナミ分譲セントノ事ナリシ故
之レヲ快諾シタリ苗木ハ文濟氏父君明道氏大正十三年
ノ春聖上東宮殿下トシテ御成婚ノ記念トシテ播種セシ
ニ始マリ爾来神社學校名士ノ許ニ寄贈シ来レルモノト聞
ク式本許近日宅ニ届ケラル、筈ナリ因ニ云フ大楠公誕生日ハ
伏見天皇ノ永仁二年四月廿五日六百四十一年前ナリ
十一時出社々長室会議ニ列ス議事ナシ報告（飯田ノ件）ニ止マル
后二時住友小倉正恒氏挨拶ニ来ル
製紙ノ志貴、光村利之引見
后四時退出歸宅全五時網屋惣右衛門氏手代野田喜代重全
道三池ノ＊殿上＊太刀（葵紋蒔絵造代金貳千円）長谷部国信葵紋朱
鞘短刀（千円）延壽国資殿中差（少サ刀参百五十円）ヲ持参内國信
ヲ預ル 壽美、森川、北川未亡人、谷田夫人ト共ニ東宝劇ヲ觀ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月12日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

副社長案内新事業

金田中

金田中ノ招宴ハ過風水
害ニ付阪神地方ヲ慰
問シタル重役ノ慰勞ノ為
副社長ノ催サレタルモノ
ナリ九時歸宅

【本文】

十一日午后八丈島ノ南東ニ現ハレタル颱風ハ今朝帝都
ヲ襲フ可ク憂慮セレタルガ幸ニモ今晩三時其勢力
ヲ二分シ半南ニ去リ半北ニ向ヒタルモ帝都ヲ犯ス事ナク
無事ナリキ

朝九時大橋新太郎氏町田商相訪問ノ序ニ来訪

全十一時半出社

午后一時半山下市助氏（日滿鉱業会社々長三菱二十一号館
電話丸ノ内一九一七番）来訪全氏目下滿州連山關附近ノ鉛

ジンク金銀鉱ナルホーエン鉱山（鉛八十刻―平均二十割、銀百分
ノ一、金十万分ノ五鉱区三、■三十六）ヲ稼行スル例ヲ引用シ三

菱ノ滿州鉱業ニ手ヲ染メンコトヲ勧誘シ全時ニ枇杷ノ葉

ヨリ精製シタル「テイオー液」（飯田町一丁目テイオー本院
販賣）ノ効能ヲ述ベ立テタリ

后三時半陸軍省整備局長山岡少将国内ニテ自動車

製造ノ件ニ付来リテ余ノ意見ヲ叩ク五時金田中ニ赴ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月13日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

好晴

〔予記 傍線部赤点〕

土佐風水害義捐金
参百円也土佐協会ニ
送り方久埜秘書ニ托ス

【本文】

本日皆晴始メテ秋色高シ十一時出社々長室會議ニ臨ム
大阪稻荷（土佐）神社東隣ノ地処千参百坪西区堀江ノ
小學校ニ金拾参万圓ニテ申込通り賣却ノ件ヲ議決ス
重工業ノ斯波会長ヲ招キ山岡整備局長申出ニ付意見
ヲ交換ス
后老時半正司實男弁護士鈴木雀吉及小高庵ノ番頭
全道温泉料値上反對運動不結果申訳ノ為メ来訪
八日正司氏ニ郵送セル委任状返却供托金百弍圓ハ紅
葉館主ヨリ直接番人磯五郎ニ手渡ノコトニ鈴木ト打合ス
三時五十分退出丸ビル日滿文化展ニ立寄り仏畫油絵
十八世紀頃ノ額面ヲ弍百圓ニテ買物毀損多キモ名絵
ナリト思フ歸途鮎川義介ノ新宅ニ立寄り美代子
夫人ヨリ室内ヲ案内セラル壽美ハ当日轉宅祝トシテ清水
正太郎作白蝶瑠璃水盤（原價百円）ヲ持参尚在リ全
道歸宅此日美代子ハ余ノ祝トシテ行違ニ義介筆ノ坐蒲
團弍枚ヲ持参贈フレタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月14日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

日本赤十字社副社長中川望氏ヨリ全社常議員服部金太郎氏ノ補缺トシテ推薦シタキ旨申来ル老僊病氣勝ノ故ヲ以テ断ル

午后貳時壽美ト共ニ吉祥寺ニ赴キ七時歸宅秋氣清ク爽快ナリ

秋晴れに老も椎の実拾ひけり

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月15日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

海軍協会評議員会

水交社午前十一時

断

新渡戸博士追悼晩

餐会東京会館后

五時断

東京警察後援会正午

日本クラブ 断

【本文】

午前十一時出社々長室ニ面会赤十字社副社長中川望氏

冀望ハ自分会社ノ常議員不被引受トキハ三菱側ヨリ

可然仁推薦アリタシト今朝モ尚電話アリタルニ付常議

員ヲ出スヤ否ヤヲ協議シ結局舟越楫四郎氏ヲ推舉

スルコトトシ旅行中（大阪行汽車）ノ全氏ニ發電承諾ヲ求

メ全氏ノ全意ヲ得テ其旨ヲ中川氏ニ返事ス

奥村政雄氏来訪熊谷与四郎氏ヲ採用方神戸ノ愛久

沢直弥氏ニ一筆被申送タシトノ事ニ付承知返答ス

宇野端氏重工業会社ニ採用決定ノ旨今村正美氏ニ報

告全時電機会社申込ノ橋本正一名古屋ニテ躰格検査

ノ結果ニ付間氏ニ尋ヌル処アリ

松村亀太郎氏来訪

四時退出歸宅竹中工務店ノ小林*利助*氏明日横井戸竣工検査

ノ為峯ニ出張スル為打合セノ為来邸セルニ会ス工事費八百

八拾円五十錢支払ノ為メ金千円ヲ托シ殘金ハ牧太郎ニ交付ス

ル事ヲ依頼ス 晩餐後調髪

【欄外】

〔欄外 右側〕

東郷神社建築会ヨリ常議員ノ依頼アリ辞退ス

【日記の日付…昭和9年10月16日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

日伯中央協会赤十字社
国際会議伯国代表者
歓迎茶会白金藤山
雷太氏邸后三時
断

成蹊學園今明兩日
運動会

帝展招待日

【本文】

午前十時半日本歯科ニ赴ク壽美全車（医院前壽美下車）出社ス
十一時社長室會議ニ臨席ス
午前一時半土居貞弥氏来訪
全式時半上野ニ赴キ本日開会ノ帝国美術院ノ展
覽ヲ視ル日本洋画共差シテ感服ニ値スルモノナ
シ工藝品ノ値段ハ昨年ヨリハ概シテ高價ナリ木彫ニハ
進歩ノ跡ヲ見ル工藝部ニ刀劔ノ出陳ヲ認メタルハ本年
ヲ以テ始メトス四時半歸宅
夜八時義介来訪窺見自動車工場ノ模様并ニ
自動車国策ニ關スル意見ヲ聴取ス
東郷元帥銅像并ニ神社建設ニ關スル団体ヨリ常議員
ノ依頼アリ赤十字社全様ノ趣意ヲ以テ断ル社長三好
ハ評議員ヲ承諾セラレタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月17日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

養育院井ノ頭學校
運動会 断

【本文】

本日本祭日ノ休日ナルモ雨天ノ為籠居ス
午前十一時半箱根登山鐵道会社ノ間瀬憲一、
田中倉松、箱根旅館及温泉組合主事石村幸作
ノ三氏値上ケ爭議ニ付了解ヲ得可ク来訪別荘ハ從來
ノ供給通りヲ五割増ノ九圓ニ止メ今後ハ協議ナシニ
値上ケヲ為サ、ルヲ条件トシテ解決スル様歡告シ三人
之レヲ了シテ辞去ス
土佐秦泉寺前刀工都築国光（長運斎ト号ス）帝展四
部出陳ノ短刀（賣價三拾円）買約ノ為書生宮島ヲ
上野美術館ニ遣ハシタル処供賣取消ノ申出テアリト
テ其伧立歸レリ然ルニ右ノ短刀ハ前文部政務次官ニ賣
約ノ旨夕刊ニ見ユ全氏前日豫約ヲナシタルモ其手續前余
ノ書生ノ表ハレタルニ窮シ偽言ヲ弄シタリト覺ユ不都合ノ
至リナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月18日（木）】

【予記 等】

「天気」

半曇

「予記」

斯波孝四郎氏同舟会

入会案内 山口

延期

富民協会表彰式

蠶糸会館十時半
断

国際文化振興会国際

赤十字社代表招待茶会

帝国ホテル演藝場

午後二時半 断

国防座談会 断

【本文】

午前十一時出社会議ノ事項ナキヲ以テ社長室会議ヲ見合ス
秋山參與（昱禧）ヨリ参謀本部磯ヶ谷少将ノ傳言ヲ齎
シ来ル余ハ若林半氏ヨリノ話ノ趣意ハ單ニ面会ノ機会ヲ
與ヘラレタシトノコトナリシ旨ヲ返答セシム
午後四時退出

【欄外】

「欄外 右上」

500 250

【日記の日付…昭和9年10月19日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

老将会幹事中川末吉

断

若松築港総会

日本経聯佐藤駐仏大使

所感聴聞会工業ク

ラブ后四時 断

日仏会館午餐会

欠席

【本文】

朝八時頃埼玉農民塾光風塾建設（満州移民養成

ノ目的）資金ニ關シ千々波敬太郎白石清彦ノ兩人来

訪取次主人尚就寐中ノ旨ヲ以テス会社ノ千田氏ニ申次ヲ

依頼シ趣意書ヲ残シテ去ル出社之レヲ船田氏ニ渡ス千

田氏ノ云フ処ニヨレハ本日全人已ニ来訪断リタリトノコトナリ千々

波ハ時々千田氏ノ許ニ出入スルモノナリト

清正三百二十五年記念事業トシテ拾五万圓ヲ以テ本妙寺

ヲ改修スルニ付会社ヨリ貳千円ノ出捐ヲ乞フ旨東京奉賛会

ノ為安達謙蔵氏ヨリ親書依頼アリ理事室ニ渡シテ

詮議セシム

護国党本部川崎忠志ノ名ヲ以テ昨今兩日社長批難ノ書

面ヲ送り来ル其何者ナルカ身許ヲ糺サシム

午后帝国自動車協会常務理事唐原與次氏来訪自

動車工業ニ付自己ノ意見ヲ述ブ余ハ其計算ノ基礎ヲ示サ

レンコトヲ望ム氏之レヲ了シテ去ル

東善作氏武田秀雄氏ヲ訪ヒ来ル斯波氏ヲシテ面会セシム

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月20日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

実業教育五十周年記念
式典（日比谷公会堂閑
院宮殿下台臨）午后一時
全祝賀会日比谷三信ビ
ル八階 請

愛育会理事及商
議員会文部省

第二会議室后一時半

断

松田文相招待午后

五時官邸 断

【本文】

朝八時半国沢新兵衛及谷流水ノ両氏来訪別格官
幣社山内神社建築費募集ノ件ニ關ス金三百圓

釀出谷氏ニ手交ス

全十時五十分堀三太郎氏九炭重役辞退慰労金受

領ノ挨拶ノ為来訪

全十一時廿分出社々長室會議ニ列ス

午后一時日比谷公会堂ニ於ケル実業教育五十周年記念

式典ニ全会副長トシテ臨席ス清浦会長＊教育＊勅語奉讀ニ次キ

一 総裁閑院宮殿下ノ会旨会長奉答

一 實業教育功勞者表彰狀殿下親■牧野信頭氏

受賞者總代トシテ挨拶先之岡田首相＊湯淺宮相＊松田文相ノ祝辞

一 会員ノ宣告決議三邊長治副会長議長、万歳

了テ式時五十分三信ビル八階ニテ立食ノ饗應アリ参会

スル者式千人ニ近シ三時半歸宅

齒科医中村芳次郎氏病氣見舞トシテ壽美ヨリ金五拾円

ヲ来訪ノ原田茅太郎夫人ニ手交ス」小松旅館ヨリ下野氏出京中旨

【欄外】

電話アリ

【日記の日付…昭和9年10月21日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

午后十二時半出邸壽美ト共ニ洗足池畔ノ近藤真一氏
新邸ヲ訪フ真一氏ハ母堂ト共ニ大阪ニ赴キ細君淑子ハ外
出中子息五人揃テ在宅ス邸ノ内外案内セラル母堂丹
誠ノ高山植物園モ拝見ス茶菓ノ馳走ヲ受ケ忒時半
辞去迂回シテ三時四十分吉祥寺ノ別墅ニ入ル渡瀬三
郎長子ノ夫婦長男長女ヲ伴レ来リ在元ノ女中千代モ
嬰子ヲ負フテ来リ会ス子供ハ芝生ニ嘻々トシテ戯レリ
蒸シ薯ノ馳走ニ満足シテ夕刻退出ス余等居残り
差ノボル十三夜ノ月ヲ賞シテ歸宅
武蔵野にのほる月影なかめけり嵯峨野の昔思ひ
うかべて

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月22日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

山岸慶之助長男成一
ト阿部泰二次女桃子ト
結婚披露

東京会館后五時

兩人 断

軍縮問題有志討議

上野精養軒 断

東洋協会講演及

晚餐会（神田正雄）

断

【本文】

午前十一時半出社第二回分処得税支払ノ手續ヲ了ス

護国團本部本部川崎忠志ヨリ面会ヲ求メ来リ不在

ノ旨ヲ答ヘタル処秘書ニ面会シタシトノコトニ付久埜氏面会

愚ニモ就カヌ事ハ取次出来ヌト断リ置タル旨全氏ヨリ報

告アリ全人ハやまと新聞ノ販賣係長ヲ勤メタルコトアリ右

傾ヲ標榜シテ脅迫ヲコトスル者不日警視廳ニアゲラ

ル可ク札付ナリト聞ク

后一時半自動車工場経営ニ付加藤恭平氏ノ意見ヲ

タヽク

同式時山岡整備局長市澤*田辺盛武*大佐（陸軍省動員課長）

全道自動車国策ニ付意見ヲ戦ハス結句重工業ノ重

役ヲ課長ノ許ニ遣ハシ協議セシムル事トシ元良常務ヲ

招キ明後日陸軍省ヲ訪ハシムル事トス

唐原與次氏自動車工場自立ニカヽル計算書*及会社新設ノ■■■*ヲ持参ス之レヲ

元良氏ニ渡シ置ク

久振りニ神戸ノ曾我昌氏来訪

【欄外】

「欄外 右側」

后四時退出共樂俱樂部ニ立寄り歸宅

【日記の日付…昭和9年10月23日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

英国実業視察団

藤原銀次郎氏送別

茶会后四時―六時

自宅 断

高輪邸園遊会

国際赤十字社大会

出席代表員ノ為

万葉聴講会

（巻ノ五うまぐたの）

【本文】

朝八時半光村利之来訪面会中社長午前十時会社

ニテ面談シタキ旨申来ル倉惶朝食ヲ了へ便処ニ赴キ

髭剃ヲナサントスル際突然心気兀進ス依テ此旨ヲ会社

ニ通シ引籠リ加養寢室ニ入り目ヲ開ケハ午后式時ニ

近ク雨降り出タリ本日高輪ニテノ園遊会ハ如何ナク行ケ

ン気遣ハシキ限りナリ

【欄外】

〔欄外 左側〕

米国新聞団送別晩餐会日本新聞協会催

横濱ニューグランドホテル午后四時―六時晩餐 断

【日記の日付…昭和9年10月24日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

遠山満床次竹二郎外六名

発起星一氏送別会

工業倶楽部后四時

断

英国実業視察団

ロードバーンビー一行

アトホーム帝国ホテル

五時ヨリ六時

【本文】

午前十一時半出社

后土居貞弥氏来訪

全三時帰宅

壽美ハ亀山宗月夫婦、三宅川、原田ノ四人ヲ伴ヒ水難救済
会ノ為メ歌舞伎座觀劇十時半過帰宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月25日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

曇雨

〔予記〕

工業倶楽部及日本経
済聯盟聯合岡田内
閣歡迎会 后六時
出席無覺束モ出
席ノコトニ被取斗度ト
申送ル

【本文】

午前十時武田秀雄氏余ノ病状ヲ氣遣ヒ見舞ニ来ル
十一時廿分出社々長室會議ニ臨席ス
安達謙蔵氏ニ清正公三百弍十五年記念会申越ノ通金弍
千五百圓義捐ス可シト返事ス
午后弍時松村亀太郎氏来訪
后四時退出
壽美ハ亀山宗月ノ茶事ニ招カレ三宅川ていの原田知勢
久原清子、近藤淑子ヲ率イテ出席午后五時―十時半

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月26日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

【本文】

午前十一時半出社
串田氏東郷会常議員ニ依頼サレタリトテ来リテ余
ノ意見ヲ叩ク
午後貳時二十分陸軍大臣秘書官歩兵少佐有末精三
氏在郷軍人会補給金年額増加ノ件ニ付懇請ア
リ三井ノ意向ヲ糺シ確答ス可シト返事ス
全刻望月圭介氏余ノ健康ヲ気遣ヒ来リ見舞フ
全四時退出歸宅
壽美ハ亀山宅ニ昨夜ノ挨拶ニ赴キ歸途福井、谷本
両家ヲ訪問五時半歸宅
正彦夜九時廿分中央驛着ノ燕号ニテ千代子、宅之助
全道神戸ヨリ上京ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月27日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

琵琶湖ホテル落成
披露ノ為后式時

伊藤武彦（滋賀縣
知事）及全ホテル取締
役会長藤井善助両氏
ヨリ案内 断

昭和銅管会社工場
竣工披露一時―四時
断

【本文】

午前十時四十分出社ノ為着改ヲナサントスルニ際シ少シ
ク動悸ヲ感ス横臥数分脈整フヲ以テ改装玄關
ニ出ツ再度心気兀進ヲ覚ユ依テ洋館客室ノ長椅
子ニ横ハリ胸ヲ冷シ其治マルヲ待ツ約半刻尚治マ
ラス出社ヲ断念シ其旨ヲ会社ニ通シ引籠リ加餐ス
副社長并ニ船田、三宅川ノ諸氏ヨリ見舞ノ電話アリ
夜分三好常務ヨリ三井有賀氏来社農民救済ノ為メ
三百万圓寄附ノ件ニ付当方ノ意向問合セノ旨書面ヲ
以テ通知アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月28日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴曇

【本文】

朝ヨリ四時頃迄ハ無此上秋晴レノ好天気ナリ十一時半
壽美千代子宅之助ヲ伴ヒ神戸ノ律女ヲツレ吉祥寺ニ赴
キ薯堀ナドヲ為シ終日孫相手ニ遊ヒ暮シ六時歸宅
一天無雲又風モナク温和ナリシヲ以テ小鳥ノ囀リ飛カヨ
ウ様モ目醒シク特ニ数百椋鳥電線ニ留リタル様
奇觀ナリキ

小林茂ニ本月份経費トシテ給料ノ外ニ金四百圓（内
式百円手許ヨリ）ヲ渡ス

本今朝日ノ夕刊ニ秋晴ノ為メニヤ鴛鴦群ヲ為シテ
箱根芦ノ湖上ヲ飛翔シ舞下リテ湖畔ニ嘻休スルノ寫
真ヲ視其壯觀ニ驚クスル大群何地ヨリ飛来リ
タルヤ不思議ノ至リナリ

正彦ハ今早朝ヨリ霞ヶ關ノゴルフ場ニ赴ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月29日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

【本文】

午前十時出社々長ノ出勤ヲ待チ社長室ニ於テ東
北飢饉ニ対スル義捐金ノ額ヲ百万圓ト決定午后
三好常務ヲ以テ丹波内務次官迄申込ム三井ハ全国
ニ対シ三百万圓ナリシモ我社ハ先達已ニ農民ノ為メ
貳百万圓ヲ醸出シタルヲ以テ此度ハ百万圓ニ止メタリ
午后串田永原両氏ヲ招キ鉱業会社新株拂込ハ
拾式円五拾錢トスル事ニ打合セ三谷鉱業会長ノ来
訪ヲ機トシ其趣ヲ傳ヘテ了解セシメ尚其顛末ヲ
社長ニ話シ置ク
后三時半共楽倶楽部ニ立寄り歸途築地光悦
ニテ晚餐ヲ済セタリ
正彦夫婦ハ宅之助及律女ヲ伴ヒ夜十時靈岸島
発ノ汽船ニテ大島ニ渡リ三原山見物明後朝下田
ニ入港来峯ノ筈ナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月30日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

峯行

私立中等學校恩給

財團創立十周年

記念式

軍人会館后式時

断

【本文】

本日家族ト共ニ拾時五十五分熱海行ノ汽車ニテ峯

ニ赴カントセシモ出立ニ臨ミ例ノ持病ニテ一汽車ヲ延バシ

○時五分発ニテ出立富、律ノ両女ヲ伴フ

式時卅五分熱海着佐藤ノ自動車ニテ五時過峯ノ

別邸ニ入ル園内ヲ一周スレバ日ハ全ク暮ル晚餐ハ老夫婦

差向ニテ両少女ノ料理トナル伊東ニテ購フタル鰯ト鰯ノ

干物ニ東京ヨリ齎シタル松茸ノ味噌汁ニテ簡素ニ愉

快ニ食事ヲ終ヘタリ

正彦千代子宅之助栗女ハ昨夜十時霊岸島ヨリ葵

丸ニテ大島ニ渡航シタリ今夕刻迄ニハ三原山ヲ見テ

旅宿ニ入りタリト思フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年10月31日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東京通信後援会
實行委員会

工業倶楽部午前
十一時半 断

通信後援会実行
委員会

工業クラブ十一時半
断

【本文】

正彦一行今朝下田着上陸居合セタル佐藤ノ車ニテ
一應今井莊ニ入り午前十一時頃来莊午餐ヲ共ニシ
夕刻歸館宿
夜ニ入りテ雨

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月1日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

開成会出身岡田首相

床次通相小原法相

歡迎会上野精養軒

后五時 断

【本文】

終日雨正彦等午頃来莊午餐ヲ共ニシ五時頃歸宿

神戸太田保太郎氏死去ノ報ニ接シ久埜秘書ヲ通シテ

供物ノ事ヲ神戸支店ニ依頼ス

夜分強雨瀧ノ如シ翌八時止ム

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月2日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

昨夜ノ強雨テ溪流水増シ遠雷ノ響アリ天候回復
シタルヲ以テ幾度カ園内ヲ散策ス」正彦等十二時来ル
料理人貴志文四郎三時半頃小林茂四時半頃東京
ヨリ来ル皆明日ノ来客接待ノ為メナリ
今朝横井戸ノ下請負ヲナシタル 来リ山ノ薯ヲ持
参ス落成祝儀トシテ壽美手許ヨリ廿圓ヲ與フ
強羅別荘番鈴木磯五郎ヨリ十月分計算書ヲ送り
来ル収入操越ト共二百四拾参円拾錢支出金百七圓貳
拾九錢殘金三拾五圓三拾壹錢也
夕刻正彦千代子等ト食膳ヲ共ニス仝人達九時頃
今井莊ニ歸ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月3日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

藤田譲三男信雄ト

濱田勇三次女礼子ト

結婚披露

東京会館后五時半

断

弘報堂創業五十

周年記念園遊会

深川清澄園后零

時半 断

【本文】

本日ハ明治節二日続キノ休暇ナルヲ以テ奥伊豆地方ニ団体旅行多ク湯ヶ野ヨリ河津濱ニ至ルノ道路ハ朝来自動車絡驛

タリ午前ハ客人待受ケノ為職人ハ園内ノ掃除ニ忙シ、千代子手傳ニ来ル客ヲ待間ノロスサミニ

落柿ヲ繞りて鳥首かしげ

落葉かく老夫の肩に血蜻蜒

桃色の山茶花咲きて日はうらゝ

カゼ？

西風吹きて落葉は庭に錦しき

はぜ

黄櫨の葉は山彩りて秋深し

明治節乗合バスに客あふれ

午后四時過三宅川百太郎妻木栗造原田茅太郎ノ三氏豫定ノ通熱海ヨリ来着先ツ園内案内シ茶ヲ進メ入浴後六時過キヨリ

食堂ニテ晚餐ヲ共ニス正彦相伴ス余ハ貯フル処ノ一八一五年製

ノ古ウヰスキーノ一瓶ヲ提供ス三人舌ナメズリシテ之レヲ賞翫ス食後

余ノ居間ニテ三宅川、妻木ハ鳥鷺ヲ闘ハシ余ハ原田ト棋戦ス

十時半一行就寐

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月4日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

一行七時半起床八時半入浴朝食九時半小林茂ヲ付
ケ佐藤ノ自動車ニテ下田港ヲ見物セシム十二時歸峯午
餐ヲ共ニス午后貳時半一行歡待ヲ謝シ大満足ヲ表シ
テ辞去ス自動車ヲ提供シテ天城越ニテ沼津驛ニ送ラ
シム

正彦モ明日ヨリ工場出勤ノ為午后四時發東海岸ヨリ熱
海ヲ歷テ国府津ニ出テ九時頃ノ急行汽車ニテ下神ノ
管茂ヲシテ之レヲ熱海迄送ラシム今井莊滞在費支払
ノ為正彦ニ金百圓ヲ手交ス

夜八時千代子宅之助栗女今井莊ヲ引拂フテ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月5日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

忠勇顕彰会表彰式

立食

及晩餐会 后式時

偕行社 断

郵船重役会后式時

断

満州国実業大臣并

ニ参議一行歡迎晩

餐会 会費五円

日満実業、経聯

日華実業、東京商工

工業クラブ五団体

聯合 断

【本文】

天気好ケレトモ風強シ

三宅川氏一行ヨリ飲残りノウキスキーヲ置忘レタル遺憾ノ手
紙（端書）来ル全時正彦ヨリ神戸安着ノ報アリ

晩景茂ヲツレ来リ合セタル信太郎ト共ニ兼テ上沢田ニ購
置キタル山椿ノ大木ノ見分ニ出掛ケ歸リテ明朝ヨリ移植
ノ手配ニ付茂ヲシテ信太郎ト段取リヲ打合セシム
火見櫓ノ件ニ付村ノ消防方夜分寄附懇請ニ見ユ茂ヲ
シテ應接セシメ歸京迄ニ返事スルコトトス
上沢田処見

イチヨウ

大銀杏樹黄＊は＊む許に社あり

夜半雨降ル

貴志文四郎正午歸京旅費ノ外五拾圓ヲ與フ

朽はてし社となる公孫樹は夕日にはへて

黄金散るなり

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月6日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

〔予記〕

国性文藝会秋季大会

軍人会館 断

英国王

【本文】

茂ト信太郎外三名ハ上沢田ノ椿ノ掘起シニ赴キ牧太郎

及正木米次ノ兩人ハ残りテ横井戸附近ノ修築下草ノ

植付ニ従事ス

夜分壽美久振りニテ咳ニ悩メリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月7日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

昨夜半ヨリ雨今曉止ム正午小雨降リタルモ夕方ヨリ風強ク晴天トナレリ

牧太郎及米次ノ兩人モ午后ヨリ大椿掘起シノ手傳ニ赴ク

今朝弁天町ヨリ神戸ノ吉川久七氏死去ノ電話アリ吊電

ヲ發セシム

茅町邸ヨリ古稀還暦ノ内祝品弁天町ニ送付案内

書轉送アリ

濱松城内ニアル家康鎧掛松乃チ三方原ニテ敗戦

脱シ歸リテ鎧ヲ脱シテ此松ニ懸ケ汗ヲ入レタリト称

スルモノ三百六十年ノ今日枯死二代目ヲ植付ケタリト東日

静圖版ニ見ユ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月8日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

一天雲ナキモ西風強ク吹ク茂信、牧、其他七人ハ本日モ
上沢田ノ椿掘起シニ従事ス
午后三時玉峯館ノ玄關迄挨拶ニ立寄ル壽美遅レテ来
リ小菊ノ幾束カヲ遣ハシタリ四時過自動車ニテ上沢田ニ
到シ椿掘起シノ工事ヲ視ル
本日新年ノ御題発表アリ

池辺鶴

大庭の池の水きはに立つ雀は

君か千歳を祝ふてそなく

鶴遊ふ池のなきさの薄氷うつる翼に

初日宿しず＊れり＊

昨朝午前七時女形ノ名優尾上梅幸死ス享年六
十五歳、茨木、三千歳、お富、お岩ノ至藝復視ル可
カラス可惜

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月9日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

晴タレトモ尚西風吹ク朝工業倶楽部ノ中村元督氏ヨリ
来廿一日物故会員追悼式舉行ニ付意見問合セアリ承
知ノ旨返答ス

午后式時半壽美全道旧縣道ヨリ下沢田石切場ヲ歷テ
山路ニ分ケ入り溪流ニ沿フテ山上成金豆畑ノ麓松ノ森迄到
ル山腹風ヲ閉テ温和陽春ノ如シ壽美ハ山草ヲ採ル引返シテ
旧縣道ニ出テ上沢田大椿ノ場処ニ至リ工事ノ進捗ヲ觀峯橋
ニ回リテ薄暮歸莊道程一里ヲ超過ス久振りノ長途ノ
散歩ナリ

打連れて山路歩めはせゝらきの音にこたへて小鳥囀る

樵人の犬つれかへる山路には櫨の葉染みて風に散り来る

鵲鴿の車軸にとまる水車笥の水は外にあふるゝ

夜八時八人掛リニテつちやノ自動車ニテ大椿ヲ運ヒ来ル荷役ノ際

三又ノ釣木ノ一片折レ大椿ハ門前通路ノ崖下ニ墜落遂ニ移

植ヲ了スル事ヲ不得」此夕八人ノ職人ト運轉手兩人ニ夕飯ヲ

饗シテ其勞ヲ慰シ各自ニ祝儀一圓ヲ與フ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月10日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

風風キ氣候温和ナリ今朝千代子宅之助栗女ヲ伴ヒ
佐藤ノ車ニテ東京ニ歸ル小林茂ヲシテ之レヲ護送セシ
メ途次ノ買物并ニ汽車賃宛ニ小林ニ三拾圓ヲ手交ス
佐藤ニ本日迄ノ自動車賃四拾五圓ヲ支払フ
昨夜崖下ニ轉落シタル大椿ハ夕六時頃漸ク元ノ門前通
路ノ位置ニ戻サレタリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月11日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

少シク風アリ山口ノ田辺護ヨリ送り来リタル山躰躑五十株ヲ修善寺驛ヨリ槌屋ノ自動車ニテ運ヒ来ル根本ノ手宛ヲ為サヽル為全部殆ント枯木トナレリ仮植ヲナシタルモ蘇生スルモノ幾本カ

午后貳時頃なんや旅館ヨリ出火台処ノ壺部ヲ焼キタル已ニテ大事ニ至ラズシテ鎮火ス晝間ノ失火トテ火事珍ラシキ田舎ニハ騒動一方ナラズ大椿ノ移植ニ従事シタル職人達ハ近火ノ事トテ峯消防第一部ノポンプヲ引出シ消火ニ勉メ鎮火後モ内兩人ハ遂ニ歸り来ラズ為メニ植付ヲ了スル事ヲ得ズ

黒田重兵衛氏出火見舞ノ歸途門前ニテ会合先達全氏ヨリ調査依頼アリタル川津筏場ノ鉦区図明日手許ニ送り来ル筈

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月12日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

天気晴朗風ナク今回轉地中ノ最善ナル日和ナリ
午后式時過黒田重兵衛氏使ヲ以テ昨日約束ノ鉾区
図ヲ送リ来ル
三好重道夫人ヨリ菓子壺折壽美宛ニ贈リ来ル挨拶ノ手
紙ヲ出ス
商事ノ加藤恭平氏ヨリ盤城セメント社長岩崎氏ノ依頼ヲ
受ケ商工省ニテ開カル可キセメント統制委員会ニ欠席ノ場
合賛否ノ意向ヲ省内統制会宛電報ノコト電報ニテ
申越アリ議案手許ニナク賛否ノ表シ様ナキ旨岩崎
氏ニ傳ヘラレタシト返電ス
小堀庫ニヨリ自用自動車修理ノ経過壽美迄報告アリ
全時本宅ヨリ送リ来リタル木村林次郎氏ノ手紙ハ古稀ノ誕
辰祝トシテ銅製花瓶寄贈ノ案内ナリ
今夕漸ク大椿ノ植付ヲ了ス時ヲ消スコト一周間人役四十七人分ヲ要
ス積卸ノ失策ヨリ余分ニ二月ヲ費シ著シク小枝ヲ損シタルハ残
念ナリ豈然門前偉觀ヲ添フ枯レザラ
ンコトヲ祈ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月13日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇後晴 夕雨

【本文】

今朝峯橋附近ノ民舎ヨリ橙壺本ヲ購ヒ来ル高サ丈余
手頃ノ樹ナリ中島ニ移植ヲ了シタルハ午前十一時ナリ結
實百弍拾有余八個ヲ残シテ余ハ保護ノ為メ切り取
リタリ代金地元壺円五拾銭氣ノ毒ノ感アリ

午后ヨリ職人三人牧太郎ト共ニ防寒防暑ノ為大椿ノ藁
巻ト跡片付ニ従事ス五時終了七時頃ヨリ小雨降り
来ル天佑ノ思アリ

門前＊先＊に植へし歳經し大椿見上る空は月朧なり
夜雨降る軒の玉水音冴へて淋しき秋の末となり
ぬる

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月14日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

曇後晴

【本文】

夜来ノ雨ハ今朝ニ至リテ止ム氣候温和ナリ

牧太郎、米次、庄助、正夫ノ四人ニテ大椿ノ手宛ト下草ノ植付ヲ了シ池辺ノ大桧葉ノ衰弱スル原因ヲ確ムル為池ノ周圍ノ築

石ニ沿フテ掘割リヲナシ其部分ニコンクリトヲ施シ池水ノ侵入ヲ妨ク事トス

午前壽美ニ家計費トシテ百圓ヲ渡シ夜分牧太郎ニ前月分不足三拾九圓三拾六錢ト十二月中旬迄支払用トシテ現金

三百五拾圓ヲ手交ス

夜分峯消防第一部火ノ見櫓新築費四百圓ノ内金貳百圓ヲ寄附ス之レヲ手交スル為世話人ヲ引見ス

峯別墅庭園修築為使用シタル職人ノ主ナル者茂、牧

（箱根）ノ外左ノ如シ

小林信太郎、仝人妻（草取）正木米次、植松庄助
鈴木虔、井上正夫、土屋幹三、仝人妻キク（草取）

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月15日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

【本文】

朝ヨリ一天雲ナク氣候モ温和ニテ小春日和ニ立戻リ
タルノ感アリ四方山モ次第ニ黄紅ニ染ミ月モ上弦
ヲ超ヘ今暫ク滞在静養致度思フナレ共左迄ノ勝
手モ出来兼ネ本日午後一時十五分一同歸京ノ途ニ
就キタリ出立前本日就業ノ職人（牧等）五人ニ五
圓、直（牧妻）、信太郎ニ各五圓ノ祝儀ヲ與ヘタリ尚
永ク庭造リニ従事シ目下病床ニアル者ニ見舞金五
圓ヲ遣ハス事トシタリ
自動車ハ例ノ佐藤ノモノナリシガ見高ヲ過クル頃ヨリ機
械ニ故障ヲ来シ漸ク稻取ニタドリ付全処ニテ他ノ車
ヲ雇替ヘ熱海ニ向フ為メニ一汽車遅レテ五時ノ普通
車ニテ全処ヲ出發七時八分東京驛着自邸ニ入ル
玄關ニハ宅之助千代子ニ抱カレ出迎ヒ居リお歸りを連発ス
網代沖ニテ海中ニ虹立つ
霧雨の振る沖合に入日さし網代の濱に虹の浮立つ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月16日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

朝永井前拓相ヨリ会见ノ申込アリ明夕八時私宅面
会ヲ約束ス出勤ノ途次調髪十一時四十分出社々長
ニ挨拶ス串田氏ヨリ東北凶作ニ対スル寄附金額ニ
付打合せアリ自分ハ京阪神風水害寄附ノ半額五百
圓ヲ他ノ振合ニ準シ出捐ス可シト答ヘ串田氏ハ参百円
寄附ノ事トナル

午后右五百円ヲ小切手ニテ東京商工会議所ニ寄附ノ
手續ヲ了ス

全三時副社長ヨリ商事機械部副長中島資之背
任ノ件ニ付内談アリ其処置ニ付意見ヲ交換ス
四時退出茅町邸ニ立寄り内祝品（古稀還暦）ヲ贈
ラレタル札ヲ述べ池ノ端ノ寄合ニ臨席九時歸宅

【欄外】

〔欄外 右上〕

【日記の日付…昭和9年11月17日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

藤山雷太氏邸園

遊会 后一時ヨリ

不参

【本文】

午前十時商工大臣官邸ニ於ケルセメント統制第二回ノ
委員会ニ列席統制権ノ発動ヲ可決シ十一時半出
社々長室会議ニ臨ム

午後社長ヨリ留守中ノ重要案件ニ付報告ヲ享ク

松田製鐵常務ヨリ減資并ニ本期ノ決算案ニ

付報告アリ

鉱業山下常務ヲ招キ河津濱黒田重兵衛氏ヨリ

預リノ川津筏場ノ鉱区図ヲ渡シ調査ヲ依頼ス

四時退出丸ビルニ立寄り現代仏画ノ小展覽ヲ視五

時半歸宅

壽美ハ千代子宅之助ヲ伴ヒ鮎川久原ニ挨拶ニ赴キ

一應歸宅食後七時半森吾郎方ニ赴キ妻君ノ逝

去ヲ吊シ九時半歸宅千代子ハ妹美代子ト共ニ能ノ見

物ニ赴キ十時半歸宅

后八時永井柳太郎氏来訪身上ノ件依頼九時半辞去

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月18日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴夜雨

〔予記〕

長寄小曾根乾堂翁

五十年全星海翁三十年

祭案内

【本文】

朝十時楠瀬秀雄（三男）来訪逋信病院薬剤

主任トシテ就職周旋依頼ノ為メナリ仝人四五年前

東大医科卒業ノ薬學士ニテ現在ハ陸軍省ニ奉

職中ナルモ先途ニ見込ナキヲ以テ轉職セントスルモノナリ

履歷書ヲ送ル可シト申聞ケ置ク

午后一時廿分壽美ト共ニ宅之助栗女ヲツレ吉祥寺ニ

赴ク何レノ楓樹モ真紅ニ染ミ近年稀レニ見ルノ盛

觀ナリ三才ノ宅之助モお爺サン奇麗ナネト云フ

風わたる入日にはゆるもみち葉は庭に焰の

なみや打つらむ

午后七時頃歸宅

夜半雨降る

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月19日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

森護郎夫人告
別式青山斎場
后二時―三時

東洋協会講演及
晚餐会 后五時
断

伯国新任駐日大使ソーザ
氏及全駐伯大使沢田
節藏氏夫婦歡送
迎会

東京会館后六時半
断

【本文】

午前十一時半出社
午后一時半社長出社永井氏來訪ノ件ニ付社長ト協議
スル処アリ
全式時十分青山斎場ニ赴キ森護郎夫人ノ告別
式ニ会葬歸宅壽美ハ親類側トシテ臨場遅レ
テ歸宅
夜八時田岡典夫來訪全人実印及保護預証ヲ
預リ壽美ニ托シテ金庫ニ保管セシム

庭に落葉の
吹風に梢のもみち散りそめて秋の名残の
をば敷く
錦しくなり

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月20日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

土佐廿日会丸ノ内常

盤 后五時

幹事田所美治關田

駒吉 断

【本文】

午前十一時半出社出社前心気少シク高ブル

后松村亀太郎氏来訪オフセット今一台光村工場ニ

買入レノ事ヲ承諾ス

力石元二郎氏一昨十六日死去明日ノ営葬ニ花輪

ヲ贈ル事トス

四時退出歸宅

夕六時四十分赤星陸治氏ヨリ電話アリ五一五事件

ニ類似ノ蠢動アリト憲兵特務部ヨリ警戒ア

リタリトテ中村喜三郎巡警ヲ遣ハシ来ル全人八時

頃退去

奈良縣吉野郡上市町阪本猷氏宛全氏先考仙次氏

ニ關スル感想書ヲ送ル仙次氏傳記編纂係リノ依

頼ニ基クモノナリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月21日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

工業倶楽部物故
会員追悼晚餐
会 后六時
請

力石元二郎氏告別式

【本文】

午前十一時半出社
昨夕憲兵特務部ヨリ警戒ノ原因ハ大倉陸軍大尉
安藤中尉等尉官拾六名之レニ士官學校學生何レ
モ五一五事件ノ殘党昨日聖上軍艦鈴谷ノ横須
賀ニ於ケル進水式ニ行幸警衛ノ手薄ニ乗シ夕七時
前后岡田總理牧野内府西園寺公爵其他財閥式拾
名ノ襲撃ヲ企テタルモノ内八名ヲ檢舉殘リ八名ノ
尉官ハ搜索中トノコトナルモ警視廳ヘノ聞ヘヲ絶對ニ
憚ル処ヨリ見レバ陸軍部内ニテ穩蜜ニ処置スル考ナ
リト思フ

午后四*六*時ヨリ工業倶楽部ニ於テ大正十四年第一回追悼
会以後易實シタル物故会員百六拾四名（内遺族六拾
余名出席）追悼晚餐会ヲ開キ会食後余ハ一片ノ追悼辞
ヲ述ベテ挨拶トナシタリ（理事長トシテ）会員出席ヲ約スル者ハ
九拾名其内欠席半ニ達セントス不謹慎ノ至リナリ八時半歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月22日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

台湾電力松木幹一郎

社長案内

帝国ホテル五時半

断

【本文】

午前十一時出社特別ノ議案ナキヲ以テ社長室会議ヲ見
合ハス

午后貳時日本郵船重役会ニ全半東京海上保険重
役会ニ臨席四時退出上野ノ会合ニ臨ミ九時十分歸
宅

奈良男爵ヨリ楠瀬秀雄ノ就職ノ件ニ付電話アリ

此日洗足池近藤ヨリ母堂廣子ノ古稀内祝品、青山福
井ヨリ自分古稀祝品到来

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月23日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

武市利美三男萬寿
美卜雨宮良孝長女
英子ト結婚披露
東京会館后五時

兩人共断

明治製菓会社川崎
工場擴張工事落成
披露

后一時―四時
断

【本文】

午后一時全窓和田万吉（文學博士）死去ニ付西片町十番地全
氏宅ニ樺山資英氏母堂九十四才ニテ死亡ニ付四番*谷*大番
町廿八番地樺山氏邸ニ赴キ吊問ス

全式時楠瀬秀雄履歷書ヲ持参ス全半森祐三郎

夫人歸郷ニ付来訪壽美玄關ニテ面会

全式時四十分壽美全道吉祥寺ニ赴ク紅葉尚未タ全

ク散ラズ奇麗ナリ来月式日誕生日用意ノ為メ洋

額ノ掲替ヲナス八時半歸宅折柄三宅川商事会長

高橋鍊逸氏日露監査役満期ノ件ニ付打合セノ為待

受ケ居ラレタリ全氏十時半過辞去

千代子ハ福井家族拾名ヲ東劇ニ招キ主人トシテ接待
ス拾時半頃歸宅

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月24日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

和田万吉氏告別式
久埜氏代理

【本文】

朝九時大橋新太郎氏霞山館基金拾五万圓募
集ノ件ニ付近衛公ノ依頼ヲ受ケ来訪書類ヲ船田氏ニ
渡シ置詮議セシム
午前十一時出社議案ナキヲ以テ社長室會議ヲ開カズ
鎌倉町材木座ノ南次郎大將ノ私邸ニ書面ヲ以テ八日
会招待ノ承諾ヲ求ム
松村亀太郎氏来訪
午后四時退出歸宅
夜分八時半電話打合せノ結果永井柳太郎氏来訪
全十時辞去
河津濱黒田重兵衛氏ヨリ技師中本氏派遣ノ挨拶来ル
夕刻自分壽像ノ台製作ノ為該銅像ヲ松浦家具店＊主人＊ニ
手交ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月25日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

西岡竹次郎氏雪冤会

東京会館午後五時

断

全日本柔道撰士権大会

日比谷新音楽堂 断

壽美発病

【本文】

昨夜ヨリ壽美極度ノ喘息ニ悩ミ終夜苦悶ス

余モ為メニ一睡スル事ヲ得ズ早曉車ヲ遣シテ遠

藤国手ヲ招ク国手ノ診断ニ拠レハ風邪ノ結果喘息

ヲ引起シタルモノ幸ニモ今平熱ナルモ躰温ノ高マリ来

レバ肺炎ヲ併発スル恐アリ大ニ警戒ヲ要ストノ事ナリ

キ配剤ヲ受ケ治療ニ努ム

余ハ吉祥寺行ヲ見合セ看護ヲ指図ス午后近藤淑子

来ル夕刻歸ル小堀ヲ洗足ノ邸ニ送ラシム夜分久原清子

淑子ノ報ヲ聞キ来リ見舞フ折柄躰温三十七度九分ニ上

ルヲ傳フ仍テ協議ノ上再度遠藤氏ヲ迎フ来夕肺炎ト

認ルヲ得サルモ此際大切ナリトテ近藤氏宅ニ電話全氏

宅子供付ノ看護婦森 ヲ暫時借受クルコトトシ全人

十一時来邸看病ニ付 指図ヲ享ケ万一ノ為酸素吸入

ノ手配ヲ整フ鮎川義介夫婦モ亦報ヲ聞テ来リ会ス

一全十一時半辞去余モ看護婦ヲ得テ安心シテ眠ルコトヲ

得タリ」ガソリン代弍十五円ヲ下シ渡ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月26日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

〔予記〕

日本経済聯盟理事会

正午 断

慈恵会理事会

十一時半 断

日本産業協会表彰式

華族会館后四時半

全総裁博恭王殿下

賜餐 全六時

請

【本文】

昨夜ハ壽美幾分安静ヲ得テ眠レリ只今朝少シク酷
シク咳アリ体温三十五度六分

午前十時過近藤真一夫婦久原清子見舞ニ来ル真

一氏先ツ歸リ淑子ハ四時、清子ハ五時辞去此間遠

藤医ノ来診ヲ受ク体温三十七度三分七時頃三十度

*五分*ニ上ルニ不過幾分安神セリ

福井夫人ハ四時過鮎川みよ子ハ五時頃来ル福井夫

人ハ直ニ辞去みよ子ハ義介ノ来ルヲ待チ七時頃退出ス

余ハ昨日来咽喉ヲ害シタリト覚ユルニ付本日産業

協会伏見総裁宮殿下ノ賜餐ヲ拝辞シ会社ヘノ

出勤ヲ見合セ引籠レリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月27日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

赤星陸治長男平馬
ト柳田國男次女千枝
ト結婚披露東京
会館后五時

兩人断

樺山資英母堂葬式
香奠貳拾円久埜会
葬

【本文】

終日薄暮ク地震午前午后ト深夜○時半ノ三度
アリ夜ニ入リテ木枯シ強ク吹ク深夜ノ地震ハ少ク驚カサセラル
壽美昨夜輕快ニマカセ注意ヲ蔑視シ倉ニ上リタル
為メニハ夜半ニ到リ俄然三十八度一分ニ上ル大ニ驚キ下
熱劑ヲ用ユ發汗今朝三十六度七分ニ下ル安神ス
余モ亦昨夜安眠ヲ得ス今朝氣分著敷悪シ午后
式時遠藤医来診壽美ハ幸ニ三十七度三分位ナリ余モ
咽喉ヲ害シ居ルヲ以テ全時ニ診察ヲ享ク牀温三十七度
主*壺*分咽喉ニアンチ ヲ以テシツプシ洋館二階小
間ニ入リテ就寐スウマク眠ル事ヲ得ズ
夕食後就寐屯服ヲ用ユ發汗氣分輕快トナル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年1月28日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

武蔵野音楽學校昇
格祝賀会奏演

日比谷公会堂午后七時

鉱業会社總會
后一時半 欠席

【本文】

壽美今朝三十六度七分尚明ケ方ノ咳ハ止マス余*昨夜安眠*ハ三十
五度八分（発汗ノ為ト云フ）気分大ニ空シ然ル二十時半過

貞ヲ洗ツテ朝食ノ卓ニ就カントスル際例ノ心気兀進アリ

薄暮迄静ニ眠ル

南大将鎌倉ヨリ書面ニテ八日会出席ノ受来ル之レヲ

佐和田氏ニ通シ正式ニ案内状ヲ發シ會員ニ通知セシムル
事トス

昨今両度ニ家計費トシテ百五拾圓ヲ井上おか女ニ渡ス
遠藤氏来診午后三時頃ナリ壽美躰温三十七度一分
位

鉱業会社總會原案可決配当壺割式歩新株払
込来年二月一日壺株貳円五拾錢

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月29日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日本商工会議所会頭
案内全国及在外商
工会議所代表懇親
晚餐会
東京会館后六時

日韓合邦記念塔除幕
式午前十時 欠席

【本文】

先夜ヨリ寒氣大ニ加ハリ全然冬ノ如ク処ニヨリ氷張ル
壽美ノ体温三十七度ヨリ三十七度五六分医師ハ此処
絶体安静ヲ要スト云フ久原清子見舞ニ見ヘタルモ
此意ヲ了シテ長居セズ直ニ辞去

余モ幾分頭重カリシ為平臥シ居レリ豈然小林茂ノ吉
祥寺ヨリ来ルアリ無止壽美ヲ煩ハシテ金庫ヲ開扉
セシメ金貳百五拾圓ヲ全処ノ支払ニ金五百五拾圓ヲ
月末支払トシテ井上ニ渡ス

薄暮田岡良一仙台ヨリ出京明日學士会館ニテ講演
ノ序ヲ以テ身上ノ件相談ニ見ユ全人ハ壽美及余ノ病
氣ニ遠慮シテ學士館ニ宿泊スルコトトナリ余ノ自動車
ヲ以テ之レヲ送ル良一ヨリ余ニ祝トシテ毛皮裏付羽織
下久雄ヨリ風呂敷ヲ贈ラル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年11月30日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

郵船総会午后式時

欠席

【本文】

壽美次第二輕快今朝三十七度一分ヨリ午后三時

三十六度九分ニ下ル順当ナリ遠藤医喜ブ

午后三時頃學士会館良一ノ許ニ全人家内ニ縮緬染模

樣服地一反久雄ニ袖無シ、良一ニネクタイ祝扇子一箱ニ

菓子ヲ添ヘテ贈ル

電報ヲ以テ熱海線全通式参列ヲ断ル

夕刻郵船会社郵秘書役ヨリ総会ニテ原案無

異議可決ノ旨通知アリ配当三分

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月1日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

熱海線全通式

三島驛前午前十一時

熱海建設事務処案内

断 請

丹那隧道開通式

熱海小學校后式時

全町祝賀協賛会

案内 断

【本文】

壽美昨夕刻一時三十七度五分ニ上リタルモ夜半ハ全
式分ニ下リ今朝三十六度九分正午全八分トナル遠
藤氏式時來診背部ノラツセルモ局減セラレ経過良
好ナリトルコトナリ余モ序ヲ以テ背部ノ古疵ノ診察
ヲ受聴診器ニハ何等異状表ハレズトノ事ナリ意
ヲ決シテ髭剃ヲナシ四時頃白水湯ニ入浴就寐七
時目醒ム

安川敬一郎男出京孫 氏宅滞在中廿七日發病

喘息ヨリ心臟麻痺ニテ昨三十日死去來三日築地本

願寺ニテ告別式ヲ行ヒ本葬ハ郷里ニテ営ム筈ト新聞

ニテ知ル全時ニ井上孝弥母堂死去明日營葬尚又

大阪菊地恭三令閨死亡ノ公告ヲ見久埜秘書ニ依頼

ニ吊問会葬ノ件ヲ依頼シ安川翁ニハ松本健次郎

氏トノ關係上花輪ヲ贈ラシム

磯野長藏、山岸 之助両氏ヨリ余ノ明日ノ誕生祝ト

シ各自鮮鯛壹箱ヲ贈ラレ典夫ヨリハ宝船ヲ贈ラル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月2日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

皆晴

〔予記〕

此日召使一同ニ衣服
調度時計等ヲ遣リ
テ古稀ノ紀念トス一
同大ニ喜ブ

井上孝哉母堂葬儀

【本文】

本日ハ絶好ノ晴天ナリ加フルニ余ノ七拾回ノ誕辰ナリ
壽美病氣ノ為メ吉祥寺ニ於ケル親戚間ノ祝筵ハ延期
シタルモ親子間ニハ洋館ニ階ノ客間ニテ晚餐ヲ共ニシ
内祝致シ度障子ヲ張替ヘ贈物飾ナトナシタリ朝十
時起床病人之夫婦紋付ヲ羽織リ祖高ノ神靈ヲ拝シ

限

合掌シタル際兩人共無量ノ感慨ニ打タレ已往ヲ追懷シ
テ眼ノ潤ムヲ覺ヘタリ久原清子喜ビニ来ル余ハ之レヲ洋
館ニ案内シテ祝物ヲ披露ス歸ルヲ玄關ニ送りテ胃痛
ヲ覺エ食後大便ニ赴キ之レヲ再ビシ午后式時半遠藤医
師ノ来診ニ挨拶セントシテ其苦痛ヲ三度シ治マラザルコト約
一時間遠藤氏ハ其状況ニ驚キタリ一度診察他家ニ往診歸
途五時過再度来診セラル其時ハ已ニ治マリタリ
其間壽美ハ病軀ヲ押シテ掛物ノ掛更ケ生花ナドナシタリ
兩人共到底正彦夫婦宅之助典夫ナドトハ食卓ヲ共ニスルヲ得サ
ル可シト感念シタルモ氣分宜敷ナリ兩人食卓ニ就ク義介夫婦
モ相次テ来リ会シ食卓為メニ賑フ壽美モ亦案外躰温下リテ
三十六度七分老夫婦式時頃迄話シ安神シテ就寐

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月3日（月）】

【予記 等】

「天気」

曇

「予記」

正彦夫婦歸神

水野敏之丞令閨死去
ノ報ニ接ス

斯波忠三郎氏案内

全舟会

山口 病氣断

安川男告別式築地本願
寺

【本文】

今朝壽美ハ昨日過勞ノ為メニヤ咳喘アリ仕合セニ体温
ハ三十六度九分正午三十七度二分三時三十七度ニ下ル遠藤医

蛋

ハ殊ニ余ヲ氣遣ヒ来診セラル血压百五拾尿ニハ糖モ漆白モ

認メス（今晝尿ヲ遣ハシ検査ス）トノコトニテ昨日ノ模様ヲ不審カ
ラレ他ノ名医トノ立合ヒ診断ハ後日ニ延バシタリ

近藤淑子二時頃来リ夕食ヲ共ニシ七時頃自動車ニテ
送り返ヘス

正彦夫婦宅之助栗女ヲ伴ヒ本日一時半発ノ櫻ニテ歸

神京都水野敏之丞氏令閨死去ニ付香奠貳拾円ヲ依頼

シ吊電ヲ発ス

左ノ諸氏本日帝室技藝員任命発表アリ

日本畫橋本貫一（關雪）菊地完爾（契月）安田新三郎（靱彦）

洋畫藤島武二、岡田三郎助、和田英作、彫刻山崎朝雲

製陶板谷嘉七（波山） 鍔金香取秀治郎（秀眞）

彫金清水龜藏（南山） 現在、大觀、玉堂、栖鳳ノ外建築家佐々木
岩次郎ノ四氏

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月4日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

副社長歓迎会

金田中

欠席

【本文】

壽美ノ経過ハ良好ナリ后式時遠藤先生来診アリ

全時船田一雄氏見舞ハル今夕副社長歓迎ノ件ヲ托シ航

空会社ノ配当郵船ノ配当并ニ賞與金受取書ニ捺印上

村秘書ニ渡方ヲ依頼ス

近藤真一氏后五時頃見舞ハル祝品ノ見分ナシ其俣辞去

【欄外】

【日記の日付：昭和9年12月5日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

雪曇

〔予記〕

日本経済聯盟

G E社長マイナー氏招待

茶会 断

【本文】

昨夜半ヨリ降雪今暁積ム事約三寸初雪ナリ昨年ヨリハ
廿日斗早シト云フ朝洗面後少シク動悸アリ遠藤先生弐時
半来診セラル寒氣強シ
夕刻三谷一二氏見舞ニ見ユ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月6日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

【本文】

壽美經過順当遠藤先生来診ナシ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月7日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴天

〔予記〕

播摩ドック、社長松尾忠三郎
国際汽船金剛丸進水
案内

【本文】

壽美經過宜シ正午近藤淑子見舞ニ来ル近藤先生弑
時半来診壽美最早安神ナリト云フ余ハ十時半過小時
間動悸ヲ覺ヘタリ近藤氏ハ真鍋氏ニ就キ健康診断ヲ

受クル事ヲ切ニ余ニ進言ス（大便ニ異状ナク尿ニフラス、マイナスノ蛋白ヲ*認ムト
*
后五時秘書役場ノ會計上村金治氏ヲ招キ旧光村工場家

屋取拂地処分割買上金収入ノ有無ヲ糺ス地処代金七

千余圓ト家屋賣払代金弐千四百円ハ前後ニ小松ヨリ収入済

ナルモ家屋取拂料ハ未タナリトノコトニ付小松茂ニ督促セシム

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月8日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

八日会 山口

幹事内藤及余

来賓南大将、

請 断、

【本文】

壽美経過順当、

午前十一時前朝嗽ノ後復暫時心気兀進アリ本日山口

ニ於ケル八日会ノ出席ヲ断リ内藤串田両氏ニ万事ヲ依頼ス

朝原田茅太郎氏見舞ニ見ユ面会セス

午后中野忠彦氏病軀ヲ押シテ見舞ハル三宅川百太郎

氏来訪両氏共引見ス

茅町及龍岡町両家ヨリ歳暮トシテ壽美ニ反物ヲ贈ラル

鳥居坂邸ニ国司浩介ヨリ披贈タル長須鯨ノ赤肉ヲ分

贈ス御挨拶アリ

秘書役場上村氏ヨリ光村工場＊家屋＊立退料壺万式千余圓

小松傳一郎氏ヨリ納入ノ通知アリ

午后九時頃ヨリ書斎ニ入り四日以後ノ日誌ヲ認メ書状ノ

返酬ヲ整理寢室ニ歸ラントシ葡萄液一杯ヲ傾ケタル処

復動悸起リ家人ヲ驚カス暫時ニシテ平静ニ復ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月9日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

藤田四郎氏一周忌

操上ヶ案内

東京会館五時半

断

【本文】

昨日引続キタル発作ニ懲リ朝来洗面両便行ニ注意ス
其為メニヤ本日心気兀進ヲ避クルヲ得タリ
后式時半遠藤先生来診

【欄外】

【日記の日付：昭和9年12月10日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

取立テ記ス可キ程ノ事ナシ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月11日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

光

重松外務次官官邸

茶会后四時 兩人案内

【本文】

朝拾時半三好重道氏見舞ニ見ユ面会ス坂本正治氏モ

今朝見ヘ玄關ヨリ立歸レリト聞ク

后三時半遠藤滋先生来診兩人共異状ナシ

金田中、新喜楽ノ女将打連レ見舞ニ来ル何レモ果物持参

金田中持参千匹屋扱青森林檎ハ特ニ美ナリ

日本齒科ニ入齒料壽美ノ分ト百圓ヲ支拂フ（各五拾円）

庭ニ松葉ヲ敷ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月12日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

【本文】

異状ナシ（自筆富士ノ画ト詠哥關月ノ明月ノ小品ヲ與フ
午後四時頃近藤淑子来ル夕食ヲ共ニシ八時半歸宅
此朝山地土佐太郎氏来訪南大將ヲ柳橋ニ招クニ付病情
ノ許スナラバ列席ヲ得タシトノコトナリシモ病状ヲ具シ丁寧ニ断リ
余ノ代リニ串田氏ヲ推薦シ置ク
夕刻峯ヨリ兼テ依頼シ置キタル野猪一匹拾式参貫

七

ノ者百目三十五錢ノ割ニテ手ニ入ル旨申越アリ買入レ東京
ニ送付セシムルコトトス
井上貞子ヨリ夫婦ニ懇切ナル見舞状来ル
久原清子夫人モ今朝見ヘラレタリト聞ク

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月13日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

国防坐談会后六時半
断

【本文】

朝九時千田勘兵衛氏見舞ニ見ユ玄關ヨリ歸ル
后○時半森本秘書役副社長ノ使トシテ見舞ル引見
秘書役場ノ上村金治氏ノ来訪ヲ依頼ス全氏式時半来訪
洋館應接間ニテ会见光村工場ヨリノ支払金壺万式千百
九拾八圓受入ノ件旭硝子配当金特当振込ノ事全新株
拂込ノ事ヲ依頼シ其他必要ノ捺印ヲ為ス
后三時半遠藤滋医来診別条ナシ
全四時半三宅川商事会長来訪高橋鍊逸氏日露漁業監
査役継続窪田社長ニ再交渉望ミナク結句本年度三千五百
圓ノ賞與ノ外金壺万円ヲ慰労金トシテ支出スル事ニテ折り合
タル旨報告アリ

五

南大将赴任ニ際来ル十八日帝国ホテルノ茶会ニ案内アリ
病氣ヲ以テ断ル
夜中遠藤氏ヨリ会社ノ佐藤博士ヨリ自分病状問合セノ通
知アリ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月14日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

村上正輔長男正夫ト赤
星陸治三女千賀子ト婚
礼披露

東京会館五時半

兩人 断

紅葉館旧友会忘年会

午后六時 断

日本文化協会後援会
工業クラブ后四時半

断

【本文】

十時半頃迄就眠シタリ朝武田秀雄及谷田友次ノ両氏見
舞ニ見ユ面会セズシテ還ル串田氏ヨリ見舞ノ電話アリ
夕刻上村氏ヨリ会社巡警残りノ分五名十七日歌舞伎座
案内ノ事ニシタル旨電話アリ

自分及壽美共順当自分本日始メテ久振りニテ屋外ニ
出テ植木鉢ヲ見タリ

国際観光協会評議員満期再任ヲ承諾ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月15日（土）】

【予記 等】

「天気」

半曇

「予記」

旭硝子増資新株
七十五株全額拂込
期日（参千七百五十圓）

九炭総会

磯野長蔵長男計蔵卜
黒木時七郎長女華
子ト結婚披露
東京会館 五時
兩人 断

【本文】

今朝赤星陸治氏見舞ニ来ル玄關ニテ歸ル
后二時頃久原清子及悠紀子ノ母子見舞ニ来ル壽美
面会引続キ萩原唯一未亡人茅町奥方ノ依嘱ニテ病氣
見舞トシテ兩人ニ八幡起上リ各一個持参ス
遠藤滋医来診佐藤要人博士ハ一昨夜態々自分病症
聞糺シノ為遠藤氏宅ニ見ヘラレタリトノ事也
原田茅太郎夫人来訪壽美引見
森看護婦ハ亡夫ノ命日祭典ノ為五時ヨリ教会ニ赴ク
野猪耄頭峯ヨリ来着目方十二貫三百ト云フ熱海
ヨリノ運賃貳圓余ヲ支払フ
后四時頃入浴就床一睡ス

【欄外】

「欄外 右側」

南大将案内帝国ホテル后四時茶 断

【日記の日付…昭和9年12月16日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

三菱信託総会
后式時半

上智カトリックセツトル
メント落成式午前九時
ヨリ 断

【本文】

昨夜ハ兩人共平穩ニ過シタリ豈然壽美ハ明ケ方迄ハ
眠ラレザリシト云ヘリ

正午福井菊三郎氏夫婦見舞ニ見ユ自分應接室
ニテ面会ス

午后小松傳一郎氏見舞ニ来ル病室引見膾謁ノ
干寧丸ヲ贈ラル

引続キ奥村政雄氏見舞ハル病室引見

若林半氏ヨリ直人ヲ以テ南洋新キニア島アロー産珍鳥
ニ羽箱入剝製ヲ贈ラル挨拶ノ手紙ヲ出ス
夕森豊之助氏見舞ニ来ル

本日后三時壽美病後始メテ入浴

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月17日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

東洋協会講演

后五時 断

日本鉱業会忘年

茶話会 后四時半
断

東京クラブ忘年会

金田中 后六時 断

愛育会理事会

后三時半 文部省

第三会議室 断

【本文】

午后壺時久振りニ出社欠勤中ノ事務ヲ処理シ船田、坂本、
永原山下元美ノ諸氏ニ面会千田氏ニハ土居貞弥ノ件ヲ依頼
シ三宮維信ノ手紙ヲ渡シ置久埜氏ニハ金三拾円 氏ノ来
翰ヲ托ス

上村氏ヨリ旭硝子拂込受取証ト現金支払残八千五百九
拾五円ヲ受取ル十二月分先月分ノ会社立替払ヲ小切手ヲ以テ
支払

山下元美氏ヨリ黒田重兵衛氏調査申込ノ川津筏濱鉱
区調査ノ報告ヲ聴キ其次第ト旅費ノ心配無用ナル旨ヲ
直接申送ラシム

社長ニ面会心オキナク話シタ刻天城ノ猪肉ヲ贈ル可ク約束ス
在社中時々少シク胃痛ヲ覺ユ歸途天神下黒崎ニ立寄
リ軸物改装出来ノ期日ヲ糺シ四時歸宅折柄野猪ノ料
理中ナリ其指図ヲナシ終テ遠藤先生ノ診察ヲ受ク別
条＊ナ＊シ壽美モ全断猪肉ヲ鳥居坂ニ贈リ各一片ヲ遠藤近藤

両家ニ贈リタシ

【欄外】

「欄外 右上」

3, 0 0 0

「欄外 右側」

正午青木富子夫人来訪壽美面会、鈴木莊六大将来訪

【日記の日付…昭和9年12月18日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

癩豫防協会理事会
理事長総裁撰舉
及決算
午前十一時半 断

寛元貞卜勝芳孝伯
姉善子卜結婚披露
東京会館后五時
断 一人

万葉聴講会
五時
断

【本文】

午帑電*前拾*時半会社ノ中村巡警*見ユ*昨夜警視廳ヨリ面会申込ノ仁ニ付取糺ノ結果全然心当リナク或ハ警視廳記者クラブノ兒玉氏（電通）カトモ思ハル、モ已ニ記者團ヨリハ省名セラレタルモノニ付充分注意本廳并ニ神楽坂警察署ニ依頼シ置タリトノ事也

午后貳時平沢幹氏ヲ招キ今朝壽美ガ曾根お雀夫人ヨリ聞込タル曾根武四郎ト島村秀雄長女正子ノ縁談ニ付自分ノ意見ヲ述べ之レヲ秀雄ニ通シ全人ノ注意ヲ喚起スルコトトス

后四時半工業倶楽部ノ中村元督氏理事会提出ノ議案及年末手宛ノ件ニ付来訪

之レニ先シ藤田政輔病氣見舞ノ為来訪

峯ヨリ取寄セタル野猪肉、茅町、龍岡町、望月圭介、三好船田、三宅川各所ニ分配ス

褒賞ニ關スル履歷書ヲ牛込区役所ノ請求ニヨリ提出ス

【欄外】

「欄外 左側」

特許法施行五十年記念会評議員会及晚餐会東京会館四時半 断

【日記の日付…昭和9年12月19日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

老将会幹事生田定之
断

鈴木莊六長男重雄ト内藤
久寛孫女比呂子ト結婚
披露 断 兩人共
軍人会館后五時半

日本海法会木挽町
清水后六時
岡田大将組閣祝 断

【本文】

昨夜南風蒸暑ク覺ユ今朝晴天ナルモ北西ノ風強シ午
後風ク
今朝松本健次郎及塚越丘二郎氏見舞ニ来ル面会
セズ
石塚英藏氏ヨリ面会ノ申込アリタルモ断ル
后三時工業倶楽部ノ膳桂之助氏来訪
全四時二十分遠藤医来診
大連田岡正樹氏ヨリ満州国総理鄭孝胥ノ墨蹟ヲ
贈ラレタルニ対シ挨拶ノ手紙ヲ出ス
昨日商工省統制委員会ヨリ手宛金貳百五拾圓受領
（秘書役場ニ可納筈）本日科學博物館ヨリ歳暮トシ
テ三越ノ品物券50ヲ贈ラル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月20日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

富士瓦斯紡績総会
后一時

【本文】

朝十時半高橋鍊逸氏見舞ニ見ユ、玄關ヨリ歸ル
后式時半頃奥村政雄氏見ユ銅像ノ台ノ銘記ヲ視
テ歸ル明日ヨリ神戸ニ赴クト云フ

自分及壽美入浴后四時半ヨリ
后五時半社長ヨリ直人ヲ以テ年末慰労金ヲ送*贈*與
セラル

夜分典夫来ル大利富三郎家計援助方堀越ヨリ
ノ申出ニ關シテ也注意スル処アリ
君塚勝彦及井上貞子ヨリ見舞トシテ壽美ニ各自製
ノ人形ヲ贈ラル

文政審議會ヨリ手宛五拾圓送付アリ
侯爵井上三郎氏ヨリ瑤臺院殿（末子夫人）遺物代千圓
ヲ壽美ニ贈リ来ル

病む身にも心世話しき歳の暮
（病人ヲ改ム）

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月21日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

電通光永星郎氏案内
ジンキスカン料理電通社
八階 正午 断

【本文】

午前十一時起床
全半森本秘書役＊（政吉）＊会社ノ年末慰勞金ヲ持参同便社長
ヨリ別口交付アリ全氏ニ依頼シテ当座預金ニ振込ヲ
ナス（二〇、〇〇〇）

午后一時半書齋ニ入り胸痛ヲ感ス暫時ニシテ治マル上村
氏来訪ノ時間ヲ三時ニ延ハス全時氏来訪金貳千圓
ヲ托シテ諸支払ニ宛テ尚富士紡配当特当ニ振込ヲ依
頼シ其他富士織緯工業二百株（割宛通）ノ申込ヲ托ス
証拠金壹株ニ付貳圓五拾錢ナリ小松傳一郎氏ヘ謝礼
金貳百圓ヲ贈ルコトトス

遠藤氏来診

后壺時半松村亀太郎氏来訪＊光村工場＊年末手宛ノ件、職員給
料復旧（月約百八拾円）ノ件ヲ話シ置

壽美見舞川井■古、両夫人、森川、北川両未亡人

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月22日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

曇

〔予記〕

開墾鹽業会社総会

工業クラブ清興会
后六時 不参

日本経済聯盟高橋大
蔵大臣及津島全次官招
待后式時工業クラブ

断

【本文】

昨夜半壽美少シク咳多シ今朝躰温三十七度五分

七

正午七度一分ニ下リ夕景又三十八度八分ニ上ル好ンテ食
事ヲトル処一時的ト考フルモ憂慮ニ不堪

朝十一時上村金治氏来訪富士織緯工業拂込証持参ス
之レヲ其俣全氏ニ預ケ置外ニ紡富士紡配当特当振込
記入証ヲ持参ス」清水市太郎氏ヘノ香典弍拾圓贈

附ノ件并ニ明日自宅会葬ノ件久埜氏ニ言傳ス

神戸西林鶴雄氏土佐弘瀬幸猪小島浄子ヘノ

書留郵便發送方ヲ上村氏ニ托ス

自分宛正彦ヨリ壽美宛井上貞子ヨリ書面到来

瀧野川区中里一三二栗原方大庭唯吉氏ニ本人ヨリ

ノ哀願ニヨリ久埜秘書ヲ介シテ金三拾圓ヲ贈與ス

翌日付ヲ以テ感謝ノ手紙ヲ送り来ル本人ハ七十歳位ノ

老人ト云フ

【欄外】

〔欄外 右上〕

1
2,

0
0

1
0
0

5
0

【日記の日付…昭和9年12月23日（日）】

【予記 等】

〔天気〕

曇少雨

〔予記〕

愛国新聞社主唱寄合
日比谷松本楼后六時

断

【本文】

昨夜半ヨリ幸ニ壽美安眠今曉躰温三十七度貳分

ヨリ正午三十七度七八分ニ上リタルモ夕刻三十七度貳分ニ

下リタリ遠藤医診察ノ結果ハ胸部ニ別段侵潤

ノ模様ナシトノコトニテ安堵セリ

后貳時三谷鉾業会長来訪

国司浩介氏養母コマ昨夕七時死去明二十四日品川

海晏寺ニテ告別式ノ筈供華贈物一切ヲ鮎川ト

久原ニ托シ長則ヲシテ行テ吊セシム

家計費トシテ井上ニ貳百円ヲ渡ス

曾根喜み子の述懐に對して

雄々しくも心もてかしあじきなき身にも

真如の月は昭さむ

行末の事は誰しも知らぬ火のつくしの果を思ふものかは

女々しくもなになげくらむ憂き事のつもるに

たゆる吾身なりせば

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月24日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

半曇

〔予記〕

東京電燈総会后式時

仙石稔、山内

家令

【本文】

壽美今朝三十六度二分ニ下ル正午モ六度台ナリト聞ク一先
ヅ安心ス

午后三時半茅町岩崎男態々来リ見舞ハル面会詳

細ニ経過ヲ話シ置ク

全式時船田一雄氏ニ依頼シテ真鍋氏ノ来診ヲ冀望

ス全四時半頃真鍋氏明日三時―四時ノ間ニ来診サル

可シトノ報アリ

全四時半永井柳太郎氏訪問面会手交スル処アリ

夜黒瀬＊崎＊富蔵ヨリ北溪ノ清公、卓池ノ春秋双幅、柳

圃ノ秋草兔、前田暢堂押梅ノ四点改装持参直シ

賃六拾四圓也

中村吉右衛門西京ヨリ歸宅挨拶ニ来ル

神戸ノ正彦ニ正月上京ニ及ザル旨返事全時山内侯爵家

稔

々令仙石堯氏宛音物ノ礼ヲ出ス

平沢幹氏宛島村秀雄ヨリ電報（先方錯誤トノ）ヲ轉送シ来ル

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月25日（火）】

【予記 等】

〔天気〕

晴曇

〔予記〕

島村秀雄ハ明日名古屋
屋ニテ可待受来客ノ都
合上平沢氏トハ面接セス
十一時ノ汽車ニテ歸名

森看護婦夕五時亡夫
ノ姉病死ノ為其方ニ赴キ
十一時歸宅

【本文】

朝山室宗文氏見舞ニ来ル玄關ニテ歸ル
昨日船田一雄氏ヲ以テノ打合せニヨリ真鍋嘉一郎国手
午后三時四十分来診之レヲ先着待合せ居タル遠藤滋医
先ツ会见經過ヲ話シテ余カ病室ニ誘フ全氏詳シク檢診ス氏
ノ見ル処余ノ信スル処ト別ニ相違ナシ氏曰ク此病ハ魅力ト氣
力ノ調和ヲ害スル年齢ノ頃起ルモノニテ大体六十歳前後
ニ起ルヲ普通トス青山先生然リ田代義徳、近藤次繁
弘田長ノ博士モ亦然リ特ニ濱口總理ハ龍動軍縮案枢府
通過ト安保*大将*海相ヲ受ケタルトキ*乃チ*寧口安堵シタルトキ夜分ニ起リテ徹
宵シタルコトアリ幣原外相モ此覚ヘアリ君ハ寧口十年遅シタ
ルモノ兀進ノ頻煩タルハ神經性ノ証ニテ寧中*左込*憂慮ス可キニ
アラズ此時代ヲ程能ク經過セバ忘ル、如ク回復スルモノナリト
云ヘリ余談後五時頃辞去遠藤氏ハ来リ合セタル近藤
真一氏ト全乗五時歸宅セラル
午后七時半名古屋島村秀雄来訪曾根武四郎トハ政子
トノ間ニ縁談ニ付何卒了解ヲ與ヘタルコト
ナシトノコト説明アリ

【欄外】

〔欄外 右側〕

大正天皇御祭日休暇

【日記の日付…昭和9年12月26日（水）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

東亜セメント総会

富士繊維工業株式割
当百株申込期日

故原脩次郎長男彪
ト今村繁三四女静子
ト結婚披露帝国ホテル
后五時 両人断

【本文】

今朝九時平沢幹氏ヨリ電話島村昨夜歸名ノ旨ヲ返
事ス壽美体温朝*正午*三十六度六分夕三十七度
午后四時福井夫人大阪ヨリ歸リ来訪玄關ニテ自分應接中
磯野長蔵氏来訪兩人相伴フテ退出
全時久原清子来訪壽美面会
夕刻中村吉右衛門宅ニ北溪画（天保十四年四月） 清正ノ図
絹本条幅ヲ歳暮トシテ贈リ遠藤滋医ノ宅ニ葉代
ノ外金三百圓ヲ贈ル
小堀二年末手宛五百圓外ニ家計費五百圓ヲ支出ス
本日弐時上村氏ヲ招キ開墾塩業株配当証ヲ渡シ全時ニ
自分持株東電配当百円及三菱信託配当三百七拾五円
ヲ特当ニ振込ヲ依頼シ採用冀望者履歴三通ヲ当該
会長又ハ常務ニ渡シ方ヲ托ス
壽美特口定期保護預証ヲ壽美ニ渡ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月27日（木）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

〔予記〕

日産総会

【本文】

昨夜半ヨリ今朝六時半迄自分壽美共熟睡從テ
森看護婦モ全様ナリ
十一時四十分頃鮎川春子弥一來ル自分食後直ニ兩
人ニ面会ノ為メ應接間ニ赴カントシ遽ニ胸痛（胃）ヲ覺
ユ五分斗ニテ治ル
三時半遠藤氏來診全時 理髮師ヲ招キテ散髪
ス別条ナシ壽美モ襟足ヲ剃リタリ
夜八時近藤淑子來訪
中沖壽氏來訪船田氏ト千田氏ニ能ク話シ置タルニ付病
中故船田氏ニ面会セラレタシト書生ヲ以テ断ラシメタルモ強
テ面接ヲ望ムトノコトニ付断然拒絶セリ非常識ノ男ナリ
諸戸勢六氏ヨリ見舞トシテ盆景ヲ贈ラル
赤坂キ

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月28日（金）】

【予記 等】

〔天気〕

晴

【本文】

峯別墅番人勝俣牧太郎今朝六時半峯出立養
子ノ奉公先小田急沿線ニ立寄り四時過來着歳暮
贈物ノ外本月及来月ノ家計費トシテ参百五拾圓ヲ
手交ス百円弱来年ニ操越ス筈ナリ一泊明早朝歸
峯ノ筈社殿ノ外医療具ヲ托ス
后四時半入湯壽美ハ夜半十二時就寢ノ際入浴ス
森看護婦夕刻ヨリ支給ノ手宛ヲ受取り近藤邸ニ赴キ
夜半一時歸邸
鮎川義介明日一家ヲ舉ケテ鮎川ノ母ヲ別府ニ歸省
スルニ付挨拶ニ来ル自画ノ額面数枚ヲ携へ来レリ
＊夕刻＊赤坂幸作工事点検川崎出張ノ序ヲ以テ来リ見舞
フ宿泊ス

【欄外】

【日記の日付…昭和9年12月29日（土）】

【予記 等】

〔天気〕

雪曇

〔予記〕

安達峯一郎氏へーグ
ニテ逝去可惜

故東郷元帥夫人鐵子
逝去

茅町男ヨリ雪役ノ様
子ヲ聞カル

【本文】

昨夜半過ヨリ降雪積ム事三寸余寒氣強シ
后式時半小堀ヲ会社秘書役場ニ遣ハシ壽美（五〇〇円）
典夫（貳六五円）東亜セメント会社配当取立ノ件（銀行ニ依頼）
ヲ上村金治氏ニ依頼シ全時ニ日産配当一、二〇〇円ヲ壽
美特当ニ振込ヲ托ス

右ノ歸途服部時計店ニ立寄り書生用腕時計個（二三円）
ヲ購ハシメ歳暮トシテ宮島蜂谷ノ兩人ニ遣ハシタリ
箱根強羅番人鈴木磯五郎来邸月末計算書ヲ持参

ス温泉料昨年五月ヨリ十月迄百九拾四円十一、十二月分拾八円
ノ支払ト来月分ノ経費ニ宛貳百五拾円ヲ托ス此外月末

残金三拾六円余アル勘定ナリ尚温泉料ノ件ニ付登山鐵道

会社十一月一日付（十一日接手）ト本月末迄ノ温泉料請求証＊書＊（

磯五郎ヨリ送り来リタル）ノ二通ヲ全人ニ渡シ訓諭スル処アリ

遠藤医后三時頃来診セラル

吉祥寺ノ小林茂来邸（六時）給料ノ外ニ家計費百五拾円、全
人年末手宛五拾円草取婆ニ拾円家内義弟小供達ニ贈物ヲ托ス

【欄外】

〔欄外 右側〕

赤坂幸作夜十時ノ汽車ニテ歸神

【日記の日付…昭和9年12月30日（日）】

【予記 等】

「天気」

晴

【本文】

風無ク天氣宜シ后青木菊雄氏及平田恒太郎両氏
見舞ハル青木氏ニハ玄關ニテ面接ス

茅町男爵夫人ヨリ壽美苑見舞狀ト共ニ再應ハ

幡起上リ大二個ト果物ヲ贈ラル

眞鍋嘉一郎医ニ診察料百円ニ添ヘ菓子箱ヲ贈ル

后四時自動車ニテ市内散策歳暮ノ情況ヲ視察シ

健康回復ノ度ヲ計ル本郷ヨリ池ノ端ニ出テ黒門町田

島ニ立寄り例年ノ吉例トシテ菊地容斉雨中ノ山水（五〇円）

葛飾北斎茶筌賣（紙本）七〇円）ノ式幅ヲ購来ル

小林茂夕吉祥寺ヨリ来リ夜中迄新年ノ飾付ヲ手傳

フ

宮川一貫氏ヨリ昨夜鮮魚今夕青年カ餅ヲ送り来ル

解散風ノ為ニヤアラシ

永原伸雄氏来訪玄關ヨリ辞去

【欄外】

「欄外 右上」

【日記の日付…昭和9年12月31日（月）】

【予記 等】

〔天気〕

雨

【本文】

昨夜半ヨリ小雨時々降り日中本降りトナルシ、ラ寒シ遂
二年内出社ヲ見合ハス午后壱時上村金治氏来訪神楽坂警
察署員慰勞ノ為武藤秀三氏ヲ以テ金貳百圓ヲ全署ニ
寄附例年ノ通り武術奨励ノ費ニ宛テシムルコトトシ上村氏ニ
全金子ノ武藤氏ニ交付方ヲ依頼ス

神戸電氣古川恒夫上京来年壱月六日頃迄滞在ノ筈正彦
夫婦宅之助ハ新年別府ニ赴ク筈ト聞ク

后三時谷田友治見舞ニ来ル引見ス」遠藤医来診

藤田政輔ヨリ見舞トシテ白梅ノ盆栽ヲ送ラル

亥の年を迎へて病魔拂ひけり

せち煮をは老の二人は祝ひけり

とる

年越の蕎麦の箸おく除夜の鐘

【欄外】